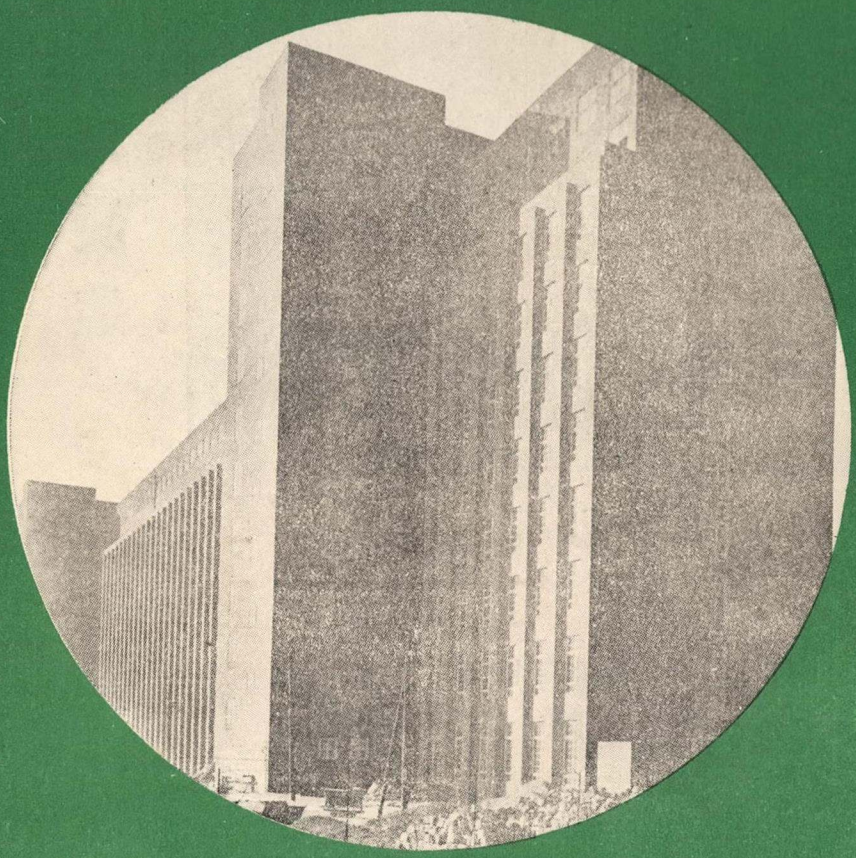
建築と社會

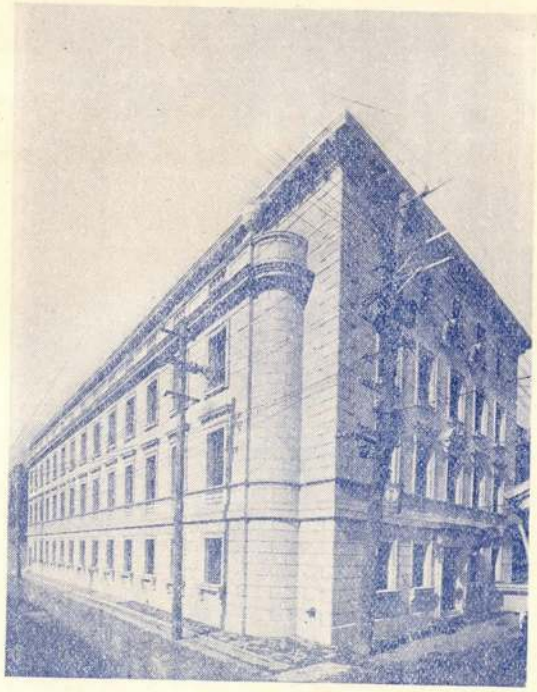
昭和三年九月一日・第十輯第九號



日本建築協會

寫眞は下記三種御使用の光榮に浴したる橫濱正金銀行大阪支店

三機工業!! 販賣



東京建鐵!! 製造

御使用

田島式上ゲ下ゲスチールサッシ
田島式スチールドアー
田島式スチールエレベーターードアー

東京建鐵株式會社
東京鋼板工業株式會社

總代理店

三機工業株式會社

本　店　東京市麹町區內幸町一ノ三(大阪ビル內)
支　店　大阪市東區備後町二ノ二(野村ビル內)
電話本町1166・1525

取扱店　各地三井物產株式會社支店機械部

商標 OHNO SHUTTER 登錄

特許第七九三五號(延長許可)外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

(特許大野式シヤッター)

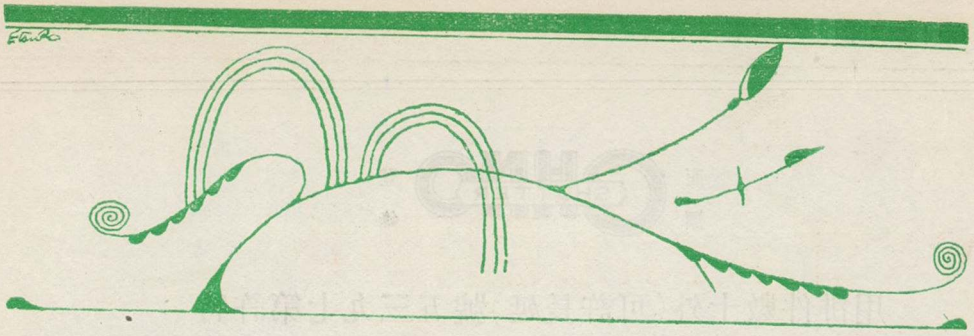
主要製品

大野式シヤッター
大野式自働防火鎧戸
大野式工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式回轉軸抵抗測定機
各種防火扉
應用特殊機械類

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地 電話高輪二三三五・七七二三

出張員詰所・大阪市此花區上福島中二(電話土佐堀二七二五)



建築と社會

第十一輯
第九號

寫眞

口繪　OTTO K OHTZ のスケッチ……
口繪　大阪・市岡警察署 — 廳舍・署長官舍……
口繪　大阪・市岡警察署 — 玄關・事務室……

本文

△新版大阪圖繪……住友本館遠望
△震災五週年を迎へて……佳山生……一
△米國建築雜觀……神戸高等工業學校　廣田精一……二
◆建築と社會ニュース

△必然より自由へ……山崎萬壽夫……一五
◇八ッ雷の神　◇地震の時の心得
△名士大震災回想錄……二六
◇小屋の一夜
△小住宅の標準を示せ……本間乙彦……三二
△新建築の傾に就いて……（討論會）……四一
◇そば粉仙人
△ラスキンと建築……S T 生……四七
◆鐵筋コングリートの寶生會館
◆社團法人日本建築協會々報

建築と社會
第十一輯
第九號

小野田ポルトランドセメント

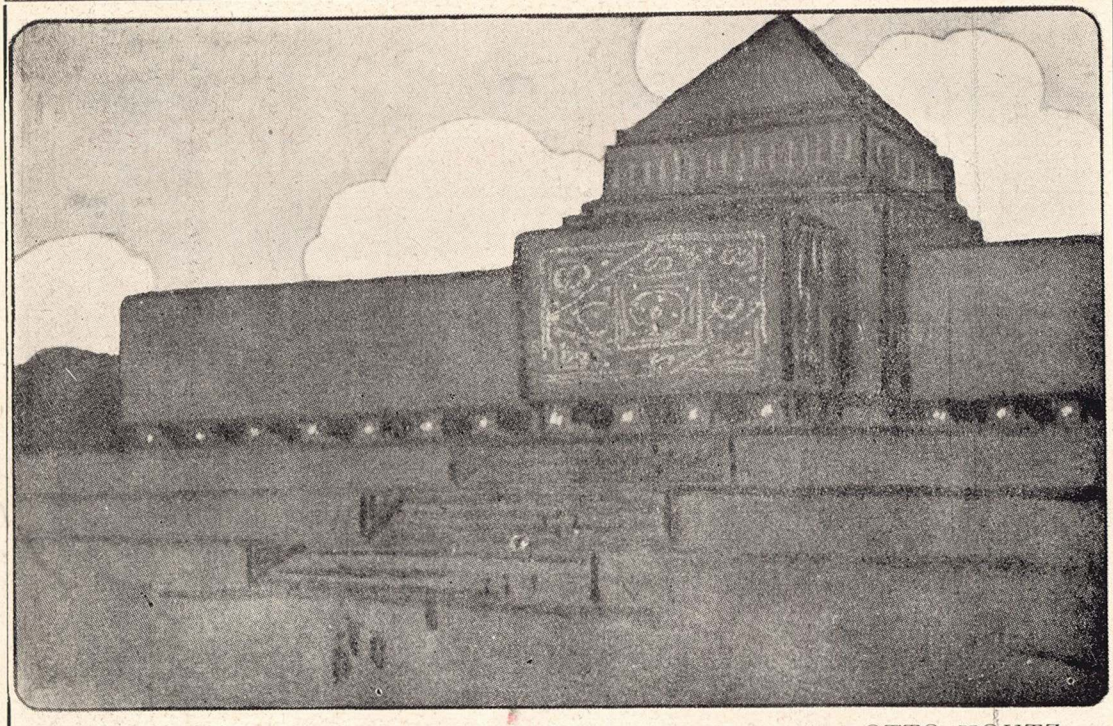
製品均斉・品質高級

小野田白色ポルトランドセメント

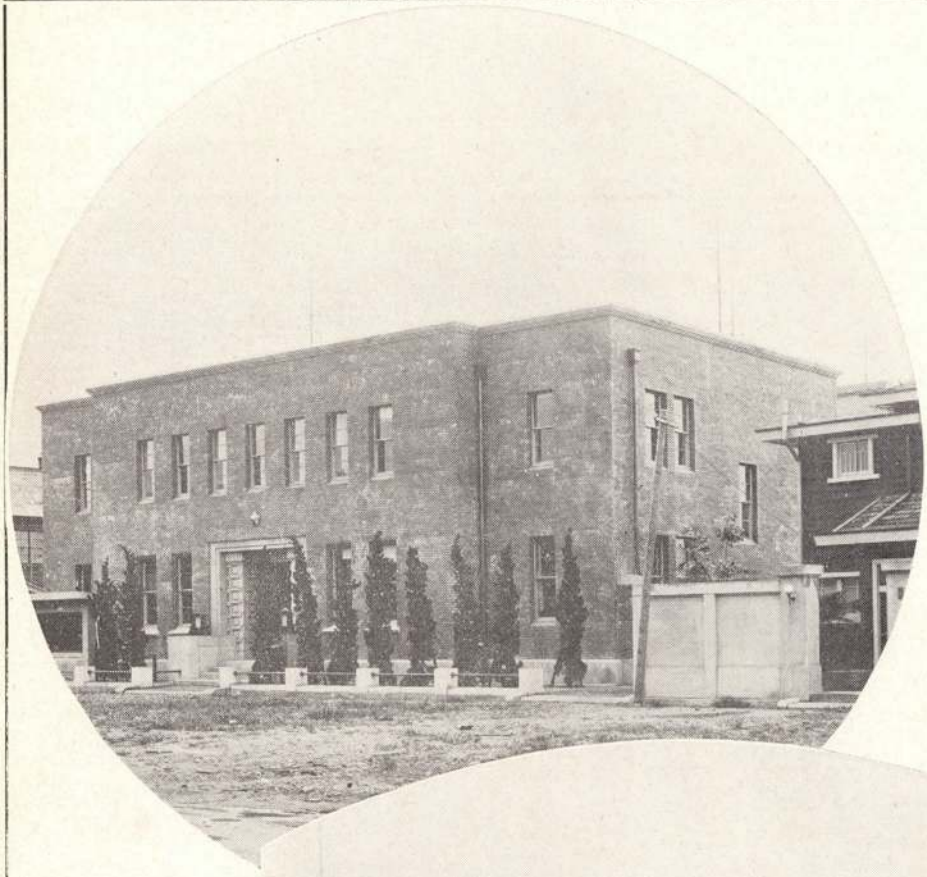
東洋唯一・純白優良

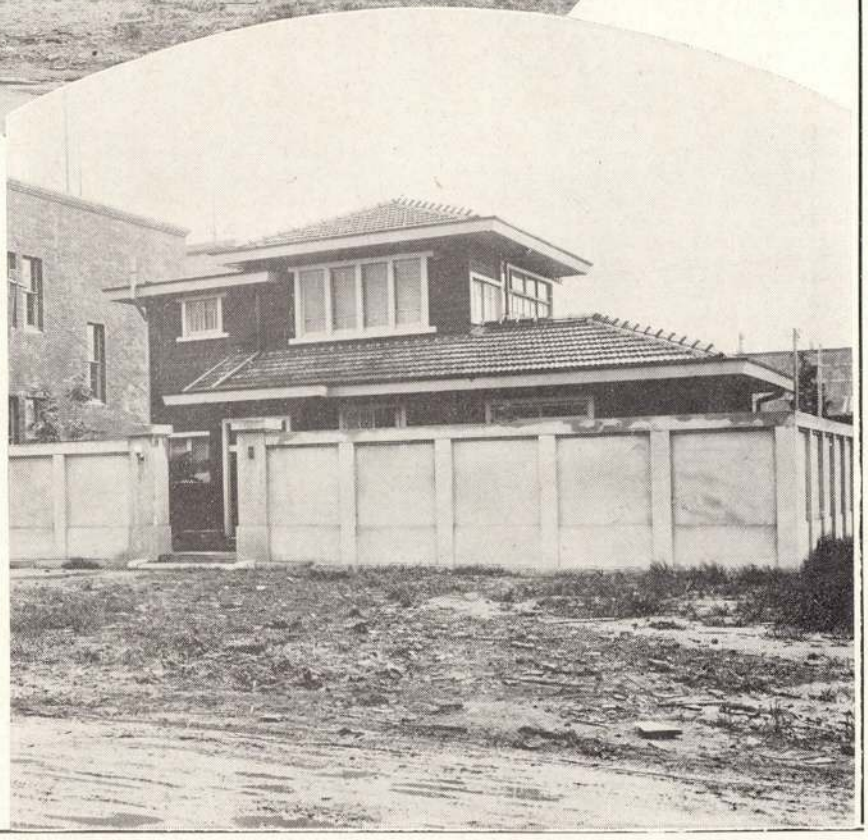
製造元 小野田セメント製造株式會社

一手販売 三井物産株式會社



OTTO KOHTZ





大阪●市岡警察署

上、廳舍●下署長官舍

市岡警察署

延　坪　三六九、五坪

宮　舍　四一、五

工　費　十一萬圓

設計者　府廳營繕課

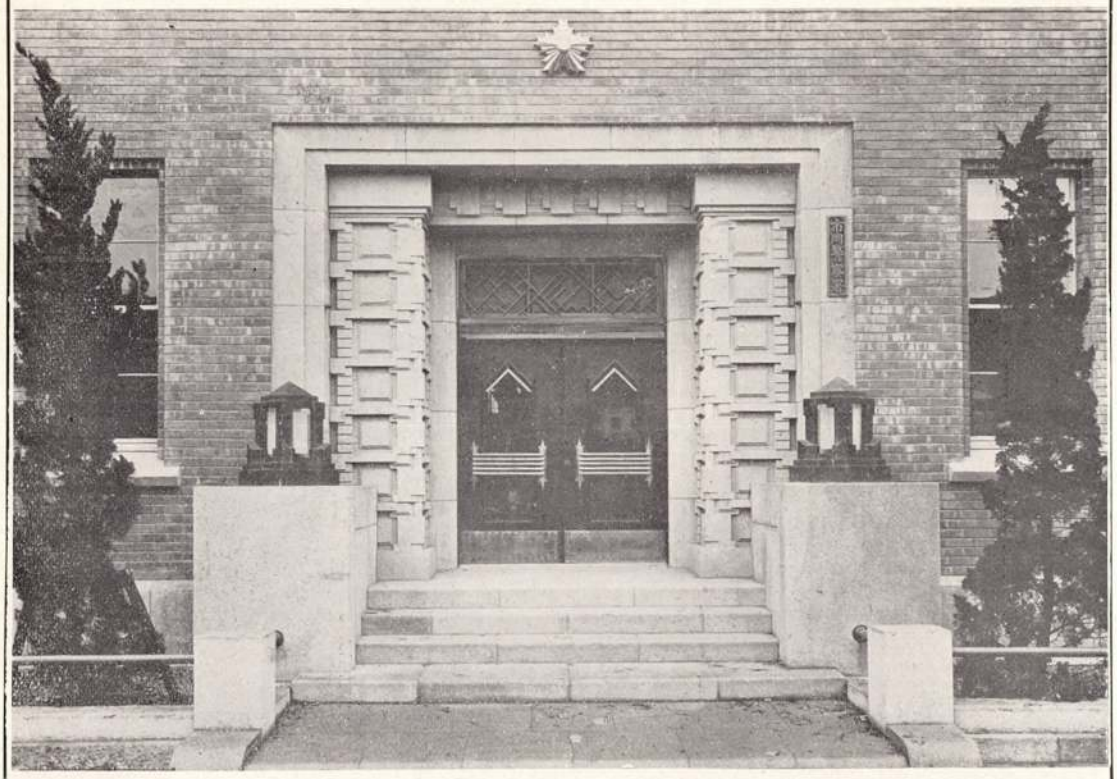
請負人　大林組

起　工　昭和二年十月一日

竣　工　昭和三年八月十日

特　色

警察署として民衆に接するに好感を與へるべく苦心したること塗工事に於て鰹谷開作氏が怪腕を奮ひ見るべきもの多からん





大阪・市岡警察署　　上・玄關　　下・事務室

Rolscreens
The Ideal Screen For Casements

夏ノ蚊蟲ノ
ロールスクリーン



（型錄贈呈）

日本總代理店

島貿易株式會社建材部

本店　大阪市東區高麗橋四丁目
電話本局自五〇四〇—至五〇四七番

支店　東京市日本橋區平松町
電話日本橋　三一二四番　三一六九番
三一六八番

晝は蠅・夜は蚊と

夏は閑靜な郊外の住宅に在つても中々に快よき休息は出來かねます。これ我が優美輕便な**ロールスクリーン**の御使用を切に御薦めする所以であります。

從來病院や郊外住宅や又は料理場などで、窓の設備中最も苦心して來たものは實に**スクリーン**の問題であります。凡そ傳染病の豫防とか、夏期蠅や蚊や、其他色々の虫類が飛込んで來るのを防いだり、又工場地帶で煤煙防止の必要な場所などには、是非共此の**スクリーン**の用意をして置かねばなりません。

然るに此迄のものは、何れも取扱上の不便や、不體裁の點や或は又、不經濟などの點で、其必要を生ずる都度、頭痛の種となつて居たものであります。

此の久しい間の、難問解決の使命を果たすものこそ、實に我が**ローススクリーン**の出現及び提供であります

◆耐震耐火＝品質優良＝優美高尚＝價格至廉◆

金屬天井



金屬天井御採用の三菱銀行東京本店

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作

營業種目

◆建築材料部
▲金屬天井
▲リブプレツクス（リブラス）
▲コーナービード
▲内外メタルラス
▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
▲舶來ウオールボード各種
▲ルーフキング（便利瓦）
▲アスファルトフェルト
▲其他建築材料一般

◆木材部
▲米材各種
▲チーク材
▲ラワン材
▲床板各種

◆穀類部
▲内外小麥粉
▲内外麩
▲内外米

◆工業部
▲製粉工場
▲製米工場
▲金屬飯工場

型錄進呈

田村商會

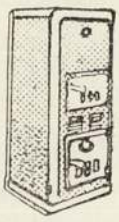
本店
神戸市榮町六丁目
電話元町（五〇〇一、五〇〇二、五〇〇三、五〇〇四、五〇〇五）

支店
大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八一、六八八〇）
東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六）
横濱市港町一丁目
電話長者町 二五四〇
北米晩香坡市ダンレビー街
電話 八八一

工場
神戸市兵庫新川
電話兵庫（九一一、二四〇三、二四四、六四〇）

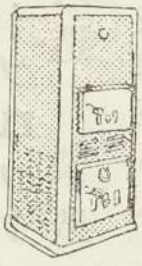
AMERICAN RADIATOR COMPANY

New IDEAL Vecto



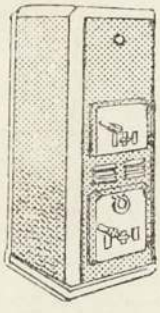
No3C

Heats 2 to 3 Rooms



No5C

Heats 3 to 5 Rooms



No8C

Heats 5 to 8 Rooms

重ナル寸法

型	高サ	間口	奥行
No3C	33″	15″	14″
No5C	43″	18″	17″
No8C	48″	21″	21″

日本總代理店

大倉商事株式會社

東京銀座　　大阪北濱

小野田セメント専用
セメントタイル
セメントモザ井ツクタイル
コンクリートタイル
ストンブロック
模造ゼンタームム
塀用ホーローブロック
其他各種人造石製造

大阪市港區大正通一丁目六三

創業明治三十六年　合名會社　田中タイリング商會

電話櫻川二〇四七番

分工場　大阪市東成區鳴野町五一一

電話鮫江二六八番

東京工場　東京市深川區東平井町一ノ一

電話本所四六六二番

壁張
分銅屋根板
應用

創業　明治二十六年
製造最大能力　二千五百萬斤

營業品目
印銅、眞鍮、輕銀、輕合金アルモデユール板類、
輕銀各種器物、ストツブバルブ並ニ特許分銅屋根板

○社名變更○
今般都合に依り大阪電氣分銅株式會社を日本伸銅株式會社と改め營業仕り候間此段謹告候也

特許
分銅屋根板

分銅屋根板は經濟的であります
現今一等瓦參拾圓モスルニ比スレバ約六割ノ貳拾圓内外デ立派ナモノガ葺上リマス尙坪當リ葺上拾四圓位ヨリ出來マス

分銅屋根板は體裁優美であります
普通銅板ニ特殊加工ヲ施シテアリマスカラ體裁ハ極メテ優美デアリマス

分銅屋根板は應用範圍が廣い
本葺瓦棟葺棧葺平葺四半張綾目張等ハ勿論壁張腰張等ニモ至極適當ナモノデアリマス

（型錄進呈）



日本伸銅株式會社
大阪市北區天神橋筋四丁目

堀川（35）自四〇〇至四三〇　番一六番
（夜間及休日專用）

日立製作所

東京丸ノ内仲通十五號館

日立工事用ポンプと輕便捲揚機

工事用ポンプ仕様

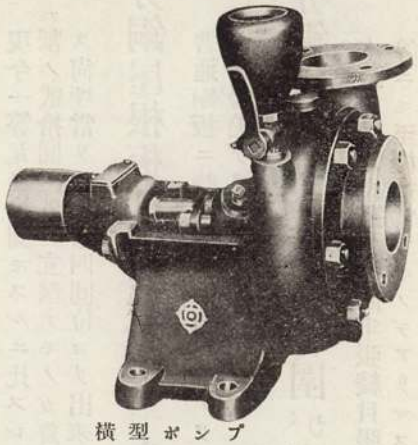
（標準型として下記の種類あり）

三吋横型ポンプ

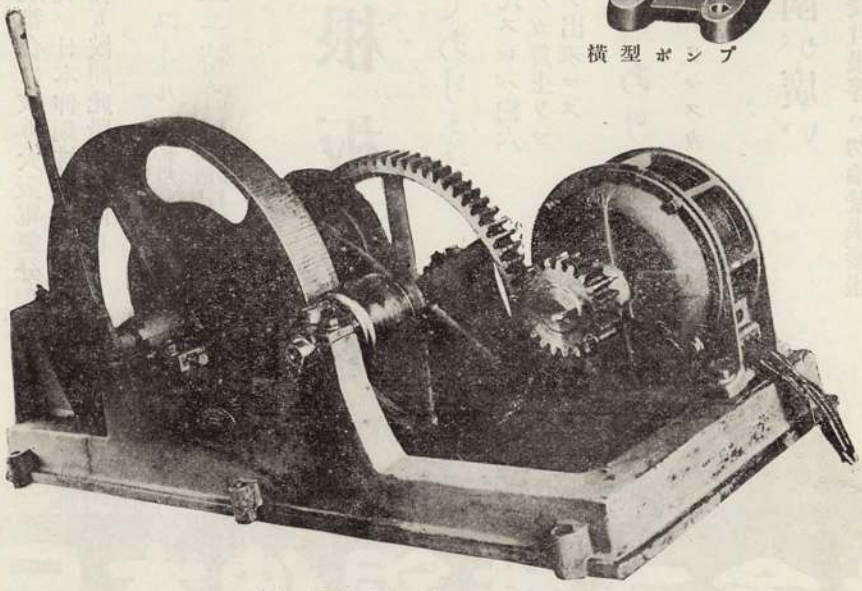
揚水高 …… 10—30尺
揚水量(毎分) …… 14.1—35.2立方呎
馬力 …… 1—2馬力

五吋横型ポンプ

揚水高 …… 10—35尺
揚水量(毎分) …… 34.1— 82.2立方呎
馬力 …… 2—5馬力



横型ポンプ



輕便電氣捲揚機

捲揚機

胴徑 …… 12″
胴幅 …… 16″
索張力 …… 85呎(毎分)
索速度 …… 16″

電動機

容量 …… 5馬力
廻轉數 …… 1,500(毎分)
鋼索速度 …… 130呎(毎分)
捲揚能力 …… 1,000(封度)



コンクリート建造物の防水と美装

◉槌印コンクリートペイントの推奨

事務所、住宅等總べてのコンクリート建造物の内外壁は本塗料の塗裝により完全に防水と美裝の効果を揚げ得る事が出來ます。

新らしい設計にて是非御採用を願ひます。

見本說明書
塗見本帳　贈呈

製造元　日本ペイント製造株式會社

發賣元　大元商會

大阪市西區薩摩堀東町
電話新町長二六五
二二一六



大阪市港區市岡町五三二

關西ステンドグラス製作所

電話西二二三四番



チヨコレート色

【用途】

舗床、壁塗用
スレート用
セメント瓦斯
タイル用
其他セメント加工品用
建築材料用
各種塗料用

柄辨・黒
緑・黄

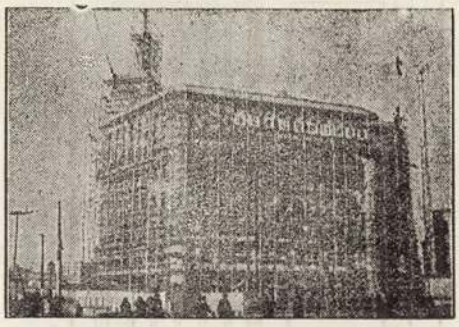
並に

合資會社 東洋鑛粉所

大阪市西成區津守町六壹壹
（高野線木津川驛際）
電話櫻川四二四六番

東京營業所

東京府下淀橋町角筈六六八
電話四谷七八六番



東都數寄屋橋々畔の偉觀

東京京橋區數寄屋橋々畔ニ新築サレタ東京朝日ノ新館ハ其ノ建材外觀總テ新ラシキモノデアルガ下部外側の水色は

東亞コンクリート塗料

ストンコート

ヲ以テ美裝シ

上部外側の人造石面は

東亞の防水液

ダムタイト

ヲ以テ防水ニ備ヘ

更に外部各所の蛇腹は

東亞の

トア・スパーワニス

ヲ以テ美麗堅固ノ塗裝ヲ施シ識者ヲシテアット云ハセツツアリ

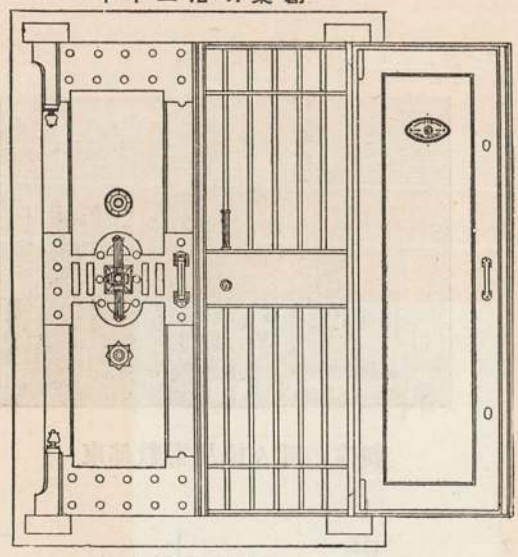
營經河古

東亞ペイント株式會社

創業明治二十年

大塚製金庫扉の特色は

防火的理想の完成したる
昭和參年新案特許第壹壹貳五七〇號
瀧村式防火裝置（自働アスベストパッキング）



金庫室防火扉

金庫室は完全なる扉と
内部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絶對的
災害防止の效果を實現す

御一報次第型錄差出申候
應貴意設計圖面調製提出
可仕候

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

御用命を蒙り納入せる尊名

三十四銀行　吉備貯蓄銀行　奈良信託株式會社　武田長兵衛商店
三井銀行　蘇原銀行　三井信託大阪支店　八馬邸
名古屋銀行　灘商業銀行　三井物産名古屋支店　竹内邸
名古屋貯蓄銀行　西海商業銀行　岡谷本邸　池田商店
加島銀行　大阪貯蓄銀行　岡谷合資東京金物部　安藤商店
明治銀行　内國貯金銀行　三菱電氣神戸製作所　平瀬邸
野村銀行　山口銀行　萩町信用組合　西郷邸
野村證券株式會社　久美濱銀行　松坂屋呉服店　三宅邸
濱松銀行　大垣貯蓄銀行　東邦瓦斯株式會社　大垣共立銀行
中埜銀行　武庫銀行　大日本人造肥料株式會社　日本銀行
濃飛農工銀行　大野銀行　墟野義商店　岩津邸

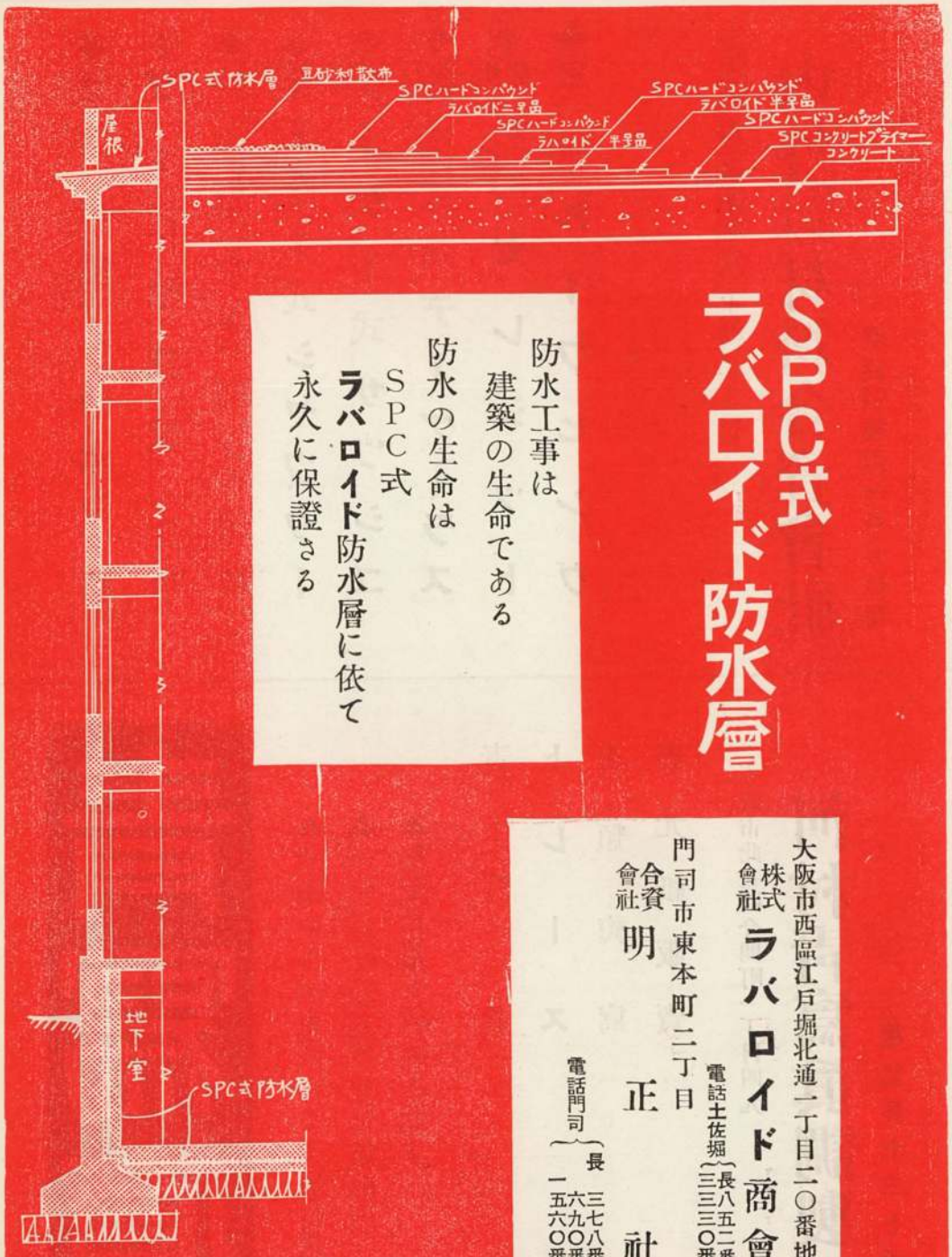
大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地

大塚鐵工所金庫部

所主　瀧村松之助

電話西五〇一七番

工場　九條南通一丁目　三軒家上之町　北境川町



SPC式 ラバロイド防水層

防水工事は
建築の生命である
防水の生命は
SPC式
ラバロイド防水層に依て
永久に保證さる

大阪市西區江戸堀北通一丁目二〇番地
株式會社 **ラバロイド商會**
電話土佐堀（長八五二番 三三三〇番）

門司市東本町二丁目
合資會社 **明正社**
電話門司（長 三七八番 六九〇番 一五六〇番）

◆特許山添式防水工事
◆ターピヤ鋪裝工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

大阪市西區南堀江下通二丁目
内外土木建築材料合資會社
電話長櫻川一六一〇番

青寫眞

▲晴雨を不論夜間にても燒付得る
▲燒付に乾燥凡てを電氣應用
▲集配は最も敏速を期す

青寫眞
トレース
書類複寫
感光紙販賣

大阪市此花區今開町二丁目四九
河村青寫眞調製所
電話長土三七四二（ナヨブ）



庭園設計と施工

造庭學上の新智識を實地に應用して經驗を積むこと十年
獨特の技術と從業職人の訓練と優秀な設計と完備せる施工

和洋庭園築造請負專門
創業大正五年我國唯一　設計と施工案內進呈

橋本庭園工務所
大阪市住吉區田邊町鶴ケ丘

冷藏防熱用　製産高工場設備　東洋第一位!!

住宅敷物用、リノリユーム下敷用

炭化コルク



東洋工業株式會社
コルク部

本社及工場　廣島市吉島町
電特長一七九二

大阪出張所　大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地
電話北一三八九

東京出張所　東京市神田區豐島町七番地
電浪花八五三番

淺野波形板

母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材



淺野スレート株式會社

東京	大阪	門司	名古屋	札幌
電話	電話	電話	電話	電話
銀座 二八六二	北五〇八二	長二三八一	一〇九七	長五九八

強靱の石綿セメント製ゆ
ゑ下見・内壁・天井・間
仕切壁等に用ひて
比類なき最敵品

淺野壁板

日本ペイント

萬歲號

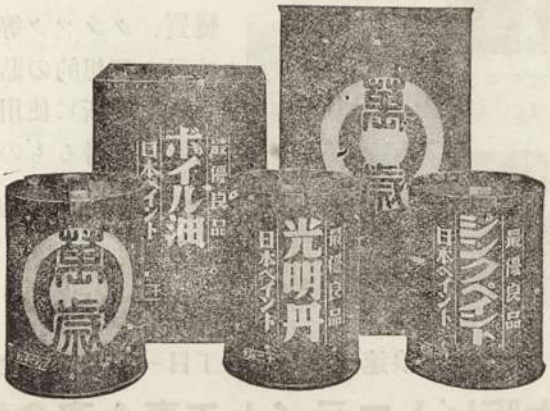
創業明治十四年

資本金五百萬圓

萬歲號 出現の二大理由

一、御大典の年に方り恰も創立滿三十年に達した弊社は　この機會を以てあらゆる華主各位の多年の恩顧に酬ゐんが爲め　新製品「萬歲號」を通じて特別の奉仕を爲さんとするものであります　其方法は弊社本支店　出張所　代理店　特約店に御問合せを願ひます。

二、萬歲號は多年研究の成果であり塗料としての凡有條件を具へた最優良品でありまして「萬歲」といふ登錄商標により「萬歲即一等品たることを示し月或は一號等の通有最上級記號を濫用して不正競爭の行はれつゝある我業界を廓清せんとするものであります。



大阪　東京

家具ト室内裝飾

設計施工

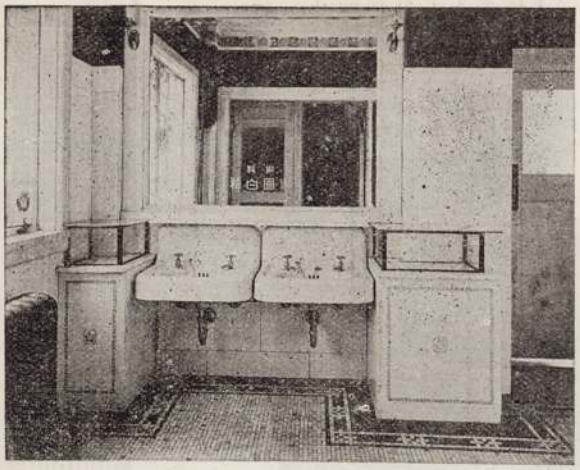
創業明治三十五年

松安洋家具商會

會主　安川熊吉
　　安川梅太郎

大阪市西區南堀江上通リ三丁目
市電立花通リ停留所東入ル南側
電話櫻川二四七〇番

●各建築設計施工者ニ御依賴
●備品家具ノ下請負仕ル可ク候



便所…化粧室…湯殿

ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラック等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瓦材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

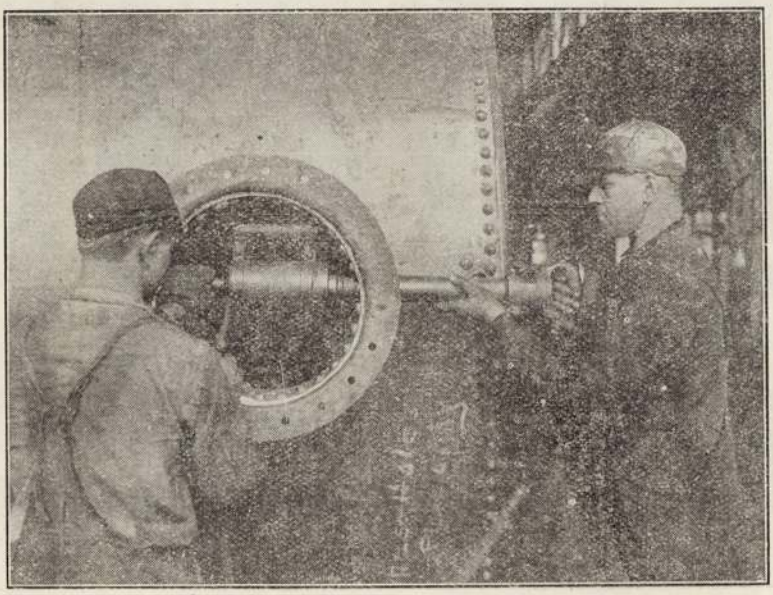
ビトロライトの大きさ
3尺×6尺
色合…白、黒、アイボリー、ジエイト

大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地

大阪ビトロライト工事合資會社

電話櫻川二二一四番
出張所　東京市京橋區本材木町一丁目二三　電話日本橋(24)〇九六九番

Cleveland
Pneumatic Tools



最大特徴

僅少の空氣を使用して振動を起さず
强力なる力と速力で優秀作業をなす

ニユーマチツク　ツールの持つべき最大必要條件は，1-使用空氣量如何，2-**パワー**と**スピード**如何，3-使ひ易い使ひ憎いかの三問題でありましよう，各種**クレコ　エアー　ツール**は各特種裝置を有し，又嚴密精製されたもので前記三大要件を遺憾なく完全に表す優秀**ツール**であります，詳細御照會を乞ふ。

東洋總代理店

株式會社 **アンドリュウス商會**

本　社　東京市芝區芝公園五號地二ノ五
支　店　大阪市西區江戸堀南通三丁目一八

名古屋・小倉・札幌・京城・臺北・大連・紐育



瑞西製最高級壁紙（ウォールペーパー）

絶對に褪色せぬ水洗も出來る保證付の品

「テツコー」と「サルブラ」

◇本品は洋畫家の使用する油繪具にて仕上つて居りまして下地には亞鉛白が塗つてありますので絶對に褪めません、又汚れましたら石鹸水でブラシを以て完全に水洗ひが出來ます、品質は少しも損じません。

◇意匠圖案は歐洲の歷史的藝術色彩を表現せるルネッサン式、ルイ各時代並に思ひ切つた現代的美術の粋を蒐めました素的に面白い意匠の現品を在庫して居ります。

本邦に於ける御使用方面の數例を擧げますと
御大禮京都大饗宴會場、　總理大臣新官邸、
毛利公爵邸、　群馬縣廳、
學士會館、　東京府農工銀行、
村山ホテル（東村山貯水池畔）、
朝鮮總督府、　明治座、
三越呉服店洋家具部、　日本住宅株式會社、
堂島ビルデング內清交社、　高島屋裝飾部、

◇**パンフレット及小片見本御入用の方は郵券十錢御送り下さい**

瑞西國サルブラ壁紙會社日本總代理店

海外通商株式會社建築材料部

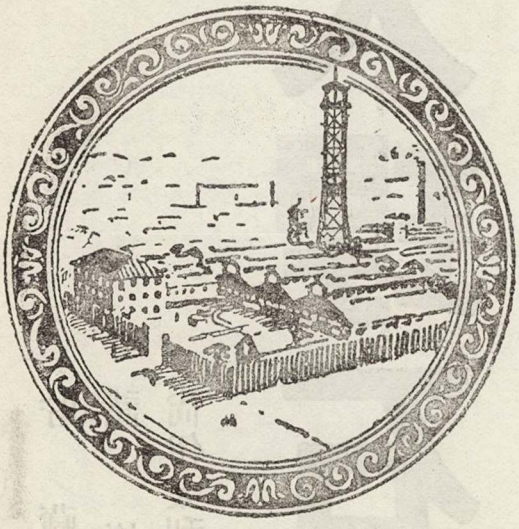
東京市京橋區木挽町二丁目十二番地
電話京橋六七三七番

大阪出張所

大阪市北區中之島二ノ二五
江商ビルデイング內
電話本局五三五九番

Salubra and Tekko　　*Won't Fade-Will Wash.*

NIPPON ELEVATOR CO.



營業科目

一般輸送機械
ホイスト
ロープホーレージ
エスカレーター
ケーブルカー
コンベヤー各種
エレベーター各種
設計製作

大阪市東區中道川西町

日本エレベーター製造株式會社

電話東 2367 . 3805 . 5642 番

取締役社長 工學博士 片岡安

專務取締役 工學博士 堀覺太郎

東京支店

東京驛前丸ノ内ビルディング四階

電話丸ノ内 (23) 3073 . 3074 番

專賣特許 東松式外二拾四件

大理石

貯藏石材製板豊富
諸機械設備完全
尙伊太利産石材モ多數在庫ニ付キ御下命ヲ乞

期限確實施工入念

大理石工業株式會社

大阪市港區市岡町（市岡元町停留場南）
電話西七六七番　西八〇三番

大理石工業株式會社東京出張所

東京市本郷區駒込富士前町八〇
電話小石川七三七八番

◀ 工施内舍廳察警府都京



アホイ式フローリングブロック
丸上式リソード床張の圖

理想的根太無床板

專賣特許第一七一號　新案特許公告第三三二號

特許ピトリウム床
特許ピトチック內外壁

練革床

實剝

槍床板

特許葵式淨化裝置
水道、衛生工事
タイル、衛生陶器

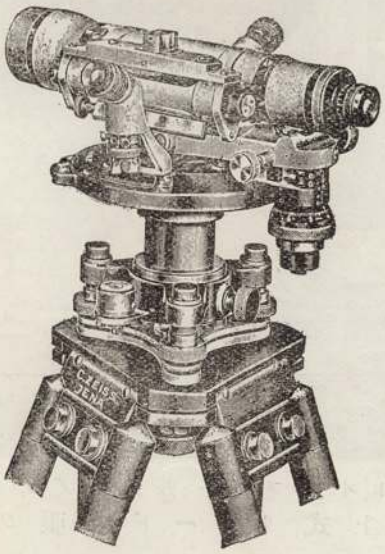
衛生工事

葵商會

大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西〔長〕四一九六
東京營業所　東京市京橋區木挽町一ノ一三　電話京橋三九五・九三二

ZEISS

Nivellier-Tachymeter



望遠鏡廓大倍數三十倍

一、本器ハ緩波狀地ノ迅速測量及ビ鐵道並ニ道路建設ノ設計ニ最適シ構造堅牢、外氣温氣及塵埃ノ影響又ハ侵入ヲ受ケザル結構ヲ有ス。距離、方向、傾斜ノ同時直接看讀ハ顯著ナル時間ノ節約ヲ結果スル本器ノ性能ナリ。

二、其他建築並ニ地形測量ニ重要ナル經緯儀標柱及**プリズム**直角儀ヲ御案內致シマス。

型錄 Geonita 2 御報次第進呈

カールツァイス株式會社

東京丸ノ內郵船ビルデイング七階

電話丸ノ內(23) 三〇六五番 三〇六六番

CARLZEISS TOKYO KABUSHIKI KAISHA

SPECIAL BORING

ボーリング 鑿井

○明治十八年創業
斯界之権威
（古キ歴史ト経験
特許ノ機械器具
獨特ノ優秀ナル技術）＝他ノ追従ヲ許サズ

○標語
（岩盤、玉石、土質ノ硬軟水壓ノ別ナク
工事ノ多少ニ不拘迅速正確低廉

○特長
鑿井（掘工簡易　水層混ゼズ　任意ノ水層掘鑿ニ集水　鑛管肉厚徑子ソケット結合　井側鑛管ト周邊ノ砂利
裝置ノ「ストレーナー」　泥水不浸　挿入安全　土壓ニヨル鑛管破壞ノ憂ナシ　生命永久
ボーリング（粒土ヲ用ヒズ　地層ノ區別完全　標本土正確　地質ノ硬軟　土質　水位　フレシヤー、フレクションモ鮮明　耐壓モボーリング表ニテ明瞭ス

○光榮
（請負者　技術大家　社會ヨリ名譽ノ成績證明ヲ賜ル　官内省特ニ御用命ヲ拜ス
大阪東京兩市電氣局高速度鐵道　東京地下鐵道株式會社御用命ヲ受ク

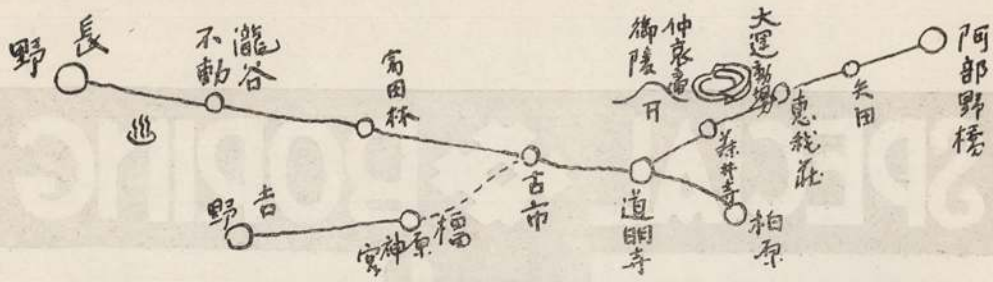
○推奨
（基礎工事ヲ施ジ震害豫防ニ　費用僅少定評アル森川ノ名稱ボーリング
水ノ解決ノ爲メニ　合理的ナル森川式鑿井

地質調査ボーリング
コーアー式ボーリング
特許　森川式大鑿井
特許　森川式井側裝置
揚水裝置
杭打試驗
載荷力試驗

森川組

店主　森川傳爾

本店　大阪市西區幸町一丁目　電機川　長四四一　三〇一
支店　東京市神田區金澤町　電下谷　五五三一





藤井寺球場メーンスタンド

◎住宅經營地◎

▲矢田住宅地

一萬五千坪

大阪市域ニ接續耕地整理完成阿部野橋ヨリ約八分水質良好

▲惠我莊住宅地

二萬坪

既ニ百五十戸ノ住宅完成、田園都市ヲ形成ス上下水道、クラブ、兒童運動場完備、阿部野橋ヨリ十七分

▲藤井寺住宅地

十萬坪

第二期賣出シ一萬坪東洋第一ノ藤井寺球場本邦唯一ノ大教材園アリ大道路、上下水道、電燈設備アリ、設備名所史蹟ニ富ミ住宅地トシテ理想的ノ地ナリ

百坪內外ヨリ分讓、月賦住宅ノ設計建築ニモ適ス御希望ノ方ハ事業課へ申込マレタシ

大鐵電車事業課

電天王寺{一三三・二三三・三三三番



新版大阪圖繪　　住友本館遠望　　本間乙彦氏作

震災五週年を迎えて

關東大震火災からはやくも五年の月日が流れた、當時あの文字通の驚天動地の最大慘事に對して國民は怎麼に驚きと恐れを抱いた事であつたらう、我國運の衰退する事なきやなさえ憂え中には此の事を以て當時の國民が餘りに著修柔弱に流るゝに對する一種の天譴なりと云ふ說なさへ生ずるに至り相互に訓め大いに自重する處あり、恰も普佛戰爭後に於ける佛國民の堅き決心にも似たるものあるを想はしめ吾人をして意を強めしむる處であつた。然るに五年の星霜を經たる今日此擧國的精神果して尙存在するや否や疑つて我建築界を見るに構法材料共に大いに進み一方土木方面の進歩と共に益々堅實味を發揮しつゝあるは吾人の陰に意を强ふする處である、然ども人間の弱點は如何なる場合にも根絶はしない、彼の安政の大震火災直後に於ては一般國民が如何に緊張せしかは幾多の事實に徵して明かなる處であるが時の經過は遂に全く何らの戒心をも用ひざるに至つた世に云ふ咽喉許過ぎて熱さ忘るゝの類である、之を以て愚と云ひ得ざるも社會文化の發達せる今日前車の覆轍を只自然の趨勢に支配されて再び踏む事は防がればならぬ古き慘事を回想して尙新しく恐怖に囚はれる事は愚なるも之を以て自戒の資となすは意義なき事に非ず

三、九、一　　佳山生

米國建築雜觀

神戸高等工業學校長　廣田精一

一、米國に於ける日本建築家の發展

目下米國に於ける建築界には東洋趣味が歡迎されるやうになり、從て日本の建築家も重きを置かれて居りますが實際日本の建築家ば非常に技倆があるやうであります、數年前日本の高工卒業生がコーネル大學に入いつて、首席で卒業すると、紐育に於ける建築事務所を首め方々の建築事務所から競つて之を迎へ入れんとした事實があります、此人は今米國の建築事務所から派遣され東京の三井銀行の大建築をやつて居られる。建築位腕の能く見えるものはないので、腕の好い者があれば、何處でも歡迎する、從て良い建築事務所には腕つこきの連中が揃つて居る、各大學の何百と云ふ卒業生中の優秀者を招聘することに各事務所とも大骨を折つて居る、無論成績の好くない者は駄目であるけれども、幸にして日本人は何れも腕があるやうでありまして、カリホルニヤ大學の學生倶樂部の會長が古谷君ですが、此の人も建築家でありまして、非常に優秀な成績で、試驗の成績はABCと云ふ風に採點するのであつて、AのAと云ふのが一番良いのでありますが、古谷君は此AのAを取つて居られる、諸君の中でも腕の有る人は一つ亞米利加に行つて見るが可い。

先刻映畫でお目に掛けた鷄の繪を畫いて居る村山さんの如きは京都高等工藝學校の出身ですが、あの繪を畫くだけで、一月千弗、一年一萬二千弗と云ふ恰度日本の總理大臣の俸給の倍程な報酬を取つて居られる、而も西洋人は技術家を聘するに禮を以て致しますから、萬一途中で逃げられたり、或は要るだけ使つて、後はおつぽり出すと云ふやうなことは本意でないから、生涯やつて呉れゝば、二萬弗の養老保險金を差上げると云ふので、保險料を雇傭者の方で仕拂つて呉れてる常に村山さんは無論自用の自動車も有つて愉快にお暮しになつて居る。

其の他日本人が藝術に優れて居ると云ふ例を擧げると、殆ど數限りもありませぬが、カンサス市の寫眞屋の組合長は日本人であります、藝術の前には流石のヤンキーも日本人に頭を下げなければならぬ、どうも日本人の藝術寫眞には敵はないと云ふことになつて居る。

紐育第五街と云ふ所は、東京の銀座、神戸ならば元町と云つたやうな紐育での流行の中心地で、富豪の邸宅や大商店が軒を列べて居る所でありますが、其處に堀と云ふ寫眞屋があります、私は其の堀君の居ることを一向知らなかつた、それでルーズヴエルト大統領を首め、其の他紐育タイムスなどに出て居る寫眞は大抵アングーウツドと云ふ寫眞屋が撮つて居るのでありますから、私は老後の思出に此の顏を一つ

撮つて置かうと思ひまして、大奮發で其處へ飛込んで行つた所が、その寫眞技師曰く、俺は大抵の奴には負けない積りだが、堀には負ける——其處は西洋人の淡白な所で、自分の及ばないことを知れば、人前でも俺の方が偉いなどと云ふことは決して言はない、寫眞と云ふても肖像寫眞は所謂藝術でありまして、非常に高い、無論入學試驗の時などに使ふ一ダース三圓位の寫眞もありますし、大抵は各人がコダックで寫眞を撮るのでありますが、寫眞師の肖像寫眞は恐しく高いもので一枚二十圓、一ダースで二百四十圓取られた、私の今度の旅行中一番贅澤をしたのは、此の寫眞を撮つたことだけで、他で儉約して置いたものを皆此處で吐き出した譯であります。

二、米國建築の東洋化

イ 廣重食堂——是は先に寫眞でお目に掛けた通りで、三千の部屋に三千の浴室が附て居る世界一と云ふ市俄古のスチーヴンス・ホテルの中食堂が廣重の繪を以で飾られて居ります、それを書いたのは西洋人です

ロ 梅が枝欄間——是亦先にお目に掛けた通り、エローストン・パーク・ホテルにある例でありまして、總て西洋建築には欄間と云ふやうなものはなく、大抵回轉窓にして居りますが、さう云ふ不粹なことより、日本流の朽木か虫の蝕ふた木などを用ひて、それに硝子などを當てる方が洒落れて居ると云ふことを覺へて來たやうであります

ハ 天主閣建築——昨年の五月二十一日のリテラリー・ダイゼストと云ふ雜誌に、紐育生命保險會社の建築に付て、米國建築學會長が今回出來た紐育生命保險會社の新建築は日本の天主閣を眞似たもので之をステップド・オク・ビルディングと云ふのだと書いて居りますがそれは建築條例に於て通路の幅をBとし、建物の高をHとして、B＝½Hとなつて居ります關係上、少し高いものを建てやうとすると、止むを得ず  斯う云ふ風に高くなるほど後すざりに建てて行くのであります、日本でも大阪倶樂部なんか左樣なことをやつて居ります、あれは一つ引込んだだけでありますが、米國ではそれが五階も六階も引込んで居るので、名古屋城など、比較して、能く似て居ります、亦私は市俄古のノースウエスタノン大學とピックバーダのベンシルヴアンヤ大學の二つが此のステップド・オフに改築されて居るのを見ましたが、若し神戸の高商が疾く此の意匠を採つて居つたならば、六甲に逃げるとか何とか云ふことをしないでも、古宇田先生などの手で此の東洋一の港の正面を飾るべき立派な建物が出來ごうだ俺の學校の建築は立派なものだらうと、ステップド・オフで人を驚かすことも出來ただらうと、非常に遺憾に思ふたのであります

ニ 金色又は五彩使用——此の頃は東洋趣味の影響を受けて金色を使ふことが流行つて居ります、紐育のアメリカン・ラヂエーター會社と云ふ暖房具を造る會社のビルディングは全部金色に塗つてあります其の他紐育のカソリツク教の學校又ヒラデルヒヤで一個所、建物の一番上の塔  斯んな所だけを金で塗つてあるのを見受けました又東洋趣味が入いつて、支那建築或は日光のやうに五彩を使はなければ滿足しない、紐育第五街のフレンチ・ビルはなか〳〵五彩を巧に使つて居りまして、決して卑しいとは思はれませぬ、併し是は眼の問題ですから、面白く思はぬ人もありませう。

ホ 支那劇場——是は入口に鐘鬼さんのやうなものを立て、建築と裝飾が總て支那式と云ひますか、日本式と云ひますか、東洋式と云ひますか、一體米國では支那と日本とを混同してしまつて一つにして

居ります、故に寧ろ日本式と云つても可いのでありますが、是はロスアンゼルスの活動俳優の巢であるハリウツドにありまして、名は支那劇場と申しますがそれは建築の支那式を呼物にしてるだけで勿論米國劇場であります。

ヘ　支那曲祿――是はお寺などに行くと、坊さんが腰掛けて居る朱塗の妙な曲線を有つた椅子でありますが、アトランチツクシテイのホテルで廊下などにそれを使つて居りますし、ロツビーにも使つて居ります、其の他言へば限りありませぬが、布哇のローヤル・ハワイアン・ホテルなども使つて居ります。

諸君は西洋建築をお學びになつて居りますが、米國では今や東洋に降伏して東洋を模倣してあるのであります、私は此の點に重心を置いて新聞記者などにも大に報告しやうと思ふて歸つて來たのでありますが日本人は何ぞと云ふと、自から卑下して、我々は模倣國民であると云ふ、何を言つて居るのか、アメリカ人こそ模倣國民であります、併し米人は模倣するとは言はない、俺は消化して居るなどゝ言ふて居りますが、實は其の儘模倣して居る、科學は日本はまだ〳〵西洋を模倣しなければならぬ點がある、其の代り藝術は彼等が日本を模倣して居る模倣に於ては西洋人も同じである。我等は模倣國民であつて、創造的能力は無いと云ふ如きことに言はぬが可い、藝術に對しては彼等も日本人の長所を認め、止むを得ず日本人を聘して手傳つて貰つたりして居るのであります、此の點は確り頭に入れて置いて戴いて、日本人の優れた所を十分發揮するやうに諸君にお願ひしたいのであります。

三、施工の進歩

1　床の區切に眞鍮又はアルミニアム線挿入――日本でも隨分立派な建築を見ましたが、まだ何處に參りましても斯う云ふものを見たことがありませぬ、尤も私が一年間不在の間に東京大阪と大分大建築が出來たやうですから、或は既に出來て居るかも知れませぬが、米國では各所で斯う云ふ風にして居ります、例へば正面玄關を入いつたやうな所に金線や銀線が付て居る、即ちセメントの研ぎ出しだけでは藝が無いから、約二尺平方位に、東京丸の内の人道のやうに碁盤の目のやうな筋を切り、其處に眞鍮やアルミニウムの線を入れるのです、アルミニユームなら銀に見え、眞鍮なら金に見えて、非常に體裁の好いものです、日本ではまだ見ないと云ひましたが、恐らく私が知らないので、もう一つや二つは出來て居るかも知れませぬ。

ロ　鐵筋に細き針金を卷く――是は日本に於ても大に考へべきことで先年の震災當時米國トラスコン會社の作つた東京電氣會社の建築が工事監督の日本人が惡かつたのかも知れませぬが、兎も角一たまりも無く潰れて、殆ど東京電氣の研究員の粹を抜いた博士一名學士十五名が犧牲になり、東京高工出身の藤井鐵也君なども此の時に死んでしまつた、是は鐵筋コンクリートでありながら何故潰れたかと云ふと、唯鐵筋へセメントと砂利がボロ〳〵喰つ付いて、恰度豆に砂糖が付いて居るやうな形であつた、大體トラスコンと云ふのが可けないので、是は諸君が御承知でありますから、間違つて居つたら、直して戴きたいのでありますが、鐵筋の先を曲げて置くと、コンクリートの持ちが可いのでありますけれども、トラスコンは唯ギザ〳〵が附て居るだけで眞直ぐになつて居る爲に、コンクリートの持ちが惡いのでないかと思ひます、是も素人考でありますが、兎に角鐵筋をセメントが十分喰つ付いて居らぬ、そこで尖端の曲つた鐵筋に針金をクル〳〵捲き付ける、さうすると非常にセメントも能く着くの

でないかと思ひます、紐育では日々方々で建築をやつてますから、往つて見れば、何時でも五つや六つは直ぐ見られるので、私はフラーの建築場等で幾つも針金を巻いた鐵筋を見ました、併し無論全部が斯うやつて居ると云ふのではない、斯う云ふのを使つて居る會社もあると云ふのであります。

ハ　蒼黄色艶消壁（ペールエロー）――斯んなものも、日本では可なり私は氣を付けて見て居りますが、まだ不幸にして見當りませぬが、米國へ行けばザラにあります、此の壁のやうに光つて居りませず、大層軟かい味があります、是も趣味の問題で、私が好きだと云つても、嫌ひだと云ふ人があるかも知れませぬが、黄色に少し蒼味がかつたやうなものを使つて居ります、建築家の話に依ると、それでやる方が安いと云ふことでありますが、兎に角向ふでは大抵それでやつて居ります、レシスレアー高等工業學校を見ましたが、恰度夏休みでスッカリ壁の塗り直しをやつて居りまして、ペンキを溶すエーテルの甘い大變佳ひ香がして居りました、それで塗ると、なか〳〵軟かい感じが致します、乾くことも速いのでありますが、ホテルなども皆其壁を使つて居ります、兎に角斯んな點に於ても日本でやつて居る建築と西洋でやつて居る建築とでは、唯太平洋を一つ越えただけで是だけ違ふものかと思ふたのであります。

ニ　五色瓦――先年後藤子爵が總裁で、片岡安博士が副總裁として阪急の櫻ケ丘に文化住宅の博覽會を開き、大體一萬圓位の二階造の家を三十軒程建て、賣つたことがありますが、サンフランシスコの新開地に三百戸ばかりの家を建て、地所附で二千弗から五千弗位で賣つて居りました、そこで私は自動車で丹念に廻つて見ましたが、赤や青やのみで無く一つの家根に五色の瓦を使つて居りますのがありました、是は阪神沿線などにはもう出來て居るかも知れませぬがそれ等は寫眞にもなつて居りましたから、日本にも來て居りませう

ホ　パゴダ風の屋根――西洋建築の屋根の特色は概ね∧斯う云ふ風か、或は（斯う云ふ風に角が立つて居て、日本の（斯う云ふ風な曲線が無い、日本では編笠などにも斯う云ふ曲線があつて、私は此曲線が好きで、なか〳〵佳いものでありますが近頃米國では（斯う云ふ風に圓味を付けて居ります、邏羅に在るパゴダと云ふのがさう云ふ風になつて居りますからパゴダ風と云ふ名を私が付けたので無論何の本にもそんな名はありませぬでしよう。

ヘ　床と壁との境を丸くする――床と壁の境を此室のやうに直角にやらずに、多くは圓くなつて居ります、日本でも病院や便所は此處が直角であると、塵芥が溜つて可かぬから、從來より圓くして居りましたが、米國では近來は普通の住宅でも皆さうして居ります、是も今回氣付いた大なる變化であります。

ト　『セロテッキス』――是は唯今寫眞でお目に掛けましたが、此處が米人の偉い所で、詰り建築を提供して、人をして愉快な建築物に住まはせる爲には、先づ建築費が安くなければならぬ、そこで成べく安く建築をしたいと云ふ結果、考へられたのがセロテッキスで、恰度日本で藁紙と云つて藁屑から紙が出來て居るが如く、壁も天井も床も砂糖黍で造ることにしたのです、原料は豊富で、容易に盡きさうにない、セロテッキス使用の一番好い例を見ましたのは、私が布哇大學の圖書館に行つた時です、圖書館の壁が是で出來て居りまして案内の人が大自慢で、斯うやつて學生が勉強して居るのに、少しも音がしないだらう――成程さう聽くと洵に靜かであります、雅致があつて洵に感じの佳いものだと思ひました、其の後ウエスチングハ

ウス電氣製造會社の幹部の晝食所へ案内されまして、米國前電氣學會長スコット博士等と會食を致しましたが、ごうだ、此の部屋は斯んなに澤山人が入いつて、ナイフとフオークをガチャ〳〵やつて居るが、靜ぢやないか——成程、さう言はれて見ると、大變靜かですね——是はセロテッキスで出來てるからだ——斯う云ふ話でした、其の他澤山見ましたが、市俄古のスチーブンス・ホテルの大建築の如きもセロテッキスを使つて居ります、之れは建物を輕くするためと工事をするのに樂であるためで、こゝに其の工事をする方法に關する寫眞も持つて來て居りますが、詳しくお話する時間がありませぬから省畧して置きますが、大きな板に出來て居て、それをビタ〳〵と打ち付けて行くので、非常に簡單なものです、電線の通る所なども一寸孔を穿けて置けば可いので、大變便利ですし、輕いものですから、高層建築が出來易い地震國に適してる。又地形も安くなる譯です、音がしないこと、輕いこと、防寒防暑に適當で、濕氣を受けないこと、色々な點から非常に用ひられるやうです。

四、設備家具の進歩

イ 羊皮紙電燈笠（パーチメント・ペーパー）——今回松平大使のお泊りになつた桑港のフェヤモント・ホテルのことは諸君も新聞で御承知でありませう、私は桑港へ着くと、早速泊つて見たのであります、斯う云ふ汚い着物で一寸困りましたけれども、斯う云ふ機會にホテルの見學をしたいからと云ふ譯であります、ロビーに入いつて、眞中のフックリした椅子にドカンと腰を下ろし、上が赤で下が青くなつた染分けの立派な洒落れた溶けるやうな和やかい光を出す電燈の笠を寫つくりと見て居ると實に好い氣持でした、傍へ寄つて見ると、それは豈圖らんや、諸君の使つて居るホワットマンの紙へパラヒン油を塗つたもので、パーチメント（羊皮）と云つてますけれども、パーチメント擬ひで、パーチメント・ペーパーと云ふのが本當の名前でありまして、其の羊皮紙を以て電燈の笠を造つてあるのです、氣が付て見ると、良いホテルへ行けば、皆それが點いて居る、之を以て見ても、彼等が如何に安くして美的な感じを與へるに考慮を拂つて居るかが解る、日本では昔から贅澤な建築をしたとか、澤山な金を使つたと云ふことを以て自慢にして居りますが、そんなことは米國には見られない、別してホテルなどは、若しそんなに澤山金を使へば、それだけお客さんから餘計な茶代でも取らなければならぬやうになる、殊に私共などは成べく安く泊めて呉れやうと云ふ譯でありますから、從て安い設備を以て綺麗にやつて居る、それは實物を御覽になれば分りますが、ボーツとして居つて、洵に好い心持です、建築科の記念展覽會の時休憩室に之をお造りになつて、神戸の市民をアツと言はせたら可からうと思ふのですが、生徒諸君でホワットマンの紙を一枚犧牲にすれば容易に出來る。

ロ 自動的點火裝置——是は前がらあつたのですが、今回行つて見て數の多いのに感じただけの話であります、何處にでも使つてある、便所へ入いれば、燈が點いて、出ると、自動的に消える、納戸に入いつてもさうです、入いれば自然に燈が點いて、用を濟まして、出ると、又自然に消えてしまふ、詰り戸に仕掛がしてある。

ハ 隣室より開けられぬ戸——是は一寸したことでありますが、日本のホテルや學校などで、斯様な錠前を見たことがありませぬ、なか〳〵面白くやつて居るのでして、鍵孔が二つ穿いて居る、隣室からヒョツと開けられはせぬかと思ふて、やつて見ましたが、兩方同じ

やうに孔が穿いて居らず、互違ひに錠が下りるやうになつて居ります。ホテル建築には必要な注意です。

ニ　自動閉扉――是は日本にもホテルなどにはあることですから、珍しくはありませぬが、一寸此處に之を擧げましたのは、諸君も晩かれ早かれ御洋行だらうと思ふて、御注意の爲に申上げて置くのですあちらのホテルは大抵自分の部屋から出て、ピシャッと戸を閉めれば、今度明ける時には鍵で開けなければならぬやうになつて居ます所が田舍漢は鍵を机の抽出などに仕舞つて置いて、食事などへ出て行くものですから、今度歸つて來て、開けやうとしても、どうしても戸が開かない、鍵はと思ふと、机の抽出に入いつて居る、仕方なしに、面を赤くしながら、赤毛布よろしくで、どうぞ僕の部屋を開けて呉れぬかと賴みに行くと、ボーイが又そんな失策をやつたかとブツ〳〵言ひながら開けて呉れますが、ホテルには皆さうなつて居ますから、どうぞ御洋行の際には閉め出しを喰はぬやうにして戴きたいのであります。

ホ　鋼戸――日本でも近頃スティール・サッシュが流行り出しましたが向ふでは窓ばかりかドアーがスティールになつて居ます、サッシュばかりスティールにしても、ドアーが燃え出したら仕方が無い、鋼は洵に感じ好く綺麗に木目に塗つてあります、木で出來て居る感じが致しまセん、大抵切り口が○斯う云ふ風に膨らんで居りますが、是は丈夫な爲かと思うて居りました所、裏が開くやうになつて居り開くと洋服がかかるやうになつてる。戸の内部が洋服入れです。洋服をかけて寢るとボーイが表を開けて室内へ入らずに洋服だけ持去つてブラウシをしてプレスして又元の所にかけて置く。

ヘ　寢臺等の硝子脚――最近日本でも寢臺の脚に車などが付て居るやうになりましたが、あゝ云ふ所へ硝子の脚を付けて置くことが流行つて居ります、是は必ずしも全部がさうだと云ふ譯ではありませぬが、私は南京虫が上らぬ工夫かと考へて居ります。無論誰にも聽いた譯ではありませぬ、尤も一二のボーイには聽いて見たのでありますが、ボーイなんと云ふものは何も知らない、西洋には中々南京虫が居ます。

ト　氷水口――是亦今度行つて驚いたことの一つであります。洗面器には一方にホツトと云ふ栓があり一方にコールドと云ふ栓があつてホットの栓を捻ると、熱い湯が出て、コールドの栓を捻ると冷い水が出て來る、それを程好く混合して面を洗ふ譯でありますが、米國の洗面器には更に其の中央にアイスと云ふ栓がある、是は澤山使はれては困るからでありませう、他の二つより栓が少し細い、其の下へコップを持つて行つて、シュッとやつて氷水を飲むと云ふ風になつて居ります、日本ではまだアイスの附て居るのは無い。

チ　新意匠半間接照明具――是は先程幻燈でお目に掛けたやうに、なか〳〵意匠を凝して居ります、やはり簡單で美的な物を新作して居ます。私は電氣家ですから、少し御參考に申しますが、丸ビルの各室の電燈が皆天井の眞中から一つ下がつてる。だから地震の時にブラ〳〵して天井に打ち付けて皆毀れた。米國の新意匠のやうに三ケ所で天井に吊つてあると耐震でよい　これはワナメーカー大百貨店で見ましたが眞に慥い付きたいやうな好い意匠です。

リ　ネオン光飾――日本では長岡の高工が此のネオン瓦斯入電燈を有つて居る唯一の所であります、長岡では數年前からお持ちになつて居ります、最近何とか云ふ東京の店に一軒置いたさうであります、即ち廣い日本に唯二つです、併し米國では何處へ行つてもイルミネ

ーションと云へば、ネオンと云ふぐらゐです、是はどんな物かと云ふと、例へば丸善と云ふ店が廣告しやうと云ふ場合には、丸善と眞空管で作つて店頭に掲げる。管内にネオン・ガスが充たされてるから、電氣が通じて丸善の字がクツキリ暗に浮く。眞空管の光ですから、大變綺麗です、此の秋の當校の記念日には神戸高工もやつて、長岡のお尻にくつつかうかと思ふて居る次第です。

ヌ 光の混合せ——是は混合としては面白くない、調合とした方が可いのですが、兎に角此の頃は光の調合と云ふことが非常に研究されて居まして、活動寫眞や芝居へ行くと、光を巧みに混ぜて居ります青、赤、黄と混ぜるとか、赤と紫の光を混ぜるとか、いづれも近來の意匠は皆ボーツとして居ます、米國の芝居を見た眼から見れば、寶塚などは小芝居同然で、イルミネーションはゼロと言つて可い、紐育には劇場が三百からありまして、毎日一つづゝ見ても三百日要かる譯でありますが、大きな所は見て來ました、六千人も入いるロキシー座も見ました、劇場視察はなか〳〵勉強しました。

ル 天井のまたゝく星——ニューオリアンスに在る劇場は有名な建築家が建てたと云ふことですが、古城のやうな背景を何とも言へず綺麗な色が照して居る工合が非常に佳しい、天井は二重天井になつて居まして、こちらで雲を寫す、それが烈しい風が吹いて居るやうに動く、其の雲の斷れ間に星がツインクルして居る、其の雲を捲える機械は東京の帝劇にもありまして、同じフヰルムを何遍も繰返して居れば可いので、それは出來ますが、雲の奥に星が瞬いて居る、是には出來ない、即ち天井が二重になつてる。劇場建築に付て研究の方は此方面をお調べになつたら、面白からう。

オ 新型電燈——是は色々ありまして、日本では一定の首振になつて居りますが、米國ではデフレクター付等色々新型が出來て居ます。

ワ エレベーター表示器——ウールウオースを首め紐育には二十階三十階と云ふ高い建物は澤山ありますが、此表示器はトランスボトルテーション・ビル一箇所しかなかつた、二十ばかりあるエレベーターに付て一番のエレベーターが今何處へ行つて居て三番が今何處に居ると云ふことを寒暖計の赤い液が上つたり下つたりするやうな工合にして示すのであります。

カ メール・チユート、眞空掃除器用ソケット、防火ホースロ——メール・チユートは前からあるもので、新しいものではありませぬが、紐育の數十階もあるビルディングの各事務所から抛り込む郵便物がチユートを通つて一番下の大きな函の中へ落込む樣子を見て居りますと、流石に斯うも仕事が忙しいものかと感心させられます、正金銀行のある建物は二十階からありますが、誰が抛込むともなくツーツー、ツーツーと始終落ちて來る、實に盛なもので、斯んなことでも田舍漢をアツと言はせるのに十分であります——眞空掃除器用ソケツト、是は大阪商船ビルディングヤ大阪毎日ビルで使つて居ります其の他に使つて居る所があるかも知れませぬが、私は見ませぬ、眞空の器械で床を掃除するのであります、詰り箒です。電氣をつなぐ穴即ちソケットが要ります、米國のは都市では大抵の家庭まで之を使ふて居ますから、建築に際しては廊下に五間に一ケ所は此ソケツトを設けることを忘れてはならぬ。

防火ホースロ——是も忘れぬやうに附けて置かなければならぬ、又適當な位置を選んで附けることが必要であります、火事に對する設備は隨分用意周到に考へて居りまして、前に擧げたスティール・ドアやスティール・サツシユを用ひ、尚且つ防火用ホースロは到る處にあ

りますし、ガソリン・ボンプを二階三階に置いてある所もあります。

ヨ　白エナメル食卓――食卓は以前はパーなどへ行きますと、大理石でありましたが、近來は私共の官舍にもありますが、乳色ガラスで出來て居ます、米國のものは白エナメル鐵製でありまして、非常に綺麗です、時には黑いのもありますが、セルロイドかとも思ひます

タ　ゴム・カーテン――是は絹ゴムで非常に薄いものですが、身體を圍つて、シヤワー・バスを使ふ時に便利た材料であります、模樣も綺麗なのがあります。

レ　鬚剃ランプと鏡――鬚を剃る時には是非洗面器の上に鏡があつて又其の上にランプの球がなくちやならぬ、斯うして置けば、非常に鬚が剃り易い、私は模範的な部屋を見ましたが、鏡の兩側にランプが付て居る、是は贅澤で、眞上に一つ點いて居れば可い、高さも餘程擇ばぬと、ヒヨフとすると頭を打つから、能く研究せねばならぬそれで假に六坪の部屋があるとする、入口と窓が定つてる場合に、ベツド、バス、洗面器、便器、ライティング・デスク、チエアをごう置いたら此室が一番廣くて使ひ可いか、電燈は何處に點けたら可いか、之を懸賞附で募集してる、こんな點を常に工夫して能率を上げるから、外人はいつも奮でも綺麗に剃つてる。鬚は一二分で剃るから面倒にならぬ、日本では手元が暗かつたり湯が無かつたり、鬚剃は一つの難事と見られてる、こんな所にも智惠の有無が現はれてる決して金の有無だけの問題で無い。近頃出來た東京學士會館の部屋は四坪位でバスと便所が無いが、まづ理想的の配置になつてる。

ソ　『キツチネツト』と『バス・タブ』――最近はキツチエンと云ふやうな大きなものは必要が無くなつて、キツチネツト（ネツトが附くと小さいと云ふ意味になる）が多く用ひられてる、日本でも文化住宅などは臺所が小さい、以前八疊のものが六疊とか四疊半になり、ごうかすると三疊になつて居りますが、彼方でも段々キツチネツトになつて、それで一切が賄はれるやうになつて居ります――バス・タブは風呂桶でありますが、之に付て私は熱々感心しました、以前の風呂桶とは全然違つて居ります、西洋の風呂桶は御存じのやうに、平面で見れば小判形で横から見れば、長方形をして居ります、是だけのことは以前も今も違つて居ないが、此の中を　斯う云ふ風に角を除いて、成べく餘計な湯の要らぬやうにして居ます、外人は一度使つたら、流してしまふのですから、湯を節約することは肝要です三千の部屋に三千のバスがあると云つて威張つて居りますが、流石に米人は能く考へたもので、是なら何程も湯は要らぬ、以前の風呂桶は私共は寂てる時は顏が沈むやうでしたが、今は迚もそんなに深くありませぬ、其の邊はなか〳〵如才ないことをやつて居ます、私は曾て金盥と洗面器と云ふ題で能率研究に付て講演したことがあります金盥は　斯う云ふ形をして居て、洗面器は　斯う云ふ形をして居ますが、上部の直徑を同一にして中に入いる水の量を計算して見ると洗面器は一で金盥は二の割合になる、それはごう云ふ譯かと云ふと金盥は下の周圍が非常に大きいからであります、西洋のものと日本のものとは是だけ違ひます、是は一杯溫い湯を使ふ上に付てガス代を計算して見ると、大變な違ひになります、今度風呂を見て、米人　能率に敏感なことを熱々感心してしまつた。

ツ　各室ラヂオ――是は何のホテルにもと云ふ譯には行きませぬが、一流のホテルでは寢に贅澤なもので、レシーヴアを耳に當てゝ、ラヂオを聽きながら眠つてしまふやうに出來て居ります。

五、加州大學建築科視察

私は建築科を是非二つ三つ見たいと思ひまして、加州大學の建築科とロスアンゼルヌで一つ見たのであります、加州大學は先づ當校と同じ程度でありまして、ロスアンゼルスのは工業學校位なものであります、二ケ所とも日本人は頭角を抜いて好い成績を占めて居ります、そこで此の頃は日本人のミスティック、ブレーン(不思議な頭)と云ふ語が流行つて居ます、東洋の奴はミスティクな頭を有つて居るから、巧いことを考へると云ふ譯で、大變結構な名であります。

加州大學へ行きました所が、卒業式が十日ばかりに迫り、建築科は製圖や計畫を完成して、今日は展覽會だと云ふ日で、それは恰度可いと云ふ譯で展覽會を見ましたが、是も日本の建築科とは大違ひでありまして、一年生の時に、神戸ではやらないやうでありますが、横濱の高工では盛におやりになつて居るアイオニック・オーダーとかドーリック・オーダーと云ふやうなものを畫いて居ります(私は好い加減に覺えて居るのでありますから、ハツキリ致しませぬが、若し間違つて居つたら、叱つて戴きます)薄墨で以てぼかして居ります、其の邊は横濱と同じやうなことをやつて居ります、所が二年三年になると、スツカリ違ひまして、私はそれを見ると、直ぐ其の晩に古宇田先生の所へ手紙を書いて申上げたのでありますが、所謂エスキストエスキスと云ふものをやつて居ります、是は私は初てでありましたから申上げたのでありましたが、古宇田さんは能く知つて居ると云ふお話でありましたそれが生徒の主なコンペチションの問題になつて居ります、此のエスキス・エスキスは頭の所謂ミスティックの量の多いものが分るもので別段寸法などは入つて居りませぬ、唯スケッチであります、能く支那では水亭とか水樓とか云つて居りますやうな、水の中に柱の立つて居ると云ふやうなデザインを畫いて居る生徒もあります、始終東洋風が勝を占めるのでありまして、主にペンシル・ウワークで色を使つても一色か二色位でありますが、なか〳〵鋭い、實にきび〳〵した筆の使ひ方をして居ります、私は無論素人でありますけれども、ペンシルの働きの良い悪い位は少し分ります、西洋人も決して與し易いとは思はれませぬ、併し日本人の古谷君が優秀であつたことは愉快でした。横濱の中村敎授の御話では是さへ十分に出來たら、あとは平氣だ、目方が重いか輕いかと云ふやうなことは計算者に任かして置けば可い、エスキス・エスキスが一番大事だと云ふ譯であります。神戸高工のやうに、製圖にブランとエレヴエーション、セクションがあるかと思うて居りました所、意想外に感じたのであります、三年生の卒業間際の意匠にも私は驚いた。是は多分先生が題を出したのでありませうが、皆油繪で、花火のデザインを畫いて居ります、ファイア・ウオークと云ひますか、イルミネーションと云ひますか、私は建築のことですから、定めし大きな殿堂でも畫いてあるかと思つて居りました所が、花火をデザインにして居りましたので、頗る其の大膽なのに驚いた譯であります成程今後はイルミネーションも一つの學問ですから、是を研究するのは當然です。ロスアンゼルスの方では岡田と云ふ生徒が非常に好い成績と見えまして、壁に岡田の作品が遺してありまして、先生が是は日本人だと云つて、私共に對して大變お愛想を言つて居りました、兎に角日本の學生は到る處で優秀であります。

六、庭園設計の妙案

先にゴルデン・ゲート・パークの湖水を御覽に入れましたが、彼地方

は元來何にもならぬ痩地であつたさうありまして、現地を見ても全くさうだらうと想像がつきます、所が其處へ或庭園の研究家が來て、巧い工夫をやつた、聞いて見ると、ハハーと云ふやうなものですが、御參考に申上げます、彼地は丘陵があつて高低がある、其の一番高い所へ先づ以て非常に舊式なウキンド・ミルを造つた、之を遠くから見ると一つの面白い古代の風景になつて居る、此風車が始終動いて、其處に在る井戸の水を汲み上げ、それが流れて第一の池となり、第二の池となると云ふ譯で、十數箇の池が出來て居る、元は唯一の井戸でありますか流石に米人で、エコノミカルに巧妙な工夫をしたものです。

七、ダイナミツク時代

此のダイチミツク・エーヂと云ふ言葉は適當であるか、どうか分りませぬが、近頃は立體式と云ふものがあります、私はハツキリ解つて居ないのでありますが、最近彼方流行はどんな繪でも矢鱈に線を使つて居る、先にお目に掛けた女の顔でも細面で角が立つて、目が釣上つて居る、どしても美人の顔だとは思はれぬやうですか、吳服屋へ行つても、デパートメントストアへ行つて見ても、皆あゝ云ふ繪や人形があつて、人形には流行の着物が着せてある、古代の面にあゝ云ふのがあつたやうでありますが、最近はあんな顔を尚んで居ります、是は當然流行の中心地の佛蘭西から來た流行であります、それで私は日本に居る時分は、電信柱が横つちよによつて居つたり、家と云ふ家も眞直ぐになつたもの、ない繪を見て、何故斯んな繪を書き出したものか不思議に思うて居りましたが、紐育の地下鐵道に乘ると皆見るものが總てさう云ふ風に見え、音でも何でも一切合切入交つて居る、成程是あるかな、時代を表徴する繪はあれでなくちや可かぬと思ひました、斯うやつて居ても、諸君の手には野球はどうなつたか、と野球のことを考へて居る人もあれば、電車が無くなりはしないかとか、或は明日の材料强弱の試驗はどうだらうかと心配して居る人もあつて、種々樣々に頭の中で入交つて居る、其の入交つた所を描いたのが所謂ダイナミツク・エーヂの繪かと思ふのであります、果して是が當つて居るか、どうか、全くドグマティックな解釋でありますが、私は今度紐育へ行つて初てあゝ云ふ繪が解つたやうな氣がするのであります。

八、海水浴場建築

海水浴場建築に付ては先に寫眞をお目に掛けたアトランティック・シテイで研究して來たのでありますが、時間が迫つて來ましたから、こゝでは省略して置きます。

九、偉大なるかな建築家

今度の旅行に於て幾多の立派な建築を見て、熟々人間の中で一番偉ひのは建築家だと思ふた、日本に於ても古來多くの偉人傑士が輩出して居りますけれども、然らば今日何が遺つて居るかと云つた時には、法隆寺と云ふことになつて來る、言ふまでもなく、それは其の建築家の偉いと云ふことに歸着して來るのでありますが、三十階四十階と云ふやうな大きなホテルに泊つて、二十階邊りから顔を出した時に私は變な氣になつた、實際さう云ふ時は久野久子女史のやうに此處から飛んでやらうかと云ふ氣になるものです、下を見ると、人間は、昔から寸馬豆人と云ひますやうに、豆位に見える、能く斯んな偉いものを安全に建築したものだなと思ふて、全く敬服してしまひました、又單にストレングスの問題のみならず、電氣から機械から總ての科學をそれ

に綜合し更に藝術を加へて居る、驚くべき頭の所有者でなければ、到底建築事務所長とか或は設計部長と云ふやうな者にはなることは出來ない、何が何個と云ふ數が一つ間違つたら、やり掛けた建築がスッカリ停頓する、建築家は餘程計算の頭がハツキリして居らなければならぬ、二百五十と二十五と間違へたと云ふやうなことでは迚も建築家にはなれない、又美術も出來なければならぬし、體も強くなければならぬ建築家と云ふものは餘程偉いものだ、從てあちらの書物を見ると、大抵建築家の名が書いてあつて、偉い人として尊敬されて居ります、先程來申上げた建物を建てた建築家の名前を申上げやうと思へば、直ぐ分るやうになつて居ります、諸君も好い加減な建築をして、名前などを書いて置いては、倒れた時に都合が悪いから、名前を書かないと云ふやうな、卑怯な態度を執らず、正々堂々と署名するだけの十分の責任を以て、木造建築すら千年以上も遺つて居るのでありますから、鐵筋コンクリートならば、二千年三千年も遺る所の偉いものを、諸君の生涯に於てお造りになることを希望する次第であります、亞米利加に於てはビルデイングなど、云ふ言葉は餘りに小さい、商業殿堂とか工業殿堂とか、どうしてもカセドラルと云ふ言葉を使はなければ表現出來ぬ程な偉いものを建築し、メザニン・フロアーと云ふやうな立派なものを拵えて居る譯であります。

十、日本の西洋建築

餘談になりますけれども、斯う云ふ機會に於て日本の西洋建築と云ふものを申上げたいと思ひます、日本に於て西洋式の建築をして、西洋建築をやつて居ると、お思ひになつたら、大なる誤りでありまして、日本の西洋建築は西洋の西洋建築とは遙に違つて居ります、例へば私の官舍のやうなものでありまして、全部疊が敷いてないから、西洋建築かと思ふと、間違ひであります、矢張り日本人に適するやうに拵えてありまして、入口の所が違つて居るとか何とか小さな點ばかりでなく、間取から便所や湯殿臺所の構造も違つて居ると云ふ譯で、西洋のものとは大分違つて居ります、西洋建築と云つても、實は日本化したる西洋建築であります、又さうあつて然るべきことで、西洋式の建築も日本に於ては日本の鑄型に入れ、日本式にしてしまつて、少しも差支ない、日本人が住むのに、住み可いやうに拵えれば可い、バンガローのやうなものでも、西洋建築ならば、米國のバンガローと云ふ本にある如くポーチから直ぐリビング・ルームにあります。米國は道路に泥が無いから、これで可い。斯う云ふ建築を日本でやつたらどうですか入口から直ぐ座敷で、泥靴を脫ぐ所も無い、戸を開ければ、お客が來て話をして居る、大變滑稽な話で、日本ではどうしてもポーチの次に玄關と云ふものを拵えなければならぬ、ポーチは字引に玄關、車寄せとなつて居ますが、車寄にはなるが玄關では無い。日本の建築には玄關に次でホールと云ふものが必要になつて來ます、所が西洋では近來は大建築で無いとホールは無い、入口はロックして置いて、決して開けない、矢鱈に呼鈴を鳴しても開けるものでない、是は先づ電話で、あなたのお宅へ二時から三時までの間に伺ひます——、御待ちします——と約束して置いてから、出掛けなければならぬ、又二時から三時までと云ふことであれば、三時になつたら、直ぐ歸らなければならぬそれが日本では現に四時までの此の講演が四時半にもなるやうな譯でありまして、何時までも愚圖々々やつて居るから、三時からのお客とブツ突かる、それで君は二時から三時までと約束して置いても何にもならぬ、此の場合西洋では君は三時までの約束だからと云つて、歸つ

てもらふが、それは日本では出來ない、そこでどうしても西洋のやうにポーチの次がリヴィング・ルーム、で幕を開けると、食堂、食堂の直ぐ次がキッチンと云ふ風に、皆くツ付て居るやうに行かない。其の他湯殿でも、西洋のやうに、一遍入ると、直ぐ流してしまふと云ふのではなく、大抵一つ湯で、總ての人が入ると云ふ風ゴでは、どうしても流しと云ふものを附けなければならぬと云ふ譯で、一切が違つて居ります、此點は諸君が西洋建築をおやりになる場合に於て十分御注意になつて、西洋のものを丸呑みにせず、其の中に自分の意匠を織込んで、常に日本式西洋建築と云ふことを念頭に置かれることが當然であらうと思ひます、どうか面白い日本式西洋建築を發明されゝば、大變結構だと思ひます、屋根の形なども西洋のやうにせず、前述のやうな曲線を有つた屋根を造つて戴きたいと考へるのであります。



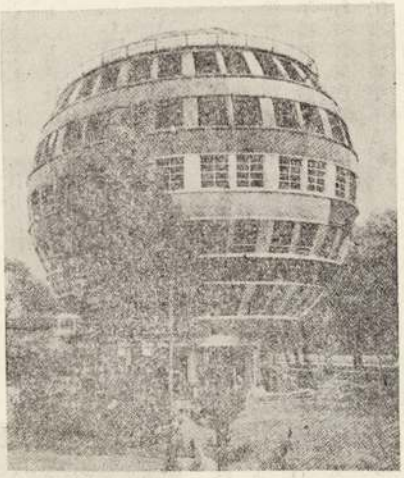
東洋一の大百貨店
東京銀座に出現する

流行の魁へ文化の中心地、銀座街頭に大規模のアパートメントストアができる近く計畫發表と共に株式募集に着手される創立發起人は實業界の一流の人々のみである資本金一千五百萬圓合同デパートメントストアと稱し丸の内東栄ビルに創立事務所が設けられてゐる既に銀座通り目抜きの場所に土地の鉾衡が終つた建物は鐵筋コンクリートで地下を合せて十二階この總延べ坪一萬二千五百餘坪一日三十萬以上顧客を收容し得るほどの廣大なのである特色は一品一店主義衣は吳服商洋服は洋服商麥わら帽は帽子屋といふやうに小賣專業より選定/會社はこれを統一して行くのであるこの組織は非常な歡迎を受け既に出品者の申込みは豫定を超過する情勢にあり地方生産者の一般申込みをも受付けることになつてゐるこの外コーペレチーブデパートメントストア即ち製造家集合販賣も兼ねるといふから顧客を安心して良品を安く手にすることが出來るわけである建物内には集會所食堂浴室化粧室理髪室郵便局銀行出張所倉庫冷藏庫屋上運動場演奏場等々あらゆる設備を加へる筈（寫眞は設計圖）



將來の建築

スペインに初めてつくられたリズミカルな家屋は現代建築樣式に一新生面を開いたものとして今や全歐に流行を極めんとするに至つた、將來の建築物は機械から藝術に至るまですべてリズミカルなものである事は疑ふ事は出來ぬ最近ドレスデンで催された工業博覽會に『明日の建築物』として面白いリズミカルな家の模型が數多陳列された、別項の寫眞はその中の代表的なものである寫眞は將來の住家……高さ十丈球の樣な家の周圍はアルミニユーム合金で包まれてゐる、下方は商店でありに方はアパートメントとなり最上層はレストラントとなつてゐる、これが明日にも出來るアパートメントだといふのである。



日光廟造營

從來の定說覆され
僅か十五ケ月で完成
當時の大棟梁甲良豐後の秘錄から
大熊喜邦博士が發見

日光の東照宮造營は從來史學、建築學などの各專門家は勿論一般人もひとしく寬永元年に起工し、同十三年上棟式をあげたものと信じてゐたとともに、寬永十三年四月八日遷宮祭のあつたことは種々の記錄にも明瞭であつたが、工學博士大熊喜邦氏は數年前林羅山の東照宮記錄中たま〳〵一創去歲初成今茲季春」の一句を發見し當時の大棟梁甲良豐後の記錄調査を志し今春二月から三月にわたり甲良家をつぐ東京市牛込區中里町甲良傳次郎氏を說得して、祖先傳來の秘庫を開き圖書の大整理に着手したところ今回はしなくも日光廟造營に關する完全な活資料數種を發見した、同時にその作業期間周知のものと全く異り僅に十五ケ月で竣成した事實をも確め得たので近く公表することゝなつた、大熊博士の調査によれば、まづ日光廟造營に關する儀式の日取りを占つた京都の陰陽頭賀茂朝臣友景の勘文按の控へに「擇申東照大權現御造代

入柚の日時」として寛永十二年四月二日壬午時辰としてあり、また「木作始」は同年四月十四日日午時巳その他地曳居礎、立柱等詳細に認められてあるし當時係役員の多賀谷須衛門、黒田權太夫の二名の、判取帳の寫である「日光御造營平大工彫物師木引日覺帳」にも寛永十二年亥の正月より翌十三年三月

東照宮本殿



廿六日まで毎日出場した大工、彫物師木引の人數を明細に記したものがあるなほ臺所役人永江瀬次兵衛の「日光臺所米入用覺帳」にも寛永十二年二月一日から三月廿六日までの精算書の覺が明記されてあるので十五ケ月で竣工といふことの動かすべからざる論據となつた、面白いのは縱三寸、横六寸の粗末な横綴帳に過ぎない大工日覺帳であるがこれによると

使用大工（大工、彫物師、木引を合算す）は總計七十七萬九千八百一人で寛永十二年正月八日から同十二月廿八日まで材木受取人千三百八十人および同十三年正月から二月廿九日まで材木受取人三百廿二人を筆頭に同十二年極月中夜業した彫物師は一萬四千五百人、同十三年二月中の彫物師の夜業は二萬九千二百七十人で右の統計によると、一夜千人からの彫物師が夜業したことになる、また臺所覺帳によると米だけ四千十七石九斗九升を幕府から臺所役人が受取つてをり支給高としては

一人一日三合三勺、味噌は二百十石四斗七升五合で百人につき一日に三升七合八勺三菜宛支給されてをり塩は八十五石一斗六升で百人につき一日一升六合三勺、干物九十三萬七百八十七個

など日本各所として一躍世界的に著名となつた日光廟造營當時の活動の光景が右の活資料により眼前に彷彿たるものがある、右につき大熊博士は語る

眞に欣喜雀躍

平泉説と符合

大熊博士談

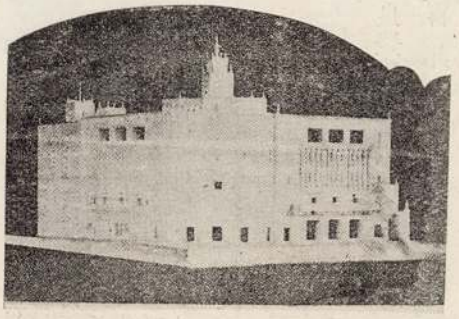
日光廟の上棟式が寛永十三年四月にあげられたことは諸種の史料にも立派に殘つてゐるが、建築上肝腎の礎石立柱の式の日附が不明なので同廟の建築を論ずる上から甚だ心元なく感じてゐたが、今度甲良家の秘庫を開いて貰ひ分類と鑑定を行つてゐるうちに端なくも五種の記錄を發見し眞に雀躍を禁じ得なかつた、これによると例の十三年説は全く覆へされることゝなるが、私の外に數年前から東照宮史の編纂に從事されてゐる文學博士平泉澄氏が外の文獻から同樣の事實を發見したが、今回の私の發見と全く符合するものでこんなうれしいことはない、私の考へによると日光廟は寛永十一年の暮か秋の末ごろ起工準備にとりかゝり同十三年四月完成したものであれだけの大工事がよくも十五ケ月の短日月に仕上げられたものと感歎に堪へない

六階建の大劇場

觀客二千三百人を收容する東京劇場の設計成る

松竹が大林組の木村技師により築地萬年橋畔に新設すべく設計をすゝめつゝあつた東京劇場は愈々設計を終り近く工事に着手するが

敷地面積二千二百坪總建坪三千三百四坪餘樣式は總てスパニッシュ式純洋風に則り鐵骨鐵筋コンクリートに耐火耐震の裝置を施し地下室共六階建にして屋上機械室及裝飾塔を加ふるときは實に百十二尺の高さを有し天空をつくの觀あり外部は花崗石作りの化粧タイトルを張つめて美觀をそへ一階より四階立見席まで優に二千名を收容し得二臺のエレベーターは五階まで觀客を運ぶ仕組とあり舞臺は間口十三間高さ二十一尺廻り舞



臺の直徑は五十二尺この外樂屋は地下室より六階に亘り二十四室を設け喫煙室は四ケ所食堂は優に千人を收容すべき五階の大食堂を始め七ケ所に休憩室四ケ所便所七十一ケ所等設備完全せざるなく從來の本邦劇場中その比を見ざる大がゝりであると（寫眞はその設計）



必然より自由へ

山崎萬壽夫

Nur der verdient sich Freiheit wie das Leben, Der täglich sie erobern muss.
Und so verbringt, umrungen von Gefahr, Hier Kindheit, Mann und Greissein Tüchtich Iahr.
—FAVST— (GOETHE)

私共は地上の生活に於て『至上善』(Bonum supremum)を實現し得るといふ信仰をもつてゐる。といふのは私共が、形式的に考へられた道徳の主體としての個人でなく、具體的な文化を通じて實現されるであらふ『目的の國』(Reich der Zweck)への人格の協同體として考へられるからである。故に現代はその道徳的最高善の實現に向ふ過程である。

而して若し人類が以上のやうに道徳に於てのみ自由を實現しその自覺に達しえられるきのであるならば、歴史は正にヘーゲルの云ふ『世界歴史は自由意識に於ける進歩である』即ち人間の自覺的自由の發展過程に外ならないのである。

寔に『自由』なる名辭は人類一切の努力の目的であることに於て異論がないけれども、私共は古からこの『自由』の名の下に數多の罪惡が爲されたことを歴史の上で知つてゐる。

由來『自由』なる名辭は恒にそれを追求する人々にその血を躍らしめる魔力の働きを潜めてゐる。自由を求めて罪を犯すに到つたそれらの人々は皆この魔力の麻痺にあつて、誤まつた自由の觀念の方向を正しいものと誤解してそれを求め、竟

—廢墟の東京—



右、室町三越附近
左、日本橋際

に自己と社會の破綻を敢行したのである。

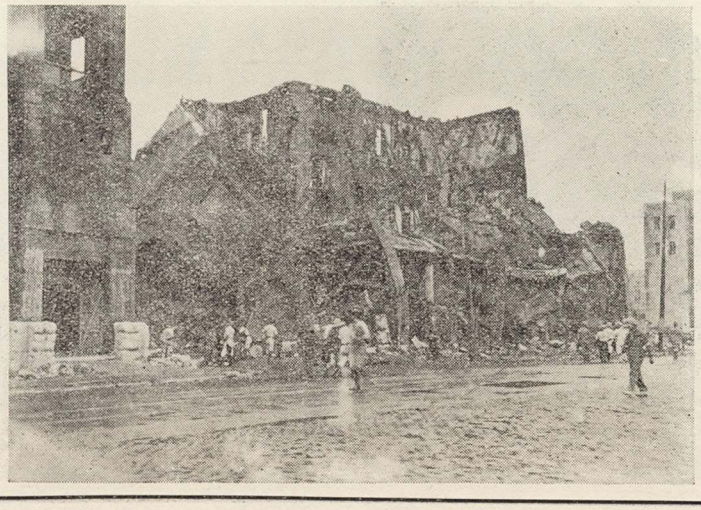
茲に到つて嚴肅に私共は『自由』をその實現する方向に於て規定する。即ち『自己の內的價値の實現の自由、自己の內在の法則に從つて自己の本質を實現する自由』とする。

そこで『自由』を以て右のやうに實現するものと解すると、自己の眞に本質的でないものが否定せられねばならないのである。言ひかへると『自由』は自律でなければならないものである。故にその價値的撰擇に從ふ實行には、當然それを實行しえられる能力を豫定するものであるから、自由を享樂しうる個人及國家は必然に優強な個人及國家といふことになる。要之すれば『自由』は人類の最高憧憬ではあるけれども此の自由の生活、自由の國家を實現せむとするには、價値實現の能力の充實を前提としなければ不可能であるといふ結論に到達するのである。

◆

日本は極東に於ける一島國である。各國の文物が海を越えて齎らされると同時に各種の思想も傳來した。日本文化史は斯かる外國文化の應接に暇ない多忙さを語りながら、尙ほ各の時代を通じて何故となく外國文化の模倣複寫のやうな感じを懷かせるものを有つ。文化の改新の支那思想の影響、奈良時代の佛教思想、平安朝知識階級の支那文學及道教の影響、更に鎌倉時代に到れば天台、禪、淨土密教等の思想上に於ける勢力、次いで足利時代の文學上に及ぼした支那文學の影響江戸時代の儒教の勢力等を擧げることが出來る。しかし是等は遠い過去のことであるとしても、明治時代に於ける歐米化は尙ほ私共に新らしい多くの事實を提供する。然るにも拘はらず日本國民はそれらの外來文化に對して、優れた統化力調整力を働かして消化し日本化しえたるが如き自瀆的錯覺を起して滿足してゐる。

由來日本國民は永い歷史的傳統をもつてゐる割合に其生活が比較的柔軟であるこれば日本國民に限らず一般東洋人の通弊である生活力の薄弱に起因してゐる。內容の貧しいかかる生活は日本國民に『其の與へられた境遇』に甘むじる傾向を醸



日本橋附近（九善）

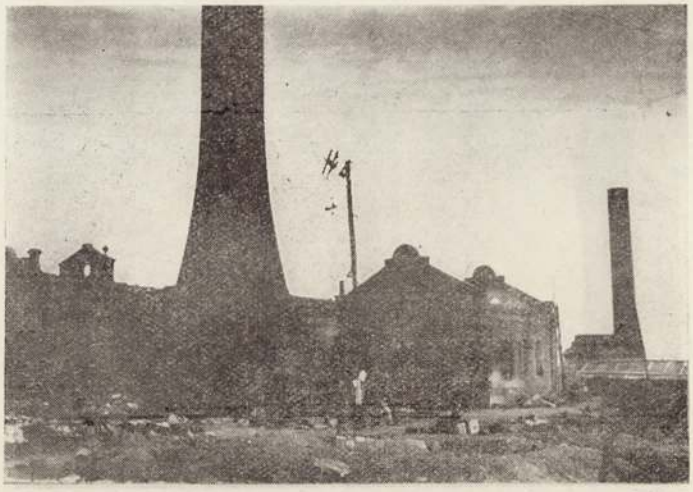


成し、竟にはそれが習慣性となつて境遇の改造を求めることには關心なく、如何にして『與へられた境遇』にあつて滿足すべきかに腐心するやうに導いたのであるしかし日本國民は藝術的趣味と順應性を授けられてゐた。過去に匂つた日本の文化は順應性を幹にもつ藝術的趣味の枝に咲いた花にすぎなかつた。

日本國民は斯くて久しい間竟に自我に對する反省をもたなかつたのであつたが斯かる消極的外界順應は何時までも許されやう筈のものではなかつた。過般の歐洲大戰爭は竟に日本國民に深刻な經驗を與へた。外界順應にともなふ危險が眼前に表はれたのである。日本國民は茲に到つて始めて其生活目的の醜い失敗を見て昂然と新たなる生活の途を進むべく若き人々を第一線とし自我に對する反省のため決意ある一歩を退いたのである。その若き人々、彼等こそ吾が日本國が次の時代に贈る瀏溂有爲の人々である。彼等は其處にとゞまつて人間の自由と解放の二つの方法——一に境遇の改造、二に精神其者の敎養、而も共に同一の目的をもつ不可分の兩面であることを知つたのである。茲に於て此の新らしい社會改造の原理による社會的憧憬が彼等の中に生じ、來るべき日の日本を決定する『當爲』の進展をみたのである。

◆

ひるがへつて社會の歷史を觀るに一の時代には必ず一つの支配階級があつて、其時々の社會の特色が彼等によつて定められてゐた。しかし當來する階級——第四階級にあつては嘗て第三階級が貴族、僧侶にとつて代つたやうに自ら新らたな專制支配の時代を作らうといふのではなくて、第四階級は社會の最終最極端の階級であつて地主資本家のやうに特權階級を形成しなければならない何等排他的獨占的要求を有つてゐない。だから何等かの方法で社會のために有用ならむと期する限り皆は等しく第四階級に屬する。『第四階級には全人類といふのと同じである。だから第四階級の自由は人類の自由、第四階級の支配は總ての人の支配に外ならない』Lassale 故にこの觀念を社會の支配原理たらしめむとする來たるべき



藏前發電所



時代は決して階級の分裂對立がなく、普く調和、一致、愛の輝に滿たされた社會の時代である。茲に到れば社會は階級對抗を超へて『自由』に生き國家は始めて完全に自覺的にその使命を全ふする。

人類の眞使命は國家を俟つで果たされ人類の自由と文化とは國家を俟つて始めて實現せられるのである。言ひかへれば自由の發展、人類の由自への進化を遂けむしべき職分を有するものを國家の理想態とするのである。

現代文明の精神を最も適切に代表する都市の發展は愈々その華々しさを增すであらふ。由來都市は文明進步の根本一條件である。しかし都市はその維持の爲めにも發達の爲めにも人口の都市移住を前提として要求する。だから都市の勢が愈々增大すればするほど必然性は、都市移住の傾向をして急激なる都市集中を起さしむべき高度の傾斜を强制する。

併しこの强制的な積極的都市集中の現象の背後には重大なる心理的半面がある一般には現代文明精神の普及の結果であると考へられてゐるけれども、根本的には人格の自由發展、自由活動及自由享樂をえやうとする要求に於ける都市生活の憧憬である。都市はこの相牽引する二面をもつて發展する。

ここに都市的陶汰 Urban Selection が行はれる。

文化發展の點から云へば都市はその國の優良要素をして充分にその智能と技倆の發展をなさしめることによつて、國民の文化的能力を充分に發揮せしめるに役立つ文化培養所である。しかし其反面には優良要素を都市に送り出すことによつて生じる地方の衰退がある。爲めに地方は都市の爲めにのみ存在するかのやうなそれ自身の存在理由を失つて、事業は衰退し其生活は愈々困難を增すことになるしかしこのやうな地方實衰退の現象は其優良要素各自の自覺と物的及精神的生活條件の安定充足によつて防止することが出來る。ここに於て都市と地方は今迄の變態的關係を斷つて成長する。

燦然華やかな大都市は恒に地方に源する『上る流』の奔流に生き、自らを起點と



丸ノ內、內務省の廢墟



する『下る流』に疲れたる人々を地方へ送還する。地方より都市へ都市より地方へこの二つの流れは最も重要な都市生命の新陳代謝の機能を働らかして、含蓄より顯現へ絶大優強なる都市有機體の發展完成に盡力する。

◆

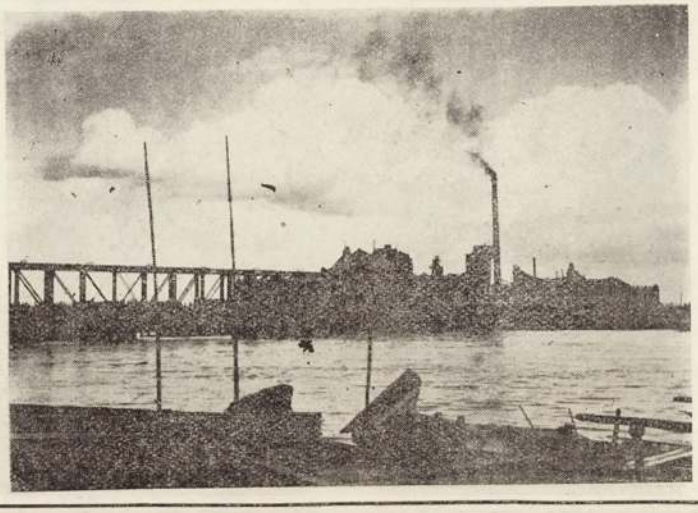
種々の理論的闘争や實行に於ける障礙もあつたけれど『自由』は竟にその自由なる眞の姿を表はすことが出來た。國を擧げての自由讃頌の聲は忽ちに空前なる文化の高潮を齎すに到つた。

私共は生活の周圍をこの人類の高い文化を示す諸設備と生産品で充たしながら適度な緊張した勤勞と充分な休養の中に益々高からむとする文化に協力するものであることを自覺しつゝ活動してゐる。その活動の『場』即ち都市は言ふまでもなへ吾國文化の精粹の集まる處である。私共は其主要なる機能の如何によつて都市を帝都、行政都市、大學都市、工業都市、鑛業都市、商業都市等に分けて呼むでゐる。そして地方を禮拜と休養と遊歩場とに山地、海濱、温泉場を娯樂地に充ててゐる。

各都市間は直線的な道路と完成された種々の交通機關で連絡されてゐる。距離は時間的に短縮され私共は全地球上の如何なる地點へも僅少な時間内に達しえられる便益をもつてゐる。晝夜の別は殆ど時計の上に知るだけであるが休養には規則正しく夜の時間を充ててゐる。休日は禮拜、遊歩、旅行に費やされてゐる。

成年男女は皆市民權を與へられ都市及國家の凡ゐる文化的施設に對する合議參加の自由を認められてゐる前刻に國際聯盟が世界人口協定を結むで以來優生學的陶汰による人口調節を實行した効果は、今日到る處に會ひ逢ふ國民の容貌に瀟洒たる人生の男々しき深刻な熱情强烈な意志を表はすほど全國民を優良化したのである。

國立文化研究所は現代の偉大なる哲學者、藝術家、科學者の凡てを招聘して各々研究を分擔せしめ、文化のゾルレン、科學の研究及其理論を基礎とする社會並



吾妻橋

國家の諸施設の攻究、或は形象藝術家を街頭第一線に送つて凡ゆる形象に其構成的表現による美を創作せしむべく盡力せしめてゐる。と同時に各々の學者藝術家は大學都市の各部に屬し、其研究するところの學藝に就いて講義を放送することによる教育薫陶の重任にあたつてゐる。

かへつて、電氣力學と光線スペクトルの精密科學の研究によつて吾國立文化研究所は數多の貴い貢献を緩々發表してゐる。

原子核の電氣量の增減による元素の人爲的變質研究は前きに透性輕鐵及輕鋼鐵の製作を完成し、放射線B線（ベータ）の光學電氣學上の功績は新らしい偉大なる『力』を發見した電子に關する數學的物理學の精密な追求は尙ほ光線スペクトルの實驗的證據を俟つて其機械裝置による光線の凝象、結果よりみれば熱の貯藏を可能にし冷却裝置なる晶化窒氣裝置と共に驚くべき便益を現代に顯らしたのである。

◆

見よ、白色に透視される此の美くしい都市を

私共の此都市は白色に輝く正六角形を都市票 City Sign としてゐる。

市街の建築は新らしい材料、輕鋼鐵の熔接構造と透性輕鐵の構成よりなる作品である。無論計畫は一切藝術家の意匠である。高さと階數に制限された此都市建築は、緣樹區域に護られてゐる私共の合議會堂を放射點として六角の各頂點へ放射する廣路とそれを綴る街路、並木路によつて區切られながら尙ほ美的均衡を壞さないやうに計畫し建築されてゐる。其の屋上には皆光線屈折裝置と放射光線裝置を設備してゐる。一は都市衛生上太陽光線の隅なき照射を必要とするために設備され、他は世界都市交通聯盟の規約にもとづいて凡ての都市と同樣に夜中その放射光線によつて全市を照明するための裝置である。深夜闇にうつし出される輝色とその形は地上の夜を寶玉化しつつ其都市を象徴する航空指標に供せられる。

素晴らしい直線にのびる透性輕鐵輔裝の術路面は地下へ三層をもつ走行車路の各層を、透過する太陽の光によつて完全に照明してゐる。



室町附近

尙ほ各々の都市は空中電氣變電所を直營し其建築を中心にして左右に無線郵便局及無線送電局の建築を有つてゐる。一つは通信事務を他は電力の供給の仕事を分擔してゐる。

航空機を主として地下走行路を疾走する自働車等私共のもつ交通機關は、皆異樣な形體と驚くべき速度をもつてゐる。それは放射線B線の電氣力凝聚によつて生じる強力な放射力が物體をその放射速度に於て運動せしめうる可能性を發見したことによる。即ち數學的物理學の理論の下に工夫された機構其者が航空機であり自働車であるので、速度を自由に調整するやう裝置されてゐる。

都市を離れて田園避歩場に到れば大音樂堂大劇場の一區劃が靜かな陽光に映えるのを望むであらふ。この觀客幾萬の座席を有つてゐる大劇場は規模より大なりと稱せられてゐる大音樂堂とともに、その公演を同時にラヂオテレビジョンによつて放送してゐる。だから私共は隨處にあつて劇を或は音樂を鑑賞することが出來る。

並木道の遊歩場を過ぎるとそこは禮拜場——祖先の崇拜、絶對完全なる神への尊敬感謝の聖地である。私共は建國二千年來の精神を遵奉し尙ほ此處を訪れて尊敬と感謝を捧げる。

◆

私共は必要が必要とするだけのものに充分な滿足を與へやうとする。私共はその職業及その家族の數によつて住宅の大いさを決定する。やがて適度な空間が構成され室一杯に漲る光は私共を飽くまで明快にする。食堂も居間も共用であり此處は空間の構成的美が簡單な家具の一揃とラヂオテレビジョン受信機と書籍と壁畫に裝飾される。それに續く兒童室は私共の住宅の最高の位置と設備を有つてゐる。それは兒童の人格、智力、含蓄を助成するべく供せられるものである。教育が大學都市から無線放送によつて兒童を自發的思索者、自發的判斷者、自發的行動者たらしむるやう各科の講生を組織してゐるから兒童室は記錄式ラヂオテレビ



駿河臺

ジョン受信裝置書庫其他簡單な理化學用具、繪畫用具、樂器等を設備する。精密なる實驗を要する各種研究は大學都市の研究所を使用すればいいので此室ではその設備を要しない。室の廣さ室の明るさは凡て國立文化研究所案を基礎として他は藝術家の創作である。次で私共の寢室がある。安心のもとに休養をとり睡眠を求める此の室は私共の周圍との絲線を必要とする。階律的空間構成は柔らかな光線に映へ低い寢臺、簞笥が壁の明暗の漸層を背景に置かれて、安靜を亂す何ものもない水平感と垂直感との抵抗のない擴充にある室である。最後に臺所に就いて語つておかなければならない。今私共は食品化學、營養生理化學等の方法による食料品を調合合成してそれを常食としてゐる。故に臺所は營養化學藥品、營養素等の棚、計量器其他及熱設備冷却設備、をもつだけである。採光は透性輕鐵窓より尚ほ屈折光線清淨を不斷に行つてゐるから食料品に對する何程の不安も私共はもたない。汚物も排泄物も凡べてX線スペクトル所理によつて氣化發散せしめてゐる。

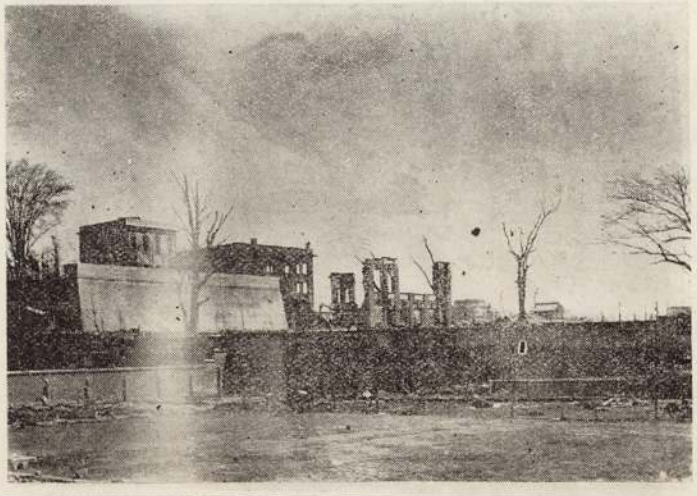
建築物外壁、內壁等は輕鋼鐵板或は透性輕鐵板を以て熔接被覆し熱及電氣に對して絕緣性を保有する塗料によつて仕上をする。溫度の調整、空氣の淸淨化、室內照明は皆簡單に——晶化空氣裝置、光線凝聚裝置の應用によつて目的を達してゐる。

斯のやうに生活が簡易に淸潔に便利にその上安全に護られてゐる私共は今尙ほ驚くべき發見の報せをえたのである。それは恒に研究の歩みを確實にはこむでゐる國立文化研究所が『地殼變動の豫知及其對策』として深遠な理論をもつて地殼の平衡狀態の絕對的繼續維持を可能ならしめる光學的機構を發見したことである。

◆

『必然より自由へ』この飛躍に生み出された現代は正に其の子午線上を通過せむとしてゐる。

『自然界に多少の調和があるのは、大きな激突の滅多に起らないのは、そして生



大藏省

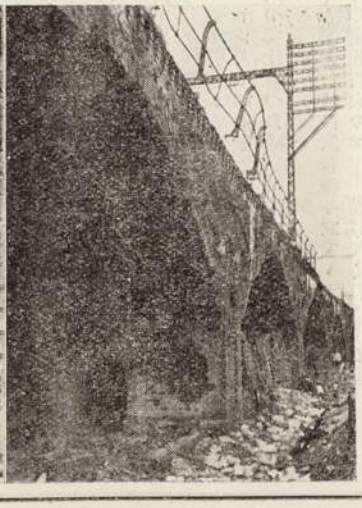


物や無生物が其周圍の條件によく適應してゐるのは其等のものが此周圍の條件そのものの産物であるからである。從つて此周圍は其等のものを滅多に打壞はすやうなことをしない。建設力と破壞力との自由なる働きそのものが其等のものの內に調和を維持してゐるのである。されば若し調和がありとすればそれは此等の力の結果に外ならない。そしてこの結果は又其時の必要に應じて此等の力によつて常に變化せられうるものである』

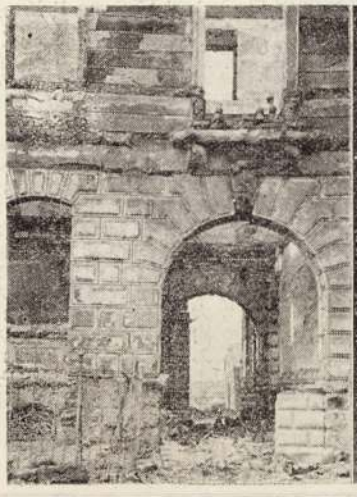
調和は決して永遠に續くものではない。何時の時代にあつても其時代に尙ほあきたらないそして其れとは違つた何等かの新らしい生活樣式を求めむとするは或る社會的憧憬が生れてくる。

かくて源を『自由』に發した人類の文化はその『自由』に終始して竟に『自由』の中に沒し去らむとする。其時に於て人類はその前史を閉ぢるのである。Vita brevis, aas longa. 悠久なる自然に比して人生は寔に短い。

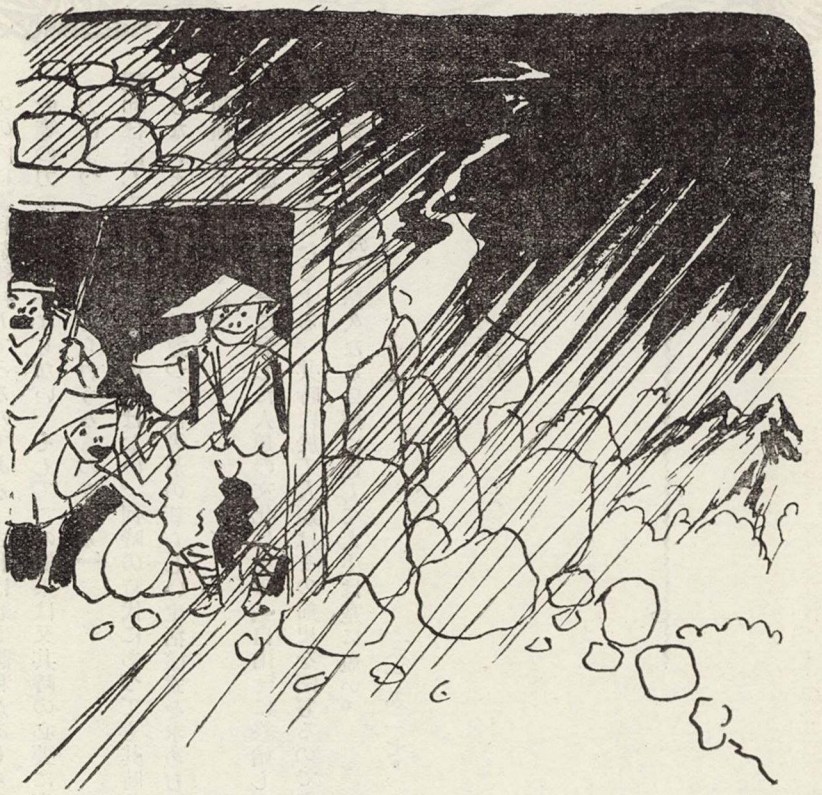
（一九二七・一〇・五）



有樂町附近高架線



遞信省



八ッ雷の神

蘇牛作

誠に殊勝な先達に引率された道者等手には六根の棒を持ち口に清浄心にざんげ段々と登りに成つて來るが仲々何れも達者な道者、扨いよ〳〵七合目位いからそろ〳〵とのろくなる鯨が陸へ上つた様にフーフーと息を吹き上げてはうなつてゐやーがる、おいしつかりしろよまだ七合目だぜ、ごふしたんだいざんげは濟ませたのかい遠慮はいらねえんだよしつかりうなつて置きなよ、とか何んとか漫畫子はからかつて登る、其の内に大先達にわかに神懸りの有様らしい眼は日月の體即ち片眼は大きく見開き片眼は下に細く……

我れこそは不動明王なり……高麗や……大向ふよろしくあつて一同守護するぞよ——がちやんちやらおかしいが一同平服ハヽ……有難き幸福何卒登山無事安康をとかなんとかで終る。

この大先達少し登りが強くなると盛んに不動明王を連發やつてるがごふもこいつの目がたまらなく氣になる、そふだ大岡政談の丹下左膳ににてゐるぞ、と思つて見てゐると益々大河内の左膳によくにて來た、うむ……逢ひたかつたぞよ——さあ——雲龍をさるか乾龍を渡すかさあ——參れ……てな映畫の場面を思ひ出させる

八合目に來た時今一人雲切りの大先達盛んに杖を振り廻してはヤツエツヤツとやつてゐるが一向に雲は切れそふにもない漫畫子大いに聲援をすれ共その効なく倒々雲切り先達引き下るとしばしきら〳〵と太陽が見えて來た、ヤレ〳〵氣の毒そふに……雲切先生すご〳〵の小屋に入つて仕舞つた。

× ×

グラ〳〵〳〵と一時に大音響を立てゝ天地もくだるかと計りの電光石火ウエ——助けてくれ——石室に飛び込んでアアーメアー……ベロキヤノマカランカイナー……カリ〳〵〳〵大雷雨何れも色を亡なつてガタ〳〵ぶるい。

やれ〳〵神明にして行こふぜとは漫畫子の聲、後は相變ず大ぼら吹きゆくは先達と天狗連の聲……。

地震の時の心得

今村明恒　理學博士

一、最初の一瞬間に於て、非常の地震なるか否かを判斷し、機宜に適する目論見を立てること、これには多少の地震知識を要す。

二、非常の地震たるを覺るものは自ら屋外に避難せんことつとめるであらう。數秒間に廣場へ出られる見込みがあれば、機敏に飛出すがよい。但し火の元用心を忘れざること事。

三、二階建・三階建等の木造家屋では階上の方が却て危險が少ない。高層建物の上層に居合せた場合には屋外への避難を斷念しなければなるまい。

四、屋内の一時避難所としては、堅牢なる家具の傍がよい。教場では机の下が最も安全である。木造家屋では桁・梁の下を避けること。また洋風建物内に於ては張壁・煖爐用煉瓦煙突などの落ちて來さうな處を避け、止むを得ざれば出入口の枠構の眞下に身を寄せること。

五、屋外に於ては屋根瓦・壁・墜落或は石垣・煉瓦塀・煙突等の倒潰し來るおそれある區域から遠ざかること特に　燈籠に近寄らざること。

六、海岸に於ては津浪襲來の常習地を警戒し、山間に於ては崖崩れ、山津浪に關する注意を怠らぬこと。

七、大地震に當つても、凡そ最初の一分間を凌ぎ得たらばもはや危險を脫し得たものと看做し得られる。餘震恐れるに足らず、地割れに吸込まれることは我國にては絶對に無し　老若男女總て力の有らん限り災害防止につとむべきである。火災の防止を眞先にし人命救護を其次とすること、是れが人命財産の損失を最小にする手段である。

八、潰家からの發火は地震直後にも起り、一二時間の後にも起る、油斷なきことを要する。

九、大地震の場合には水道は斷水するものと覺悟し、機敏に貯水の用意をなすこと。また水を用ひざる消防法をも應用すべきこと。

十、餘震はその最大なるものも最初の大地震の十分の一以下の勢力である。最初の大地震を凌ぎ得た家屋は、たとひ多少の破損傾斜をなしても餘震に對しては安全であらう。但し地震でなくても壞れさうな程度に損したものは例外である。

名士大震回想錄

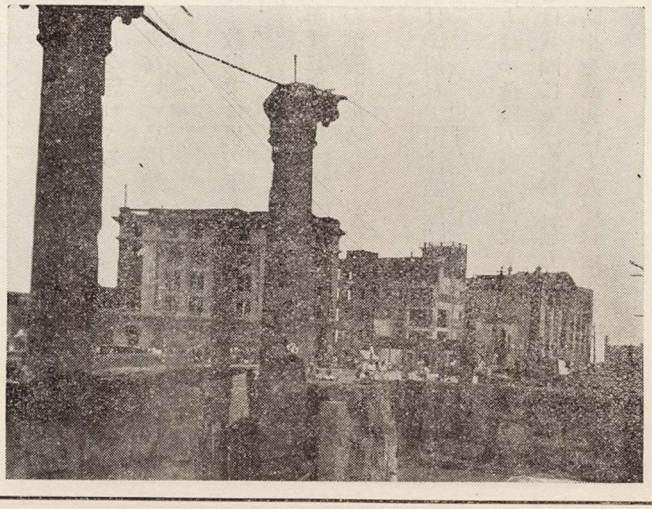
五年前の回想

武田五一

號外に次ぐに號外、火の海。廢墟。死屍累々暴徒峰起。等々。夢のよふな報道が頻々として跡から跡から新聞紙上に現はれて來る、五年前の今日。今にも我邦がどふかなるのではないかと思はれて居る内。震源が東京灣相摸灣の附近であると分つてから、一層の不安が自分の心を暗くした、建築家であると云ふ職業意識からも亦東京に親戚が多いと云ふ一身上の關係からも一日も早く災後の東京を見なくてはならぬと云ふ念に追ひ立てられて居たが、こふ〳〵神戸横濱間の汽船の交通が開けたを利用して日本建築協會の有志の方々と共に神戸を出たのが災後二十日を過ぎた日であつた。船中の乘客も船員も話題は唯震災のみで、唯焦燥と不安があるのみであつた。二十一日の朝拂曉に觀音崎を過ぎる頃から陸上に見ゆる建造物が悉く其垂直性を失ふて或は右に或は左りに傾いて居るのが丁度未來派の畫家の手になれる不思議な風景畫のよふで彼等の作品も萬更荒唐無稽ではないよふに思はれた。船は横濱の稅關棧橋に横着けになつたが、ありし日の棧橋上屋は完全に其形を失ひ、輪奐の美を極めた横濱稅關はハラチネ丘上の廢墟と異らず、危ふげな棧橋を渡りて横濱驛に行く途すがら眼に觸るゝものは唯石と煉瓦と灰と燃け殘りの立樹あるのみ燒けたる屍より發するかと思はるゝ異臭の内を辛ふじて驛へ着して、どふにかして貨車と客車との混合車に荷物の如くに積まれて其れでも其日の内に東京驛に着したものゝ、同勢揃ふて泊るべき家もなく、丸ビルの大丸吳服店に依頼して床の上にでも寢かしてもらふてもよいと覺悟はして居た意外にもステーションホテルが其日から營業を開始したので其れに兎も角も泊ることになつた。東京も打ち見た所悉く廢墟とはなつて居たものゝ、丸の

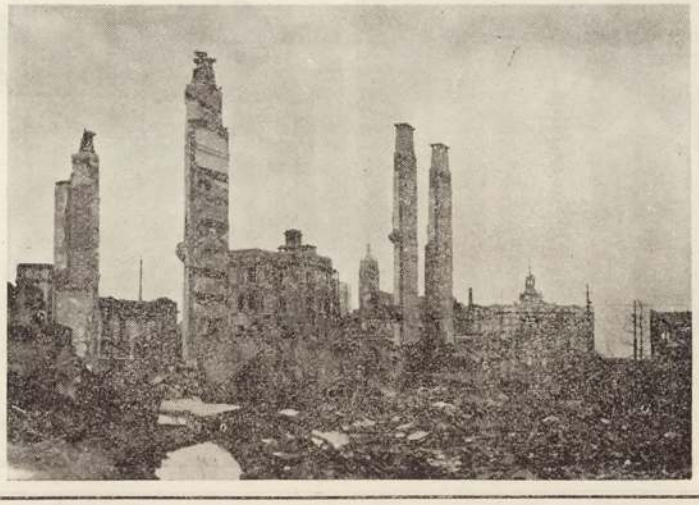
―廢墟の東京―

掲載の震災寫眞の全部は某氏が震災當時苦心して撮影したるものを發表せざりしが五周年記念に際して發表せしものなり



日本橋

内一帶は大部分、本體的の損害もなく山の手一帶も亦大部分は形を存して居る。京橋、日本橋の下町全部と遠く本所、深川の邊は全く瓦礫の平地と化し去つて銀座の繁盛は夢となつてしまつた。其昔ネロ帝の見た羅馬の燒け跡も可くやとばかり思はれたのである。ステーションホテルのある東京驛の建物は聊かの破損もない、丸ビル、東京海上ビル、工業クラブ、郵船ビル、其他の高層建築は外裝材料は多少の剝落、衝損等は見受けられたが何れも其全體は微動だもして居ない、のは此大震災の報道された當初より自分の考へて居たこと、符節を合する如くであつて大に心強く感じたことである、先年桑港の大震災のときマーケット街のコールビルヂングが桑港廢墟の間にあつて其最高層の建物なりしに關らず何等云ふべき損害もなく桑港中第一番にエレベーターを運轉した建物であつたと云ふこと、思ひ合はして、如何に鐵骨構造の信賴すべきものなるかを、如實に示して居る思ひがした。翌日からは建築學會の好意にて自動車にて東京の大部分を見て廻つて其被害の想像したより大なるには全く驚かされた。上野山上より見渡した淺草、千住、向島一體の慘狀又上野に於ける被難市民の小屋掛け、被服廠跡の屍灰の殘屑或は屍を燒く爲めの急拵への火葬用の鐵格子の名殘。或は深川の一溝渠にて見たる腐爛したる屍體等今日より思ひ出すだも身の毛のよだつばかりである。灰と赤く燒けた鐵版の散ばつて居るばかりの東京は思ひの外狹いものゝやうに見へたのも不思議である。かゝる際に於ける市民の甲斐甲斐しき活動狀態、見へも振りもかまわず一意復興に努力する女性の姿。何れも賴もしき姿であつた。斯くの如き時機に於て初めて我國民の眞價も發揮され其底力も見へるやうな心地がしたのである。東京の山の手は大なる被害もなく丸の內も同樣であつたが、其兩者の間は一面の燒け野原となつて辛ふじて應急の電車系統で繋がれて居て、丸の內は砂漠の內のオアシスの觀があつた。其れより以後毎日各所を視察してのホテルへの歸途は常に夜に入らぬやうにして居たのは其電車系統を信賴することが出來なかつたからである。窮余の下層民はどんなことをするかも知れない。夜陰燒け跡を彷徨することは最も危險なことであつた。かくの如き際は余り警察に厄介をかけないやうにすることが國民としての心掛けであるやうに思はれた。かくの如くにして兎にも角にも多少の研究材料を集め歸りは幸ひに辛ふじて開通した東海道鐵道線を利用して箱根山中二箇所の徒歩連絡をして國府津、鎌倉等の慘狀をも見て歸つて來たの



京橋附近

である。木造の市街は燒けるのも早いが片付けるのも灰をかき寄せるはかりで至て手取り早い性急なる國民性は木造市街から得た第二次的の國民性ではないか。先年メッシナの大震災のあつた四日目に羅馬から海山越へて道なき所を强行して其災害狀況を見に行つたとき。煉瓦建築ミ粗惡な鐵筋ミクリート建築の破壞された跡片付の厄介千萬なこと特に其下に埋められた氣の毒な死體發掘の手數のかゝることにはつく〳〵あきれてしまふたこともある。市街建設の如き根本的の施設には、今少し金を掛けて、耐火耐震のものにしたいものである。丸の内の建物の如きものを以てせめて東京の下町全體か或は其主要道路に面する部分なりとも打ち建てられて居たならば、數萬の人命と數億圓の損害は救はれたであらふ、殘念至極なことであつた。東京を見て歸つてからの自分の考へは、東京の市街をせめて今少し山手の方に寄せて復興して地質の安全な部分に新しき東京を再建しては如何かと云ふこと、市街の防火建築制度を此際是非確立しなくてはならぬと思ふたことであつた。大部分の識者の意見も大分其よふな意味のことがあつたよふであるが、其れから五年經た今日の復興の狀態はどふであるか。甚だ遺憾千萬なことである。市街の幹線道路六大橋の完成其他土木的の設備の理想的に出來上つたことは慶ばしいことであるが建築物の完成は主として個人若くは個人會社等の努力によるのであるから今後に於ける施設に於て悔を後に殘すよふにしたくないものである。それを見ても大阪市街の耐震的耐火的施設はどふであるか。いつかは襲はれるべき運命にある淀川地震帶の地震に對し、愼重なる考慮を拂ふことを忘れないよふにしたいものである。

渡邊譲

奉復來る九月一日は關東大震災第五週年に相當致すべくに付ては其當時の感想を貴會誌上に發表せられたき旨御照會に接し候處不幸にして昨年半頃より宿痾再發常に平臥罷在り擧動意の如へならず乍遺憾御無沙汰申上候　拜具

平賀周

九月一日！五年前の——今でも記憶に明確に浮びますのは當日の夕方第一報第二報と　次ぎ〳〵に驚怖の度を加へた大震火災の情報でした其の夜分から翌月曜日にかけて活動し大阪商船の船を無理に一艘くり合はして貰つて米、梅干漬物など、赤十字の救護班を備へて東京に差し向ける迄は全く夢心地でやりました。



淺草觀音堂

銀座裏通

救護船が東京灣頭に表はれたのは大阪が第一着でした、それから大阪で約一千萬圓の金が集まつて各般の救護の手配が段々に繰り出されたのです、當時私は大阪府の内務部長として一切の事務に關係し連日連夜活動をつづけました、一生に一度の繁劇な事務に約一ヶ月を費したのでした。

前田多門

關東大震災當日は恰も歐洲赴任の途中でシンガポール到着の前夜『東京殆ど全滅』の無線電信を受取り度膽を拔かれ、在京の凡ての知人諸氏には再び會へぬ事と極め込んだ事でした。

杉本又三郎

御下問の件了承震災當時を回顧しその直後の實況を思ひ浮べ候へば今に戰慄を禁じ得ず。然かも其後我邦人心の趨向を察し更に帝都幷に横濱市復興事業に思ひ及べば感慨實に深きもの有之、而して爾後我邦建築界に於て著しき發達を見るに至りしは喜ぶべく殊に我大阪市橋梁の改造に於て面目を新にするに至りたるは關係各位の研究努力の結果たるは申す迄もなき事なれどこの點に對して予は貴協會の不斷の指導に就て新なる敬意を表する適當なりと存じ候

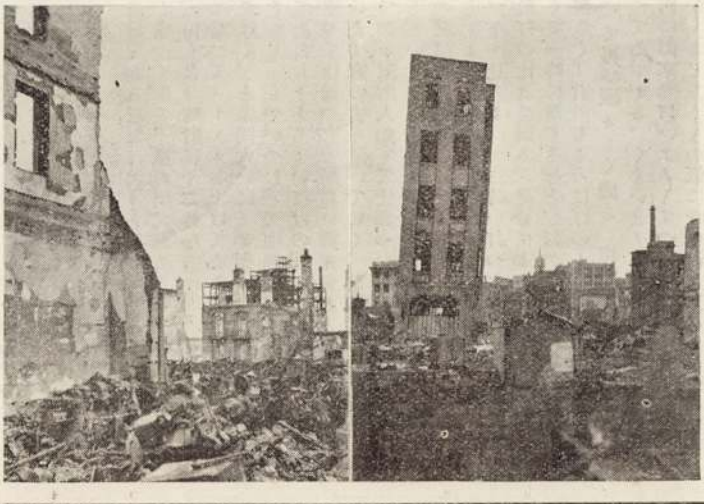
村野藤吾

私は湘南班に加はつて參りましたがこれと云つて回顧する程の事もありません調査するにはあまりに實例が豊富たつたし視察するにもあんなにメチヤクチヤになつて居ては何が何だかわかりません。まるで現實の世界か二分された様なものです。それでも横須賀工廠ではかなり面白い實例を精しく見ましたがこれも此の頃では立派な報告が出て居ますので別に申上げることもありません。此の視察旅行で私の興味は建築の事よりも寧ろ人の心に向けられました。あれ程に激變と災禍に逢ひながら不思議な落ちつきを見せて居たのは何故でせう、勿論逆上して一時はさわいだでせうが旬日を出でずして見せたあの呑氣さはすてばちでせうか。それとも不可抗力に對するあきらめでせうか。

恐怖に對する氣持の相違を以て日本人と西洋人とを分けたなら日本人は徹底的な自然人でせう日本人は自然征服なんか當分の間は適用出來そうにも思へません。

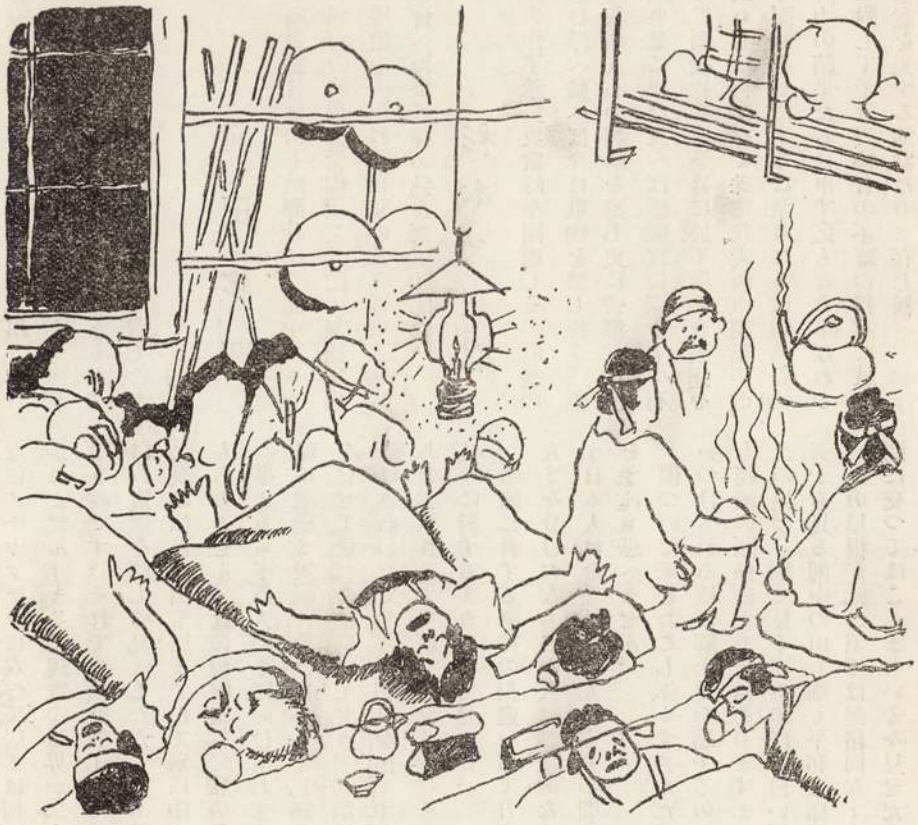
傷ついた家をおこし赤くすさんだ燒跡にもいつけられる様な鄉土愛を感ずるのは必らずしも經濟の關係ばかりではありますまい、重い草葺の屋根、細く長く立ちのぼる白い煙、汽車の窓から見る湘南の山も畑も平和な様です、美しい瓦の屋根が此の頃では無格向なトタン屋根の間に交つてほこらましい姿を見せだしました。耐震構造——もちつとやわらかい言葉はないかな——。

地震の話ももう次第に昔話になりましたね……



神田鍛冶町附近

銀座附近



小屋の一夜

蘇牛作

貧富上下老若男女一列一樣情意平等、疊の折目が背で判る樣な夜具が一枚枕は勿論ござ枕一個扨ぎつしりとつめ込むは〳〵左右に寢返る事も許されない、それでも何れも神明である不足を言ふ奴もない。

× × ×

外は眞暗である夜氣は追々と迫つてくる呼息が少しくるしく成つて來る、風が出て來るそろ〳〵齒切りの音が聞え出した今時計は十二時を打つた。寢苦しい連中事座になつてメートルを上げてゐる段々と自分天狗に成つてゆく、と書間大いにモが振つた雪子の奴突然アレーとやり出しやがつた。天狗連びつくり哀れ雨隣りに寢てゐたB子とちよいはげのT君びつくりざまちんと座つて仕舞つた。馬鹿が御來光ととり違へやがつたと見えて窓の方へ急いでゆく、其の內にひよろりとやつて到々五六人起して仕舞つた、そふなると騷々しいからざいつもこいつも皆起きて仕舞つた。

大體の發頭人であるT子の奴相變すぐー〳〵やつては時々もしよ〳〵やつてゐる、エエイツくそいまし〳〵い奴だ今に見ろよ　三時が打つた、よしと斗り漫畫子は敵打の仕度に掛る、時分はよしと兼て用意のひもを引くと一時に落ちる杖と笠!!グラ〳〵〳〵、仕舞つた。運悪くT君のちよろはげの上へ落ちたのだ、物音に驚いて再び騷々しく成る、相變すT子の奴ぐー〳〵やつてゐやがる、くそいまし〳〵い奴だなアー。

其の內に御來光!!いよ〳〵すつかり起きて仕舞つて朝食にかゝるこち〳〵の飯に味噌汁と言ひたいが實はまぜ〳〵吸われば味噌汁にはならぬ程の申譯汁に香の物この香の物が一向に香ばしくないやにくさ味香のものである。手前持參の鑵詰めに二三ばい引かけ〳〵日差す嶺へと朝霧の道をぞつこいしよさんせ〳〵で進んでゆく。

小住宅の標準を示せ

本間乙彦

—まへおき—

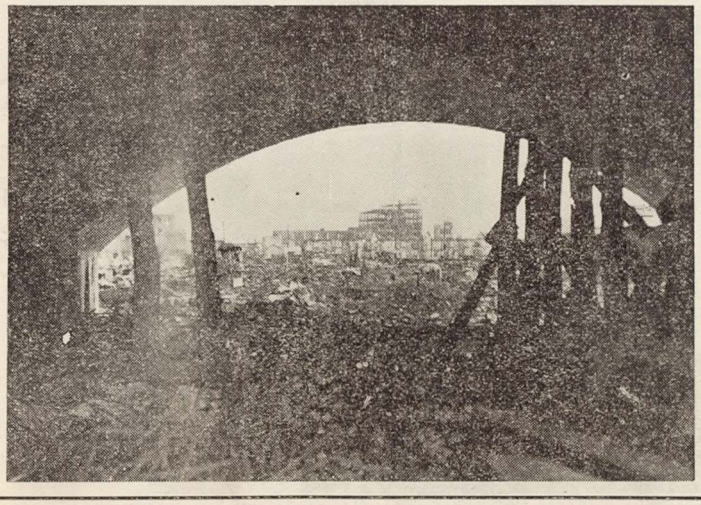
私が、茲に標準型小住宅といふのは、貴族住宅や、富有階級の住宅、或は中流以上の住宅の如く、經濟的の餘裕即ち金力によつて單に住むといふ事以外に、權勢を示すための、或は優越欲求を滿足せしむるための或は趣味嗜好に歸因するあるものが加へられたものと比較して呼ぶので斯様な種類の住宅は形が如何に小さくとも私の所謂小住宅の意味には當はまらないものである。即ちかゝる贅澤な施設を有しない、眞に保健に適し、生活を快適ならしめるに留まる所謂無產階級のための住宅を指すものである。

それであるから經濟的に切り詰めた最小限の工費にて建てられて、同時に生活に對する最小限の必要を滿たし、住宅として最大限の機能を發揮し得るやうなものを標準型小住宅と呼びたいのである。

勿論、最小限の必要といつても、現在の我が日本の無產階級の住宅を連想せられては困る。現在のかゝる小住宅は生活に對する最小限の必要さへ滿たし得ないみじめなものであると考へられる。

我が國のみに限つたことではないが、都市に於ける市民の過半を占めて居るのは自分で住宅を持ち得ない無產者の永久的借家人階級であるか或は安價に住宅を建築し得ないために借家に甘じなければならぬ準借家人階級である。

勿論借家人階級と一口にいつても上は數百圓の家賃を支拂ふ富有階級に屬するものもあれば下は裏長屋の一室を疊一帖幾何と賃借する細民階級までであるが、前省は任地先で永住する必要がないためとか、何かの都合で當然相當の住宅を所有する資格をもつて居る人達が一時の方便



銀座遠望

—廢墟の東京—

挿畫說明

(1) ストックホルム大學に於ける壁體試驗家屋

(2)(3) 同上內部裝置を示す

同上供試驗壁體の數例

で借家人となつて居るであるが、借家人階級の大多數は小住宅が現在よりも簡單に所有し得るやうにならない以上、永久的に借家人として運命づけられてゐる人達が多いのではないか。

かゝる階級のために最小限の工費で、最大限の機能を發揮することの出來るやうな住宅を提供して、僅かの金で住宅を所有せしめ、或は低廉な家賃で借すことは、社會的施設としても、國民の保健問題の上から見ても最も意義ある事業であると考へられる。

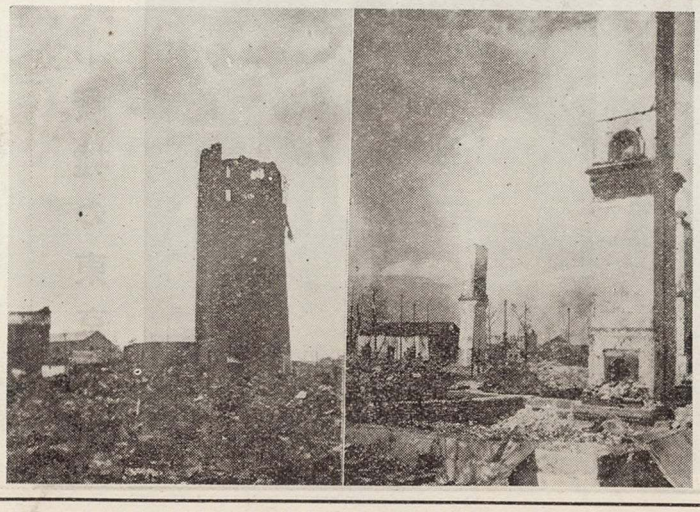
世界有數の貧乏國民にしては住宅費——其の大部分を占める家賃或は見積られた建築工費の償却費修繕費等が如何に高率であることか、原則的に理想だと見られて居る各人の收入の五分の一程度で住宅費が濟んでおる人は幾何もないであらう。それだけ吾々の生活内容が住宅費のために貧弱にされておるのである。何んとして小住宅問題を解決するためには建築工費の低減を眼目させねばならない。

又保健的に見ても我が大阪市の如きは自慢にもならぬ世界大都市中死亡率に於て第一位を占めてゐるそうであるが、この原因の全部が不良住宅のためでないにもその幾分は之れに歸因するものだらうと思はれる。これ等不良住宅に代るべき理想的の標準型小住宅を案出してこれを公表することは國家百年の大計からいつても大に必要だらうと思はれる。勿論都市計畫も必要には違ひない。然し都市を形成する市民の生活に最も重大な關係をもつ住宅を單に、こうしてはならぬ、かくせよといつた斷片的で消極的な建築法のみに委ねて、大衆の標準となるべき住宅の形式の何者をも示さないのは片毛落ちではないかと思ふ。小住宅は其の標準案によれば態々建築家の手をわずらはすまでもなく、無學な大工や職工にも完全なものを得させることにしたら、どんなに社會を益するであらう。

新住宅問題

近頃、日本住宅の將來とか、新日本型の住宅とかいつた問題が、大分盛んに論議され、又一方では雜誌社や住宅經營會社等の手で懸賞募集されるやうになつたことは甚だよろこぶべき傾向である。

然し、狹い私の見聞した範圍でいふならば、その多くの論説が机上の空論に過ぎず何等具體案を見せて呉れぬのは心淋しく物足らない限りである。又、住宅の懸賞圖案にしてもその多くが中流住宅で建築家が藝術的な創作欲を滿すのに專念する傾向があり、間取の問題は可成り考へられておるのであるが、住宅の機能を複雜に



大手町内務省

淺草十二階

し、工費を嵩ませることになるのみで如何に住宅の形式を純化しやうといふ問題からはづれて遊戯的であり過ぎ、外觀のみに凝り過ぎる嫌があるやうに思はれてならない。

前にも述べたやうに小住宅の問題を解決する第一の難關は如何にすれば工費を低減し得るかといふことで、これは決して遊戯的に外觀を飾つたり、徒らに間取りを複雜にすることとは相容れないものである。低廉な良材料の選定や構造に對する新工夫材料の節約等が重要なる事柄である。

この事は結局間取も佛蘭西の新人コルビュジエの住宅に見るやうな端的に純化されてしかも最大限の機能を發揮し得るものでなければならないといふ結論を生むことになるのである。

單位的住宅

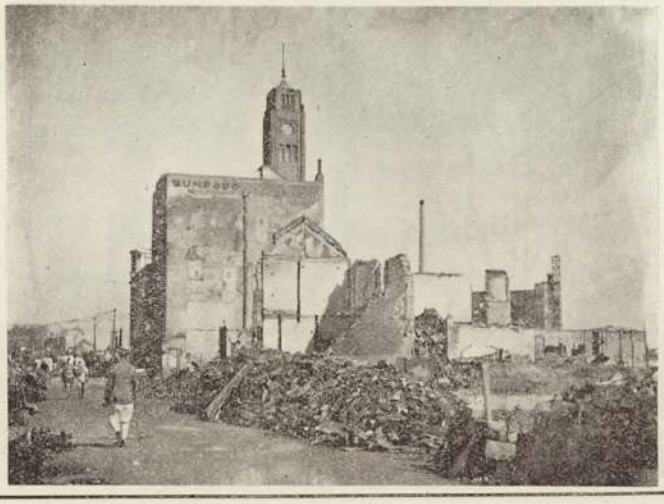
先に最小限の必要といふ文字を用ひたが、これは最惡な狀態をいふのでなく、贅澤に墮しない範圍で必要にして充分なる狀態をさすのである、保健上にも、快適さに於ても、經濟的にも例へば居室の高さは七尺、窓の内法高さは五尺七寸以上と建築法に示されておるが、それで充分であるか否か、勿論有力な物理的論據によつたものであろうが、之れに類似した居室の容積、採光面や換氣孔の大さ、形式等々の問題に就いても必要にして充分、即ち最小限に必要なる數字を研究した上で間取の問題が解決されねばならぬ。

又、材料の問題にしても、精密に、化學的物理的實驗を遂げた上でなければならぬ、單なる感じとか、貧弱なる經驗とかによつて輕々しく選定は出來ない。

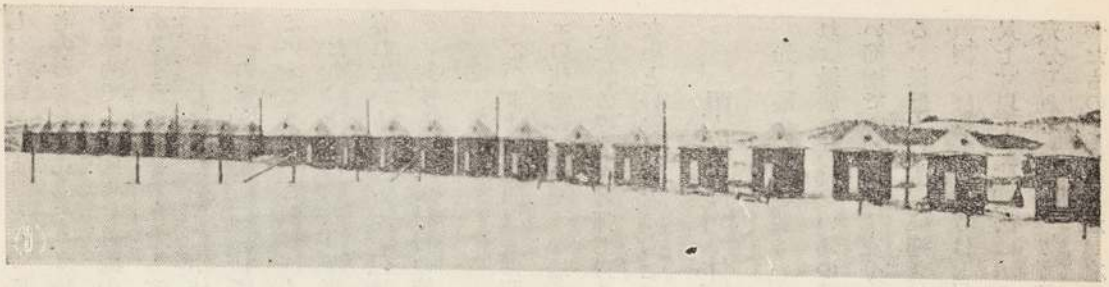
又如何に優秀なる材料や工法でも施工の困難或は熟練工のみが、成し得るやうなものは不適當である。何故ならばこの種の小住宅の性質として、ごんな腕の鈍い職工にも不熟練な職工にも容易に、そして完全に施工し得るものでなければならない。

即ち、容易に施工し得る、優れた、そして低廉な材料といふ六ヶ敷しい資格が必要なのである。職工の腕の如何を問はないことは工費を低減するために役立つのである。

次に新しい構造法を求めて材料の節約を計ることであるが、これは、我が木造建築に於ては一層痛切に感ずる事柄で何の必要から材料の大さが定められたか、不明で、單に因襲的に、形式的に無駄に材料が濫費されておるが實に夥しいのである。結果は建築費がかさむことになる外はない。小住宅に於ては必要以外の形式は絶



神田神保町



對に排除せねばならぬ。各部材は嚴密な計算に基礎をおいた必要にして充分なものでなければならない。そして最も單純でしかも完全な構造法の新研究が必要である。木造建築も舊來の因襲を全然脫却して新しく出直しをやらねば決して理想的な構造法は得られまい。

次に考へられるのに小住宅を木造にしたが、良いか、鐵骨か、コンクリートか或は他の新しい工法によるかといふ問題であるが、永遠の目的から云へば微溫的であるかも知れないが、標準型の小住宅を定め之が普及をはかることが可成り焦眉を要するとすれば、比較的安價で工作の容易な木造或は鐵骨木造程度が現在に適したものでないかと思はれる。

耐久、耐震、耐火から云へばコンクリート造を擧げねばならないかも知れないが、地震といふ難物を控へた我が國では完全なのを安價に造り得ないし、又現在のやうなコンクリート造が我が日本のやうな多雨多濕の風土に適するや否や大に研究に値するだろうと思ふ。

私は少住宅の問題を拙速主義に扱つて最も安價で、研究の容易な木造として普及せしめ、しかるのち、充分な研究を重ねて、コンクリートなり或は他の工法なりに移るのが時宜に適した選擇と考へる。

一刻も早く、現在のものよりも少しでもより基準的な小住宅を建築家の案出することが建築家の急務ではないか。

生活形式

次には、小住宅に於ける生活形式の問題である。

私見としては疊式が漸次廢れて椅子式に推移するものと考へられるのであるが、此處二十年や三十年には疊式が全然姿を消すとは思はれない。生活樣式の過渡期にある吾々の住宅が又工



大手町附近

式であることは何んこも致し方がないであらう執務する上からは椅子に越したことはないが、先天的に疊に親しみをもつ私達が打ちくつろぐのには無くてはならぬもののやうに思はれる。

結局我等の曾孫位の時代には疊を忘れる時代が來るかもしれないが……

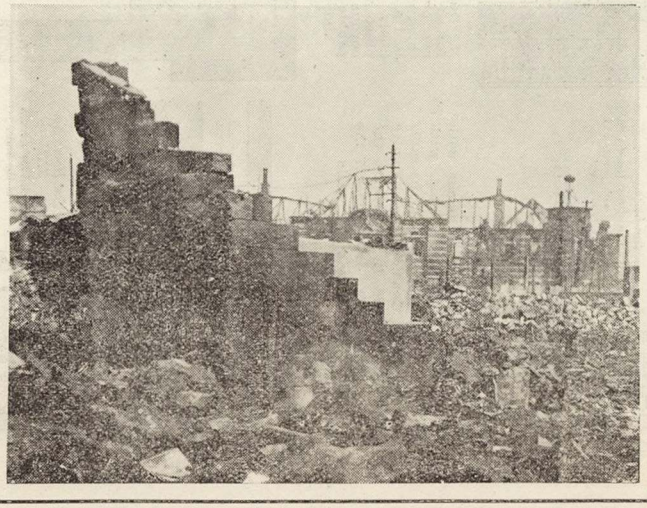
私はこの生活形式の問題は各人の好みにまかせておきたいこ思ふ。又風土習性を異にする我が國人に、歐米の生活形式を全部蹈襲することは出來ない相談だと思ふ。もし歐米の心酔者があつて、おれはスツカリ歐米人に異なるところがないといふならそれも結構であるが、然し生活形式だけ歐米人になりすますことが決して誇るべきことでもないし、良く自身の一擧手一投足を顧みれば何處か板につかぬ處があるのに氣付かれるだろうこ思ふ。何んこいつても日本人であるのだから……

かく私は現在の日本では疊式でも椅子式でも或は混合式でも住む人の好みに委せたいのであるが、現今の貸家向小住宅には疊式を採用せねばならぬこ思ふ者であるが、室に疊を用ひても舊來の柱は三寸五分角の內法高ば五尺七寸引違ひの障子や襖竿緣天井こいふ囚らはれた形式上の好みを打破したい。此の好みに引きづられてゐる間は決して私のいふ小住宅は普及しないし無產階級が住宅費の過重に原因する生活難から救はれて、快適な生活に入ることは望まれまい

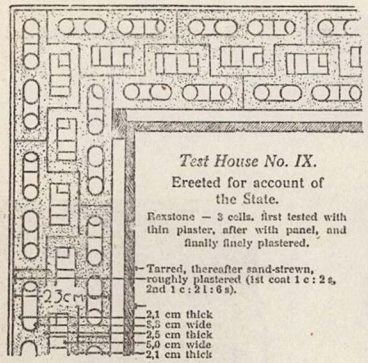
保健的で、生活に快適なれば充分であると思ふ。其れ以上に無用の形式を好むことは、最も安價に自分の住居を欲求する念こは相反する觀念である。然し現今の借家人階級にはこの矛盾を持つ人が大部分である。充分な金用意もない癖にもし自分の住宅を作るならば一室位は床の間、違ひ棚、長押付きの座敷御格式振つた日本風の形式を備へたいものを望む人が多い、こんな矛盾した感へを持つ人には私の標準型小住宅は向かないし、又そんな贅澤を考へ得る人達はそれだけ生活に餘裕があるので私の所謂小住宅階級者であり得ない。

大衆の小住宅

然し眞に安い良い住宅を欲求する人達が如何に多くあるかは、婦人雜誌なごに現はれる『千圓で建つた家』『七百圓で出來た簡易住宅』等々の記事が大衆に歡迎される點から見ても明らかである。婦人雜誌等の此種の記事は巧みに讀者の住宅に就いての欲求を洞察して雜誌の販賣政策に利用して居るもので、通り一遍の雜誌記事こ同樣何等深い研究や堅い論據によつて發表されたものでなく單に自分の經驗を述べたもので



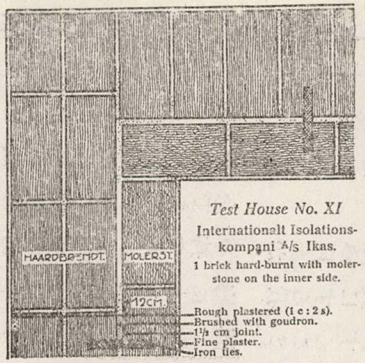
萬世橋



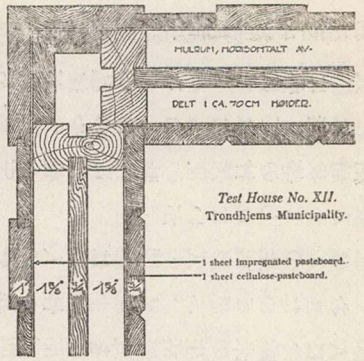
IX. "Rexsten" cement blocks with 3 cells, treated and tested with plaster and wood panelling the same as No. VIII. Considerable difficulty was experienced in attaching the wood panelling to the inside of the cement hollow block walls



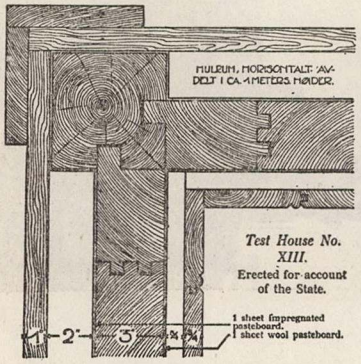
X. Outside wall 10cm thick of reinforced concrete brushed with goudron or tar on the inside. 1½ cm thick cement joint against which is laid a course of "molersten," inside finely plastered and outside rough plastered. "Molersten" is a very porous brick made of Diatome pebble mixed with common clay and manufactured in Denmark



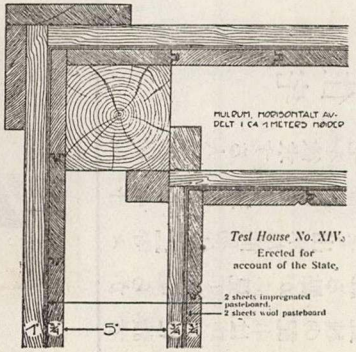
XI. Wall built of hard-burned brick, rough plastered outside and brushed with goudron or tar inside, against which is laid an inside wall of "molersten" brick finely plastered on the inside



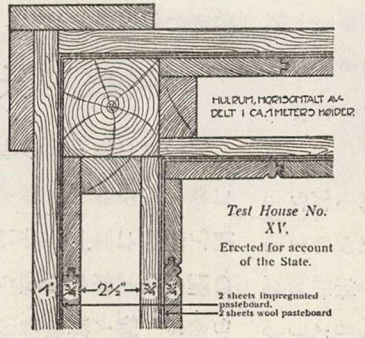
XII. Walls are built of 3 wood panels separated by two 1⅝" hollow spaces. The outer and inner wood panels are covered with impregnated and cellulose pasteboard respectively. The panels were assembled in the factory



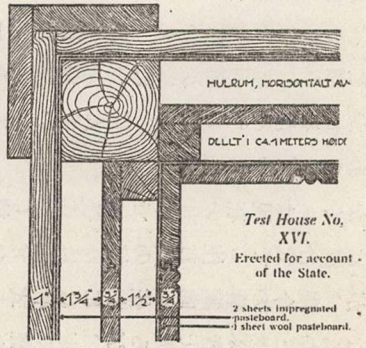
XIII. Walls built in accordance with the Trondhjem regulations for wooden houses with 5" x 5" frame, and standing 3" tongued and grooved planks covered on the outside with impregnated pasteboard and inside with wool pasteboard. Wood panelling on outside and inside with 2 air spaces



XIV. Wall consists of 5" x 5" frame with 2-ply wood panels, inside and outside; outside wood panel has two sheets of impregnated pasteboard in the center and the inside wood panel also has two sheets of wool pasteboard



XV. Wall construction the same as house XIV except that the wall consists of 4" x 4" frame with the inner thickness of the wood panels butting against the post, which reduces the air space to 2½" instead of 5"



XVI. Wall consists of 4" x 4" frame with three single-ply wood panels —the outer one having two thicknesses of impregnated pasteboard on the inside and the inner panel having one thickness of wool pasteboard on its outer face. This construction gives two air spaces of 1¾" and 1½" in width

あるが建築の門外漢である素人が限られた資金で安價に住居を作らうとする努力の程はよく認められるのである。そして建築家は、こんな安物を造ることに拘はるのを恥辱の如く考へておるのやうに思はれる。

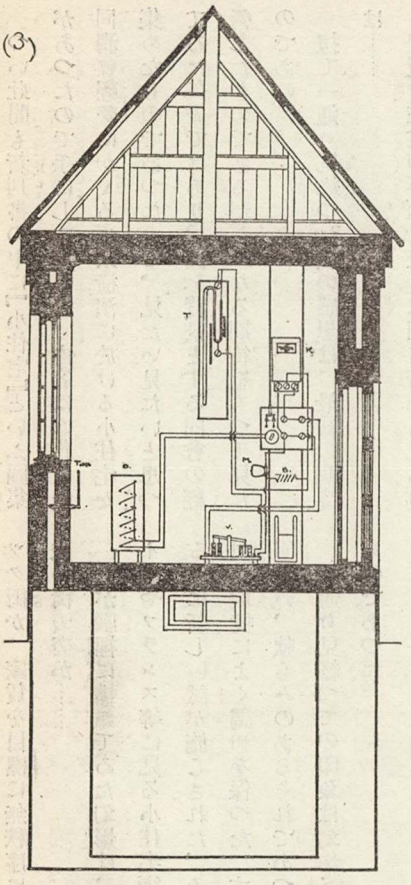
民間の建築家が設計報酬で生活して居る以上斯様な手間にもならない事はやつてゐられないであらう、然し手間にならないからといつて、小住宅を設計することは決して恥辱とは考へられない。否、寧ろ犠牲的に此事に當るのは建築家として最も尊い社會奉仕であると考へらる。然し民間建築家の研究室にては如何に犠牲を拂つても遂に私の期待するやうな効果を擧げ得られないだろうと思ふ。

何故ならば壁材料を撰定するにしても、現在に於ける凡ゆる材料を集めて、之れを種々に組合せて、一々試驗室を造り精密なる測定器を用ひて、熱に對し、濕度に對し、光に對する物理的試驗を經て初めて、材料と工法とが得られる

私のいふ基準型小住宅はこの位權威ある基礎に立つものなので、又この程度のものでなければ強制的にも普及せしめることは不可能であるので、この點から見ても民間の建築家の手では研究することが困難と思ふ。國なり、都市なり公共團體の力でなければ達成することの出來ない大問題なのである。我國でかゝる權威ある研究がここで行はれておるだろうか、東都大學に於ける藤井氏の研究以外私は聞いたことがない

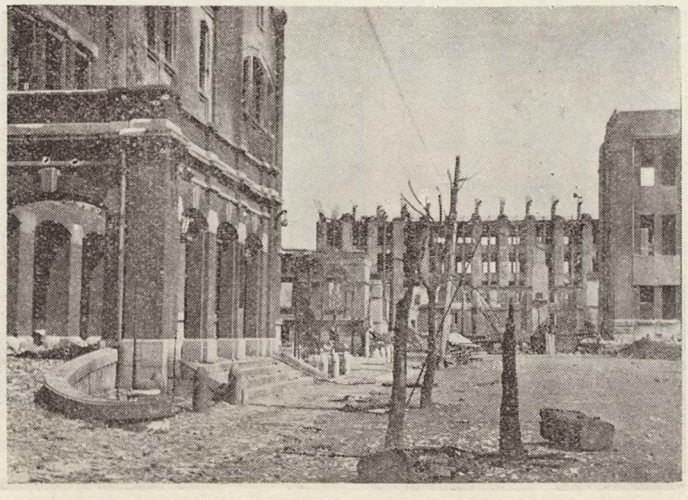
小住宅の現狀

(3)



MOUNTING OF THE INSTRUMENTS

K=kilowatt-hour-indicator
O=electrical stove
S=shunt
M=resistance-lamp
T=thermo-regulator
V=current-switch
Tm=thermometer



丸ノ内八官町

つい此間も新刊書の中に『小住宅』といふ圖集があつたので手にして見ると、内容は内務省の同潤會經營にかゝる東京横濱に於ける小住宅を集めたものであつたので、見たい見たいと思つてゐた矢先ではあり、國を背景とする同會の經營したものであるから大なる期待をもつて見たのであつた。

扨て一通り見終つた後の感想は、最初の期待は……

配置や住宅の平面計畫には相當苦心も見られたが立面的に見た住宅の姿は、あり來りのレクオソート塗りの下見板張、漆喰壁、石綿スレート葺の所謂『文化住宅』と何等選ぶところがない否、寧ろ建築費の安さを思はせる貧弱さである。即ち在來の材料を、在來の工法で組み立てただけであるから此の結果は當然すぎることかも知れない。

私は同潤會の内容を知らない。又この小住宅の成立ちも知らない。然し、依然から同會の小住宅が出來たことだけは知つておつたので、背景からいつても、あらゆる點で理想的なものが建設されつゝあるのだと思つてゐた。今、眼前にこの『小住宅』を見せられて期待はスツカリ裏切られた。

例へて云へば、東京の震災直後に出來たバラック街か、家賃を目標に無秩序に延びて行く場末の街の姿か……

私が腦裡に描いてゐた幻影は、オランダやドイツやフランス等に見る小住宅街の如く、凡ゆる點に新しい試が施こされた、そして、その四圍の環境によく調和を保つた、すがすがしい、明るい、軟らみのあるそれであつた。

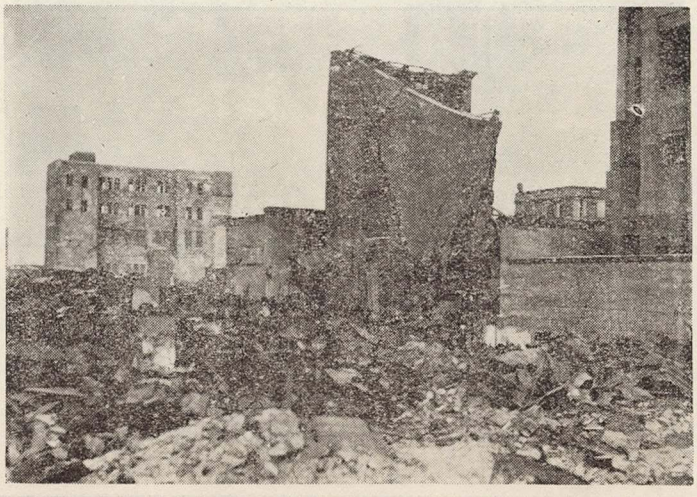
一通り見終つての印象は幻影とは全然反對のものであつた。

小住宅よ、この土から芽はへよ！

同潤會の小住宅を指していふのではないが、何故、日本に、その土から芽生へて力強く根を張つたやうな新しい住宅が生れないのだろうか古い農村建築、それは確かに、この土から生れて嘗つては生々と榮べておつたかも知れない、然し現今の日本には亡び往く姿である。

この新しい日本のこの風に、この空に、この土に、この人に、シツクリ嵌け合ふやうな住宅を欲求する。

米國人である建築家ライトも日本にきては、日本の材料を見逃がしはせなんだ、寧ろ主張して日本の材料に限つて用ひたと聞く、又形式に於ても我が建築の特質を取り入れることを忘



日本橋通三丁目

れなかつた。彼一流の哲學からである。

それに我が國人の手になつた住宅はどうであるか、歴史に見ても古來住宅の形式を定めたものは、その風土であり、その民族性であつた。日本の現狀では、この重要事がスッカリ忘れられておる。形式に於ても(—風土に對する—)材料に於ても、濫伐の結果木材の拂底からとはいへ世界第一の木造建築國であつた日本に米國材が幅をきかせてゐるではないか、木材に就いてすら斯くの如くである他の材料はおして知るべしである。

言ひ換へれば我々は新規を追ふに急であり過ぎたるめにこの土を忘れてゐたのである。無限の材料を埋藏してゐるこの土を忘れてゐたのである。これ迄は過渡期として致し方もなかつたであらうが、此後は權威ある研究機關によつてこの土から凡ゆる良材を生ましめたい。決してこれは徒勞に終ることではない。

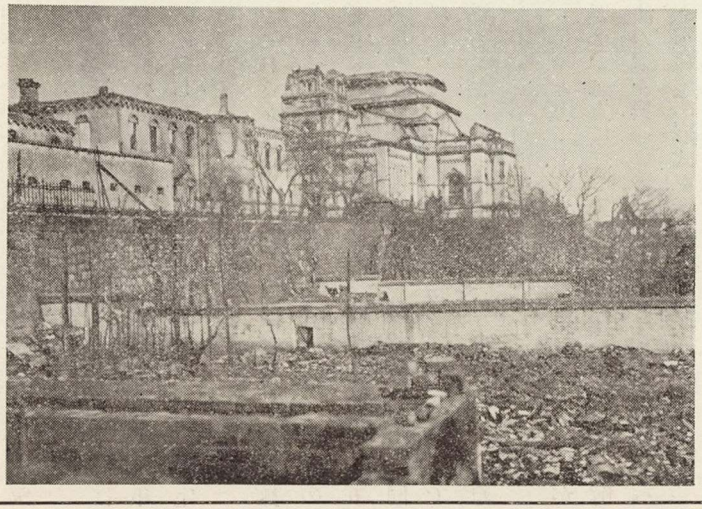
鉄筋コンクリート、それが、新らしい工法に應用された我が國材の唯一であると誰かが皮肉つたが如何にも情ない。

北は寒帶から南は熱帶に延び、地勢の變化に富んだ日本が建築材料に苦るしむ理由があり得やうか、土に埋もれた良材を忘れておるのである。否、捨てゝ顧みなかつたのである。

風土に應ずる住宅の形式に就いても同樣のことがいへる。

この問題は多くの識者たちに言ひ殘した一言も無い程に充分に說かれてきたことではあるが要は緯度、風土氣候を異とにした鄕國に生れた北歐型、南歐型、其他の住宅の形式が絕對に我が國に不適當であるといふ結論に達する。南北に長く、表裏に大洋を控へた我が國のことであるから、地方によつて多少の相違はあるが概して多き雨量、濕度が大して高くないのにも拘らず濕氣の多いために耐へ難き夏の暑さ、それに反して凌ぎ良き冬等々の條件が舊日本の住宅に見える、雨と夏の烈光に備へるための大きく突出した軒先、時には壁面よりも廣くとられた窓と口、日星しい防寒設備の無い點などは動かすことの出來ない舊日本住宅の特徵であつたが今後の住宅が新らしい材料、工法によつて組成されるとしても、この大自然の威力に順應して發達し、完成を見た舊日本住宅の形式を舊い因襲だと捨て去ることが出來るだらうか。

燄々と輝いた夏の空に、綠の森をバツクグラウンドとし線と面の愉快な構造を見せて、陰鬱な影を投げる軒先もなく明るく、クツキリと浮きだした、コンクリートの住宅といへば、すぐユートピアの住宅を連想したくなるのであるが



駿河臺ニコライ會堂

我が國ではそれが住む人以上に見る人に、ナンド暑苦るしい感を與へるこさか、ブラインドを閉ざした窓一面の烈光廣い壁は溶ろけそうだ。

我々は、材料に工法に驅使されねばならないのか。

形式に迎合しなくてはならないのか。

我が住宅の形式を、我が建築家の手に完全に握れ。

日本の心を心こし生れた住宅、この土に芽生ばえた住宅こそ、今私達の待ちあぐんでゐる出現である。

然し、私達のこの住宅には前に述べた、科學の力が凡ての形式の基礎とならねばならない。

小住宅の普及

次に考へねばならぬこさは、標準的小住宅案を得たこして、その普及が容易であるか否かである。

私こしても實に困難な問題であるこ思ふ。

我が日本人の習癖の一つとして、富有者、無産者を通じて趣味性を滿足ぜしめたい欲求を身分不相應に多分にもつてゐるために、市場にある既製品に滿足しないことである。レデイメードの洋服は大分普通したいが、それでも『別誂』の語には誇りがある。家具にしても、電灯器具にしても豫算もない癖に無暗と特殊のデザインを欲する。その理由が特にうなづける程度ならよいが、私達から見て、問題でないやうなつまらない點にその好みを見せたがる。低利資金を借り入れて住宅を建てる程の切り詰豫算でありながらも、猶この好みを盛んに出す。この好みたるや私達建築家の專門眼から見れば、實にくだらない好みなのであつて囚らはれた因襲であつたり淺薄な聯想であつたりする。

こんな習癖を持つ我が日本人であるから權威ある基準型住宅が完成してレデイメード洋服同用、初めの中はその普及宣傳には隨分困難がこもなふだろうが方法宜ろしきを得ればその眞價が認められこの標準型小住宅に住むこさが新時代の日本人の誇りの一つになるに至るであらう

數年前迄は注文主の脚の僻通りに、ズボンを造るこさが上手な洋服屋こされた『く』の字なりの脚には『く』の字なりのズボンを作るこさが……所謂別誂へである。

わが標準型小住宅は流行のセーラパンツでなくてはならない。こんな僻のある脚をも包容する力をもつた……

勿論、その普及には建築に關係する人々、團體の協力をまたねばならぬのは當然である

理想案こしては國、都市、公共團體で經營する小住宅に標準型を採用するは勿論であるし、良材料を國營專賣こして安價に供給し標準型小住宅を建てる程のものには、借家であらうこ自宅であらうこ、僅かでも奬勵金を與へる、そしてかゝる制度を統括するためには保健局、住宅局のやうな機關も必要であるし、それには研究遂行の諸部が隷屬されるこであらう。

標準型による小住宅を改築するこさ、それは最も好ましき事には相違ないが、まだ老朽の年齡に達しないしかも不衛生的な多くの現在住宅はごうするか……

これを全部改築するこさは甚だ經濟的に困難であるから對策こしては住宅を診察して標準の形式に、部分〳〵を改造するこさである。現在臺所や浴室や便所が改造される機運にあるこ同樣に、不完全な住宅の改造を斷行したいものである。然し國の力を以てしてもそれは甚だ困難な事業で不可能であるかもしれない。

長々こ纏まりのつかぬ事を書き流しましたが要は、途方に迷つておる我が國民に住宅問題解決の鍵を與へよこいふこさです……標準こすべき小住宅の形式を示して。

中流住宅以上のものは必然的にこの標準以上の良質のものとなるべきだらうこ考へられます

御非難の點も多々あるかもしれませんが、淺學のいたすこころですから筆者を御指導下さるこさを懇願して筆をおきます。(昭和三年八月)

新建築の傾向に就いて（討論會）

日時　六月二十日
會場　大同ビル八階
出席會員

本文は去る六月二十日大同ビルヂング集會場に於いて本會々員の間に行はれたる討論會の筆記であります、本文を本誌に掲載いたしますに就ては古宇田先生より自分の分は一應閲覽したしとの御言葉もありましたが發行日の都合上止む得ず無斷で掲載いたす事となりました從つて一切の文責は編者の負ふ所です、暴擧に似た此の行爲を豫め陳謝してをきます。

片岡會頭座長席に就き本日の討論會は可なり重要の問題であり且審査の討議を必要でありこするを以て最も適任なる座長を指命する事を一同に計り異議なく大原君改めて座長席に就く、

大原君の挨拶に次いで座長指名の順に從つて各自の意見發表にうつる。

和田君　新建築の傾向を大觀すれば總じて外部は簡單に、內部は入念にこいふ風な行き方である、又經濟的見地から見れば歐洲大戰後の事情は成るべく經濟的建築の必要に迫られ、止むを得ず外部は安値に廉値になつたのではないかと思ふ、又思想的に見て如何なる理由から根據によつて斯かる傾向を生じたのであるか私には解らぬけれども、我國に在りては關東の震災後の經濟的事情から思想的にも實質的にも簡易安値の風が起つた樣にも考へらる。

古宇田君

私は京都から今馳せ付けたばかりで皆さんの御話を承つた後で、自分の意見を述べたいこ思いますが、只今座長から指命されて見るこ默して居る譯にも參らず自分の考を申述べて見たい。自分は新建築の傾向に就いては多少考へても居る、其重要な考察點に二つの方面がある、則ち新建築の傾向は一體『什うなるか』又『ごうすればよいか』こいふ事である『什うなるか』こいふのは消極的の見方でありまして建築の進歩傾向が如何なる道程を辿るだろうかこいふのでありまして『什うすればよいか』といふのは積極的に如何なる方法を執るべきかこいふのであつて、各自各樣の意見がある譯であろうこ見ふのであります。曾て、建築學會に於て樣式問題が起づた時將來の樣式を如何にするかこいふ大問題が論議されました、そして幾多の名論卓說が出たのでありますが、樣式こいふものは自然に定まるものであつて之れを什うしやう又什うしなければならぬといふものでないこいふ風な結論も得られた樣に思ひますが、今日の新建築の傾向は果してよいか悪いか、又如何にすべきか、又什うなるかといふ事になるこ先以て新建築の意義から考へて行かねばならないこ思ふ新建築といへば都市の新しい建築―今日盛んに建てられて居る所の建築をいふてある事こ思ひますこれは將來益々實用的經濟的の建築が起

る事と思ふ、先刻和田君の御話にも此點を御注意なつた事と思ひますがこれは時勢の力であつて又要求でもあるから仕うしてもそういふ傾向が起る事でありませう。今日盛んに和蘭風の建築が建てられる事は一面新しい材料の續々現はれ來るが爲でもありますが、一面に此經濟的實用的といふ要求があるからでありませう、又新しき建築は新しき材料によつて左右される、新しい材料はどうしても新しい取扱なり手法の下に用ひられるよりして新しい傾向が行はれるのは自然であります、從つて新しい材料に應じて新しい精神のあるものが現はれ來るのは當然でありませう。此新しい精神と申せば必ずしも外國の思想傾向を追ふのみが吾々の任務でもない譯でありまして、最近天平建築の研究が宣傳せられるといふ事實は大いに心強い傾向であると思ひます。由來新しいものと稱しても永い生命のあるものでない新しいものは直ぐに古くなるものである永久に新しいものといふものはないけれども吾々が古い建築を研究して見て其精練されたる意匠の眞髓に觸れるとき亦一種清淨なる藝術の泉に心觸れる事がある則ち精練せられたるものは永久に新し味を持つて居るかの如く感ずるのであります、以上は私自身の考であつて新建築の傾向と申せば總じて材料、構造及經濟的の方面から自からにして成立する所のものであると信ずるのであります。

光安君

古宇田さんの御話を承つて居る内に私の考へて居る事を遺憾なく御話になつてしまわれたので私としては申述べる事はありません。

池田君(實)

今日の會合は討議の會である。意見の發表も討議といふ形成に進めて貰いたいと思ふのでありますが、何だか討議よりは意見發表會の様でもあり、私としては次の様な考を持つて居る。若い人の新建築に對する努力は大に感謝する、欲をいへば寧ろもつと大膽にやる事が必要ではないか、愼重にやるのも悪くはないが、とかく萎縮する事となる、外部が簡單になつて行く。傾向に就いて和田君の意見は尤だと思ふ、之れは古い建築に在つても同様で時代によつて其主とする所の取扱は異なつている、埃及の建築は内部を主とし希臘は外部を主とする、從つて初めは内部を主とし次いで外部に移るといふ事は自然である、斯く建築藝術史の上から見ると丁度芽が出て花が咲く様なものである今の時代は進んだ建築に就いてスタートに立つて考へるから斯かる傾向がある譯であつて初期の建築として外部が簡單になり將來の暗示を多く含蓄して居るのではあるまいか、昔から眞理は常に同じ傾向を有する譯でありまして、精神的の傾向の如何も大いに影響する所のある事は勿論といはねばならぬ。

八木君

私は色々考へて居る、又考へて見た。しかし今日悉く發表する事は差控へたい。私としては、むしろ皆様の御意見を聞きたいものだと思つて出席した譯である、唯、茲に御意見發表會も必要であろうが今晩は討議といふのであるから一つ朝日會館といつた様な實際の新建築に就いて御互の意見の討論をやつて見ては什うかと思ふ、そうすると皆様の考へて居る本當の所を御聞きする事が出來る様にも思ふ。

座長

什うでせうか、個々の建築の批評に移つて見たら……

片岡君

私は今晩の討論會は日本に於ける新しい建築の傾向に就いて諸君の大體論を聞きたいのである。古宇田君は眼をつぶつて論じられた樣であるが、目を開いて御覽になれば日に月に新しい建築が建てられつゝあるではありませんか。

座長

それでは將來日本には如何なる建築が發達して行くか什うかと云ふ事を考へて見たら什うです。

波江君

私は片岡さんの御話の樣に今日の建築の大體論を討議の形に行くのが今晩の會合の目的である樣に思います、目下吾國の建築界は何と申しても歐米建築氣の波瀾の影響を遺憾なく受けて居ると申して差支へない樣に思ふ、明治時代は主として英佛獨といふ樣な歐洲建築の模法であつた大正時代は世界の二大新進國である所獨米の影響を受けて居る、殊に世界大戰後の日本は一面實用的建築として米國を視察する實業界の意向によつて米國流の建築が勃興し、又他面に於て歐洲訪問の學者の要求から獨逸流の建築が輸入せられました。從つて今日の我國建築界は三つの流を見る事であります、第一は歐洲建築殊に復興式建築の粹を研究して行かうといふ人々、又第二は米國の新建築を追從して其進歩に遲れまいといふ人々及び第三には獨墺和蘭等の北歐建築を研究して之れを吾國に植えて行かうといふのである、從つて今日の建築界は頗る亂雜な集團が出來　思想上にも實用上に混亂は免れない事と思ひます。

古宇田君

現在の建築界を直視して見れば誠に亂雜であり混亂である、一言以て之を掩ては百鬼夜行であると申される、乍然混亂はやかてよい流を導き來り、善き建築は善き流を產むものであるから決して悲觀すべき傾向とは見られない、大いに各國建築の研究をやるべしであるが、出來得べくんば今少し愼重に來究して慾しい樣に思ふ。

座長

思想上から見た現狀に就いても御意見があれば伺いたいものです。

波江君

私はこの形式を好む惡むといふ考察はしたくない善い建築は誰が見てもよいに相違なく、又個々の建築はやがて一のスタイルの要素となり、其代表的建築はやがて其時代のスタイルの代表的建築である事は歷史の上に於て學んだ處である、それと同時に建築は又環境風土の上に立つ事を忘れてはならない樣に思ふ、世界の建築が同一型體の流に沒入するとは考へられません、各國は各國の風があり各自の主張があります。最近ジエネバの國際聯盟會館の懸賞募集の際に於ても明かに此の傾向は見る事が出來ます、則ち各審査員すかが各國共夫々の意見を持して下らず、遂に最後の決定を得られずして三群二十七通の佳作を選出してるを見ましても、甲論乙駁の情況は窺はれるのであると同時に審査員の意見としては日本支那英國及米國の案のないのを遺憾としてゐる、又聯盟會館の目的と其の實用的計畫とに最も適應せるものを要求して居た事が解るのであります、建築其用途目的に如實に適應するの要求は何れの建築にも與へられる要件であるからして其用運目的に應じて立案せらるゝ事は必要にして充分なる要件であるのである從つて簡單なる銅像の台の意匠一つにも根底をなす要件は銅像の人物と台とが調和して居るや否やといふ所にあります、ヌーボーと稱せられた松田法相がセゼツションの台上に屹立して居るこそや、勤儉貯蓄を勵行した鍋島候の銅像が

ルヰ十四世式の台座の上にキマリ悪る様に立て居る事なごは大なる矛盾を感ずるものであります、建築も須らく其用途目的及風土環境の上に調和を保つ事に入念の注意が慾しいと思ふのであります。

片岡氏

曾て伊東博士が新様式に就いて日本人らしい建築がないといふ事に關して一世の注意を喚起せられた事があるが、當時大塚文學博士も日比谷の勸業銀行の建築を時て將來の日本新様式に對する暗示を感ずると申された事もあり幾多の建築が建てられても外國のユッピーでは如何にも心細い將來に連らなる大主義を抱握した建築でなければ凡作は日に日になくなつてしまふ様に思ふ、吾々は何とかして眞に日本人の作として誇るべき建築が産れん事を望んで止まない。

吉井君

私は新建築の傾向と申しても、構造材料の方面から見ると新しき建築には可なりの無理がある事を感して居ります。

岡部君

凡て新しきものはコッピーであると一概に見てしまふのも什うでせうか、新しきものには新しき意味があり、モーダンガールにはモーダンガールの特色がある、と考へられる、古いからよいと考へられねば新しきものが必ずしもよいも考へられぬ、新しきものには新しい特色があり、丸髷には丸髷の味がある様に思はれます。

佐藤君

新しい建築にも急に古くなる建築がある建築には建築に必要なる定石がある此の定石を無視したものはとかく新しいと申しても古くなつてしまふ、古い經驗と申すものは大切なものである、決して無視すべきものでない、又施主の注文に對しては何處迄も尊重すべき性質のものではあるまいか、唯自分の滿足を得ればよいといふ様な行方を考へるものである、近頃東京に新しい建築が急に古くなつた様な建築がある。

久保田君

構造の上から見ると大いに新しい傾向のある事を發見する、窓台の如きは其一例である、雨が漏れて困つて居る例は多い屋根のパラペットの收りを見ても新しい傾向がある様に思ふ、今後は成るべく構造上にもヨイ建築の發達せん事を望んで止まない。

本間君

新しい建築は構造的に困難だといふ事は考へねばならぬ様に思ひます、新しき建築は兎角形にのみ囚はれて構造や内容に合致せぬ傾向がある、私は學生の實習を見るに面白い新しいと申せばそれが工場だのうか何だろうかかまわずに之れを劇場に應用して居る例を見ました、畢竟無頓着である爲である建築の機能を考へるとかゝる暴擧は出來ない事と思ふ、建築が其内容の目的にかなう様に産れて來る事は實に結構であると考へる。

乍然結局マッチ箱の様な建築が亂立することは考へものである建築と裝飾とは合致する事を考へねばならぬ、此傾向は徐々に研究を進めたらやかてよ　建築が産れよふ、今日見て過去の建築をあまりに古いと考へるよりは其時代の用途に應じたものと思へば將來日本の建築も世間の要求に合致したものが出來やがては日本的の建築が産れるのではないか。

古宇田君

ダン〳〵御話が面白くなつて來ました、本間君の意見や波江君の御話を聞きましても新建築の意義を就いて夫々堅實な見地に立たれて

居る樣に思ふ、先程百鬼夜行の現狀と申しましたがこれは取消します、要するに各自が自分の考を以て、信ずる所に精進す事が必要であります、人間は精神的動物であり決して實用本位のみで生きては行かれぬ之を國家的に見ても國土と經濟と歷史を離れては成り立たぬ。

曾て東京の市勢調査會の會合の時後藤子も居られた席で或建築家が今時屋根のある建築を建てる人のあるのは不思議だと述懷した其建築家が或北國の建築を平屋根で立てた處が周圍山を以て圍まれた都市に於てしかも雪國である處から雨漏がある困つたといふ事である氣候風土を考へずして什して其土地にふさわしい建築が生れませうか吾々は精神的に見て自國の見地に立つと同時に唯徒らに西洋の眞似ばかりもして居られますまい。

下浦君

今晩の討議は建築の施工上に就いても研究すべきであると思ふ近代的傾向の建築には大なる施工上の欠陷があるごうも日本人は自國をあまりに輕く見る樣だ御互に建築界に在りながら一つとして立派な建築があり得ない事を御互に自認して居る、皆面白くない樣な事を云ふそしてそんなら各自大いに悟つて居るかと思ふと何も解つて居らぬ。

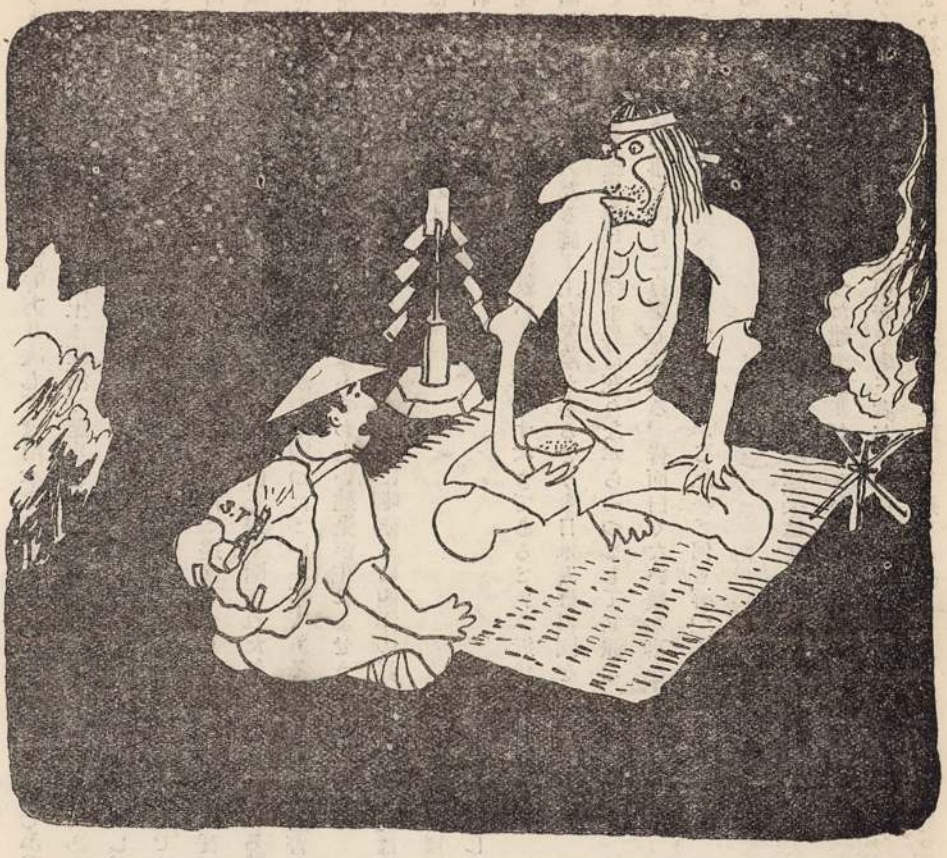
時世はごん〳〵流れてゐる從つて必要に應じて建築は立つが統一がない經濟的にも其目的にかなつた建築が甚だ少ない。私は眞に信用のある建築家と又請負者と依賴者との三者が一體になる樣にならねばよい建築は產れないと思ふ。又家も金に應じて建てねばならぬ、金のある人は金のかゝつた家を建て貧乏人は貧乏人らしい家を立てるのは勿論ではない。

近代人の欠陷は、あまりに淺薄だ、あまりに新しガリやが多い、メートル法の如き結局日本人をして現在より以上に困しめる尺度とよりしか考へられぬ國民生活の根底を不安ならしむるものはメートル法であるとより考へられぬ、カタカナ論やローマ字法の如きも一種の新しガリである、實用には中々緣が遠い。

米國では實行と言說とは相應しねばならぬと說いて居る、吾々は論說と實行とは相伴ふ事を欲する、施工上の粗漏から御施主に迷惑をかける建築家は注意すべきだと思ふ責任感念から申しても仕樣書や數量書の信用程度に就いて建築家の責任ある自覺を望ましい。

座長

今晩は皆樣の面白い又眞摯な御意見を何ひまして大いに得る處があつた樣に思います時間が大分遲くなりますので今晩はこれで閉會といたします。（一同拍手）



そば粉仙人

蘇牛作

漫畵子がふとした出來心から今は昔木曾の御嶽山に久米の仙人と言ふ人があつた事を思ひ出して、其の末孫を尋ねて見よう事を目差して名にし負ふ御嶽山に金剛杖を立て初めた。

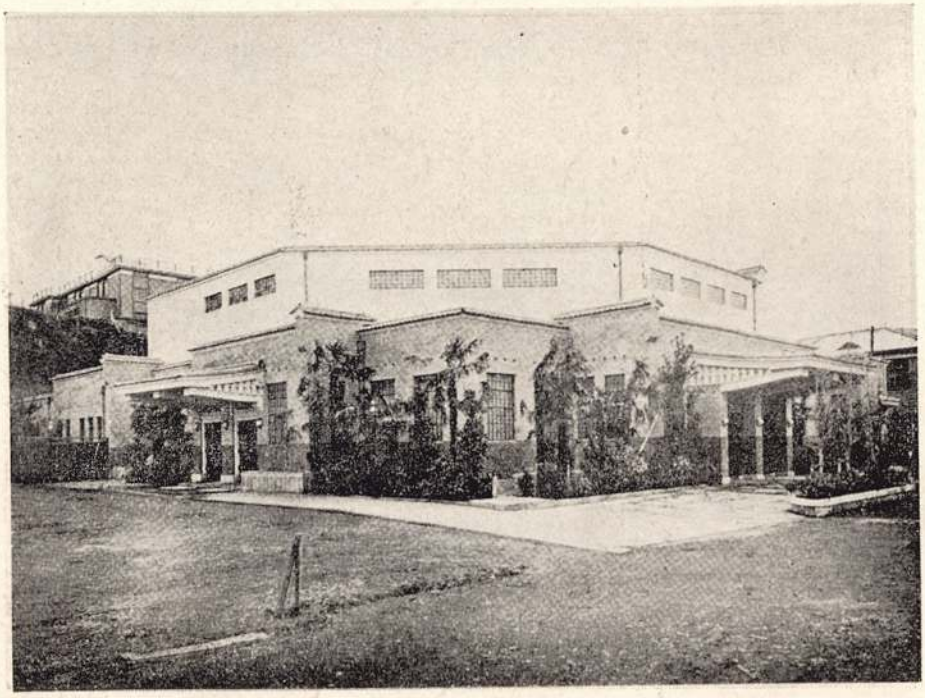
うつ〳〵と早寢覺めの床の激流に添ふて登る事八里信者道者の白衣の群ごつといしよ〳〵即ち六根清淨と言つゐるが何分道が惡いのでつまづいてはどつこいしよとやつてゐるかに聞えてゐる。

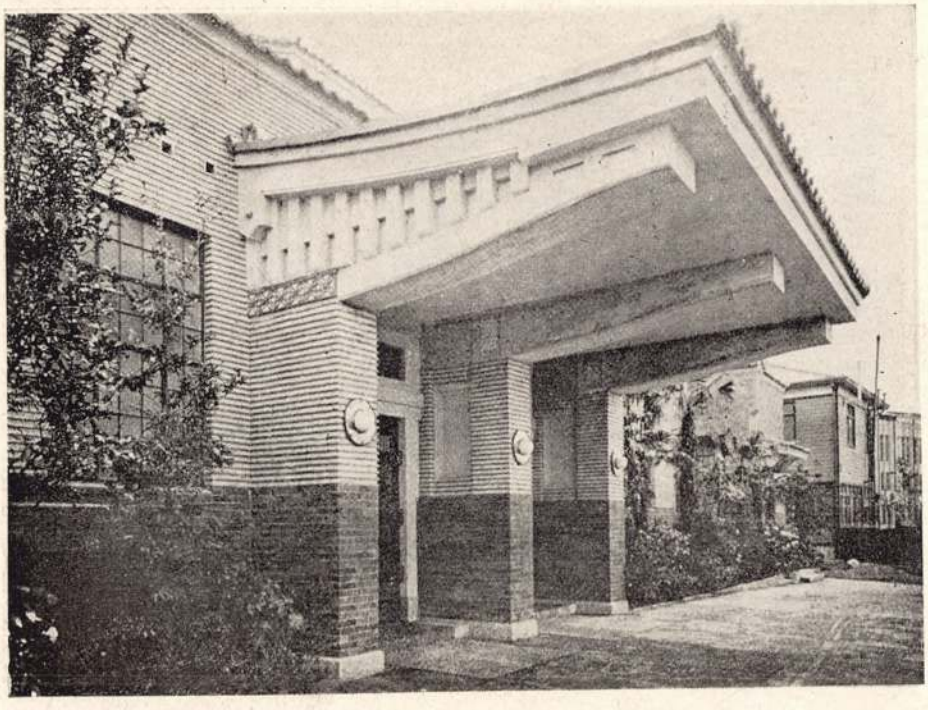
女郎買ひせで贊成々々と漫畵子は聞いて大いに贊成をして見ると、そふではなく大日玉を頂第。即ち御ん山快晴、ざんげ〳〵とやつてゐるんだそうである、なる程聞いて見れば最もの話。道理でどいつもこいつも罪のありそふな奴斗りであるわい。

何かが扨道行く行者先達大天狗小天狗共に久米の仙人の末孫を尋ねて見たが一向に判らない、判らないも道理昔久米仙君は空中飛行の道中若い女の白い股を見て轉落その時機械に大破損を起したと言ふ、それから後は飛行家をやめてその白股君とホームネームやらをやつてとんと老衰れたそふであるが今一人その穴に修養の仙人ありと聞き及ぶ、だが人には逢はないそうであるけれ共何んとか逢つて來たい物と漫畵子いよ〳〵本氣になつてその穴へと近づいて行く。

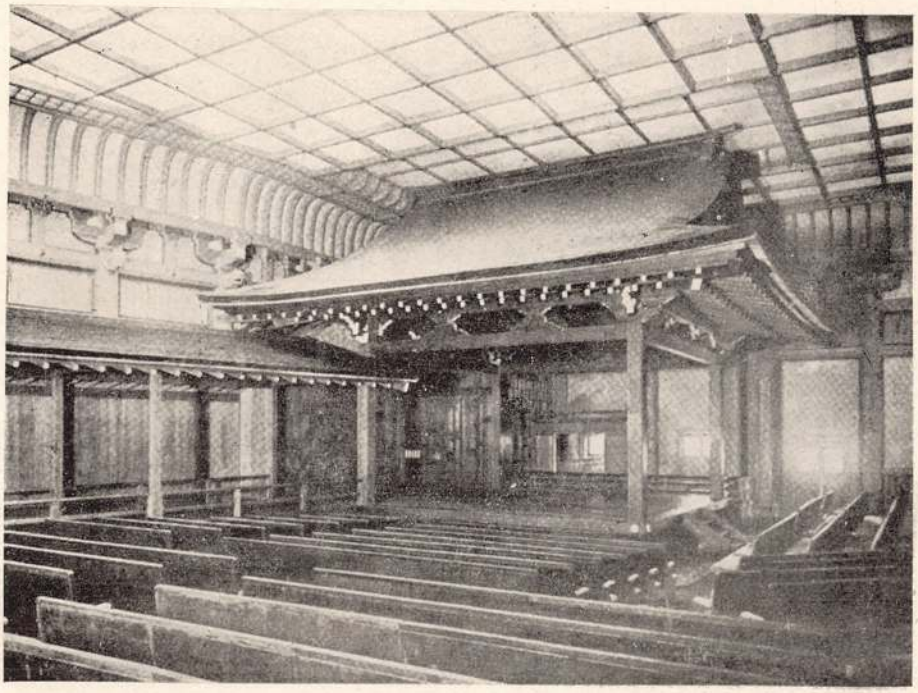
×　×　×　×

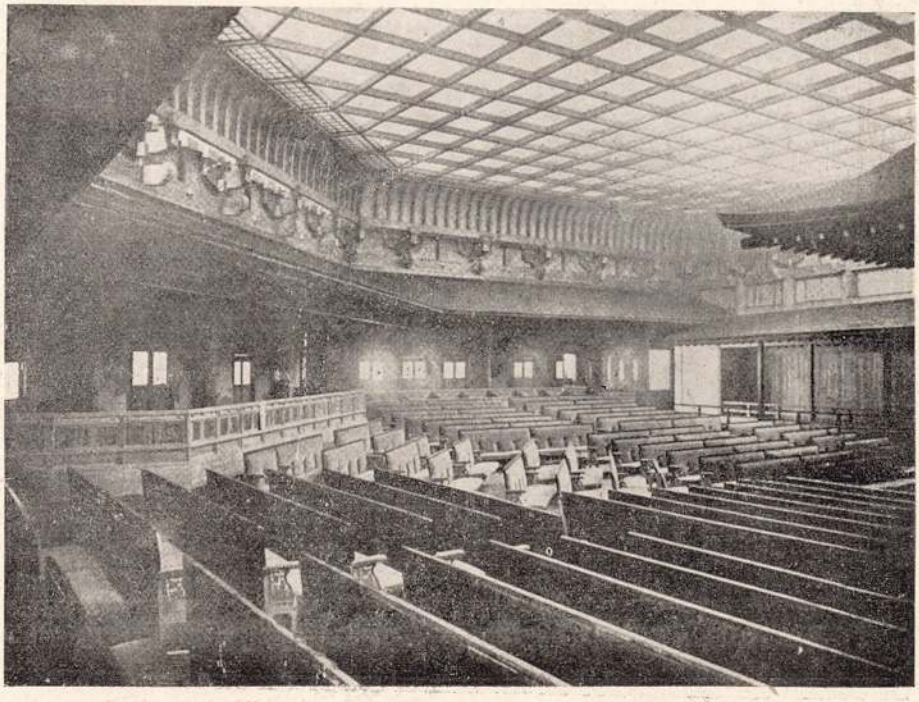
眞暗らである、人の氣はいもない岩穴である、手さぐり足さぐり奥へ奥へと入つてゆく、と、一時にぱつと明るくなつた、焚松をともしてくれたのである……ぱつと其處を見すへるとなる程あるある、ミイラの樣なのが一ついやに眼光がするどいのが氣になるが別に喰ひつきそうな振舞も見えぬので安心して進んでゆく と、仙人君一向に物をいわぬ。物を言はぬはこつちの幸ひ早速スケッチに取り掛ると蚊の樣な聲で何に者だと言ふ、エエ手前生國と申すは攝津の國と言ひかけると何に商賣だとぬかす、漫畵家だと答へると判らんので聞き直す面倒だから繪書きだと言ふとのみ込んで仙人の肖像を書いてくれと言ふ一寸漫畵にするとこんな顏ではないと言やがる、何一にこの漫畵が仙人君にてゐるんだと言つてやつたら、仙人の奴ぐるつと目を廻しやがつた、ウエー助けてくれッ……穴から飛び出してほつと一息、やれ〳〵久米仙は白股でうまくやつたが彼は今の處そば斗り食つてやがるからまだ〳〵ゆふすふがきかぬわい。





鐵筋コンクリート造の寶生會館　上・外觀　下・玄關

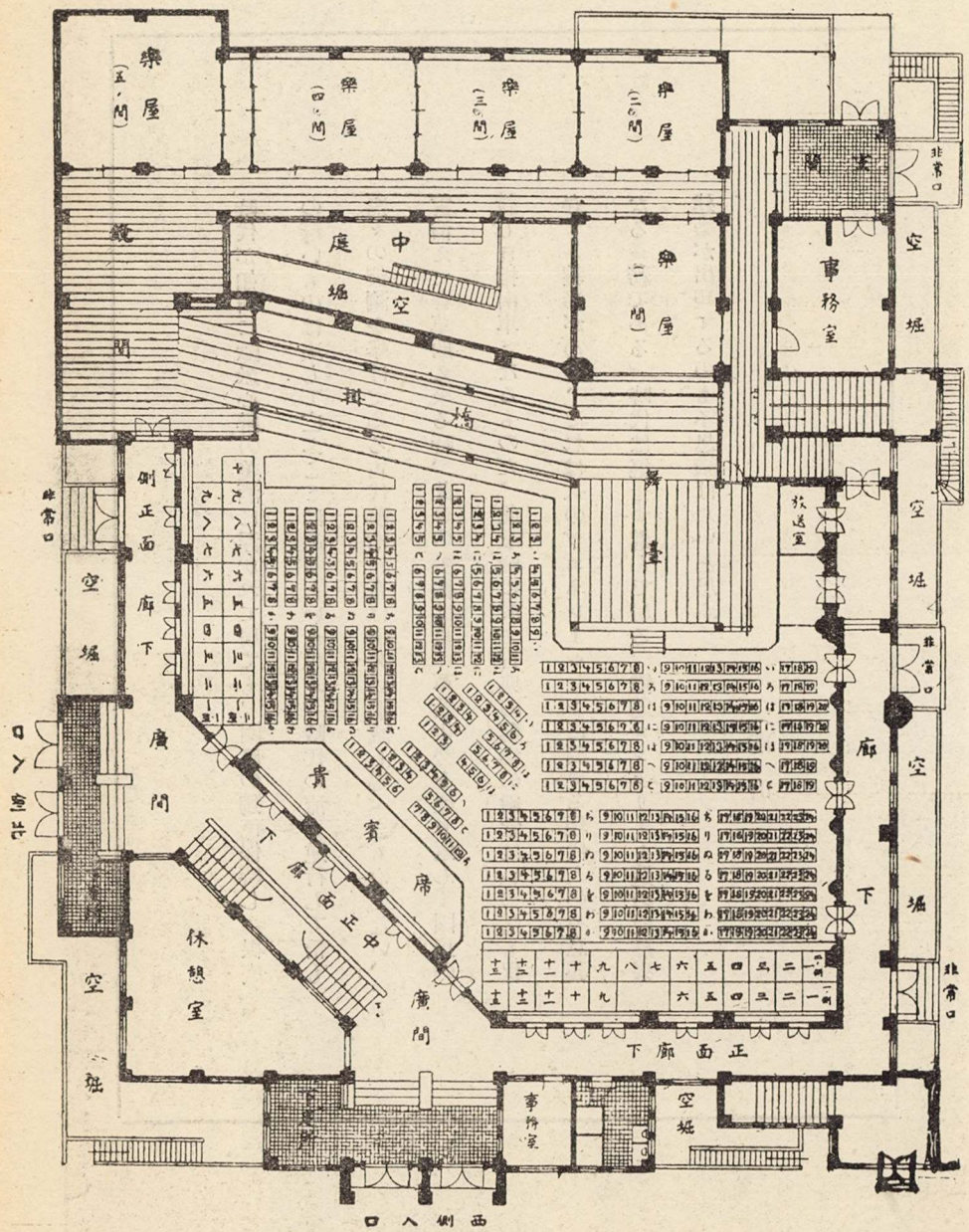




鐵筋コンクリート造の寶生會館

上・能樂堂　二　下・觀覽席

寶生會能樂堂平面圖


樂屋（五間）
樂屋（四間）
樂屋（三間）
樂屋（二間）
樂屋（二間）
楽屋
事務室
空地
非常口
中庭
空地
渡廊下
舞臺
放送室
空地
非常口
空地
側正面廊下
廣間
貴賓席
下廊下正面
廊下
空地
非常口
休憩室
廣間
空地
正面廊下
事務室
空地
西側入口

時代が如何に歐米心醉の美酒に浮かれて居ても、國風の獨色保持した根底の深いものは決して亡ぶことはあるまいと思ふ、時代の流と逆行して恰も遙々の波瀾を擧げてゐる古代藝術の香は永久に消滅し得べきものでない、雪消えて春草萠え來る時、此等の藝術は更に革新の勢を盛り返して國民の新しき指南車となるものだ、此意味に於て古典的藝術の殿堂はいつ迄も保存する義務がある、それは次のヴエネレーションに對する現代人の有意義なる義務である。時代は絕えず進んで居る、鐵筋コンクリート造の能舞臺建築が出現するのも不思議はないと思ふ。

（露山生）



此の小文を、七月三日の誕生日に禍の神を御送りくだすつた田舎の淋しい姉様に捧ぐ。
SI筆

「ラスキンと建築」（二）

SI生

二　建築に於ける想像力の影響

若し吾々が偉大なる美術家と、平凡なる美術家との區別を立てる主要なる性質は何であるかと突然尋ねられ、直ちに此れに對して回答を與へるべく要求せられたとしたならば、多分

第一　鋭感にして趣味の高尚なる事
第二　想像力の高い事
第三　勤勉なる事

と答へられるであらう。然し或る人たちは此の第三の要件即ち『勤勉なる事』に重きを置くといふことを不當の如く思ふかも知れない。

何となれば吾々は此の世の中には懶惰ではあるが物事によく役立つ人があり、亦勤勉ではあるが、役に立たぬ人が多く居るといふことを知つてゐるだらうから。然しながら吾々が懶惰であつて役に立つ人々が多くあることを知つても此れ迄の偉大な人々の中で懶惰であつたといふ例を多く知らないであらう。私は總ての點に於て最も貴い作品を出したところの大美術家の生涯に就いて大分研究したが其の研究の間に於て、動かし難き事實であり亦法則であるところの事は凡て熱心なる働き手であると云ふ事である。而して余は斯くの如く明らかに見ゆる事實を此れ迄一度も知らなかつたし、又斯の様に正確に實際の事に適用し得る法則を此れ迄知らなかつた。彼等に就いてはいろ〳〵と驚かされることはあるが。彼等が與へられた短い生涯の中に完成した作品の量ほど驚歎すべきものはない。而して余は將來の成功を期待されてゐるところの若い人々に就て聞く毎に先づ第一に次の如く尋ねるのを常とする。

『彼は能く努力する人か？』と

然しながら此の勤勉といふ性質は美術家たる者には必要欠くべからざるものではあるが、此の性質のみでは未だ美術家とは斷言し得ない。世の中には常にせつせと忙しそうに努めてはゐるが其の爲した事は凡んど無價値に等しいものであると云ふ様な人も少くない。

尚又『鋭感』なと云ふ事だけでは勿論美術家となることは出來ぬ。世には氣高く、且つ力強い感覺を持つてゐる人は少なからず居るが（實際は結構な事で余も希望することであるが）其れらの人々の中には美術といふことなどには頓着せぬ人々も澤山に居るものである。

然らば美術家として明白に印しづけるところの性質（條件）とは何であるかと云へば、同情と

想像力である。若し此の二つがなかつたならば其の人は一生を平凡に過ごし、そうして肉體が衰へてしまへば直ちに忘れられてしまふ人であり、反對に此の二つを持つてゐる人であつたならば、此の大地を震ひ動かし、天國の榮光に浴し得る人ともなれるのである、余は今此の最後の言即ち想像力といふことに就いて大變複雜な定義を下さうと努力することに依つて諸君の尊い時間を空費さしたり、亦異議を起こす樣なことはしたくない。

吾々は想像力と云ふものに對する一般的でそうして適度の觀念を有つてゐるものであり又其れが吾々の手と心に如何なる作用を及ぼすかと云ふ事に就ても大體の觀念を持つてゐるものである。それを吾々は吾々の思想の中に新しいことを想像し或は描き出す力であると理解してゐる。

そうして吾々が、此の力の存在を認めるからには吾々は手の操作とか、計算とか或は又用意周到とか云ふやうな所謂普通一般的な能力よりも一層優れた力であると認めて、知らず〳〵の間にも此れを貴んでゐるのである。

若し吾々が爐邊で、其の糸捲竿から巧みに彼女の細き糸をくり出してゐる老婆を見たならば吾々は彼女の手先の働きの巧みなのに尊敬を拂ふことだら、うそうして次に吾々が彼女が此の一ケ年の間に仕遂げる仕事の豫想を聞いたとして、彼女が直ちに答へるならば、其の計算の上手な事に感心させられる、亦その次に、彼女が仕事をしてゐると同時に彼女の孫の誰かゞ爐の中へ落ちはせぬかと注視してゐるとしたならば吾々は注意の周到なのに感服する。然し以上の事だけでは未だ普通一般の老婆と異るところはない。然れ共若し彼女が常に彼女自身の頭から案出したる大層面白い御話を孫達に話して聞かしてゐるとしたならば、吾人は其の想像力の大なるに驚かされ、普通一般の老婆ではないと言つて尊敬するだらう。

此れと同じことで、茲に一人の建築家があつて、若しも彼が其の設計圖を大變立派に書くなれば、吾人は其の手先の巧みなのに感心するだらう、又彼が契約をよく履行する人であれば、又吾人は其の正直で計算の正確なのに感服し、又彼が床が破れて誰かゞ下へ落ちない樣に充分堅固に其の梁を架け渡すならば吾人は其の注意深いのに感服するだらう。然しながら彼は是れより外に尚彼自身の頭の中から造り出した面白い物語を吾々に語らねばならぬ、若しそうでなかつたならば、吾々は彼の想像力の大なることを認める事が出來ぬし、かの老婆の樣に、是れは通常一般の工人ではなく立派なる建築家だと稱讃することが出來ぬ。

それ故に今夕若し吾々が建築家として語り出だすべき立派なる物語りとは何んなものか——此の嚴肅なる技術に於て諸君の頭腦から生ずる働きの如何なるものであるかと云ふ事を共に考へるならば大變興味のある問題である。

現今のやうに機械の發明などの全盛を極めてゐる時代に於て、若い建築家の頭の中に表はれる第一の觀念は多分、近世文明特に英國に於ける文明に適合する樣な『新しい樣式』を發明するといふ事であらう。而して其の樣式たるや、蒸汽機關や、電氣裝置によく適合するやうな樣式であつて恰も蒸汽の樣に一般によく用ひられ、電光の樣にピカ〳〵と人目を引きつけるやうなものであらう。然し若し今夕諸君の中で斯樣な發明の義務的な感じを心に留めて居られる樣な人があるならば、余は先づ第一に其の人に尋ねてみたい、今吾々の中の一人の建築家が新しい樣式を案出するとの云ふ場合には其の計畫の全部を自分一人の手でせねばならぬか、即ち細かい部分に就いての考案も或は其の實行的の部分までも一切皆自分一人でせねばならぬか、或は又多くの建築家達が其の發案の一少部分を各人が考案し、そうして最後に綜合地圖のやうにそれ

らを集めて初めて一つの發明をなすべきであるか。

若しそうであるならば、新しい樣式が發明せられた時には其の次になすべきことは何であるか。諸君は想像の(註一)『エルドラド』は宜しいが何人もの『コロムブス』を持つことが出來るであらう、或は若し諸君達が共に出帆しやうことも又其の獲物や其の名譽を公平に分配しやうことも諸君達の樣に數人の集まれる『コロムブス』が居る後に何人が續いて進むべきであらう。諸君の建築上に於ける子孫は新大陸の發見に慾の目を光らしてゐるが如何なる新樣式の寶島に向つて航海すべきであらう。

(註一) エルドラド、近世の初期西班牙の探險家達が探し廻つてゐた黃金の產地を呼ぶ名、轉じて空想せらるゝのみで實際に見ることが出來ぬ所のもの。

扨吾々が望んでゐた新樣式を發案した時に爲すことの出來る最上の事は、其の樣式で家屋を建築することであるが、然らば此れ迄ある樣式で其の家を建てる事は出來ないのであるか。

先づ諸君が滿足する樣にして、一つの新樣式を發明することは必ず出來ることゝしよう。恐らく諸君達は余が此れを認めるより外に道はないこと信じてゐるだらう。余は此れを認めるのみならず尙其の上に其の新樣式が今迄の樣式とは全く異つてゐる場合もあり得ることを認める。吾々は『キヤピタル』を柱の上部に附ける代りに下部に附けることも出來るし、バットレスは尖塔の下部に附ける代りに上部に附けることも出來入口をアーチ型でもなく、平らでもない石で冠することも出來る。又諸君等は彎曲でも直線でもないところの裝飾線を組立てることも出來るだらう、鎔爐も鍛鐵場も貴意の自由に使用して諸君等は、いくらでも硝子板を延ばすことも鐵棒を打ち延ばす事も出來る、若し其の樣式が實用主義的のものであるならば眞黑な骨組や、重苦しい眞黑な壁の無限の背景を以て吾々を取り卷いてしまふことも出來るだらう。又若し其の樣式が理想主義的のものであるとしたならば諸君達は諸君の都市をしなやかな葉飾りを以て取圍んでしまふ事も出來るし、或は大層美しく色彩をほどこされた硝子で以て屋根を張り渡す事も出來るだらう。又諸君達は(若し希望するならば)全ロンドン市を多くの美しい色彩を以て裝飾せられた煌々たる『ドーム』で大空を一杯に滿たすことも出來、そうして其の美しい色彩は大空の雲をも亦海をも反映し返す事も出來るであらう。

然し尙余は諸君に問ふ『今後は如何にするのか?』と。

扨て諸君の其れ等の想像力といふものは鐵で作られた葉飾りの蔭や、恍惚たる『ドーム』の五色の輝き中に安眠をむさぼつてゐられやうか。

然うではない、諸君の心や、空想や、野心といふものは全く無限に活動をして一時も安眠をむさぼつてはいないものだ。そうして諸君は他人が成し遂げた何事も、自分でもやつて見なければ氣が濟まぬだらう。諸君が『ハラヂオ』に滿足せないが如し(註二)『パックストン』にも滿足せないだらう。

(註二) パックストン、當時英國に於ける第一流の建築家

古より今日迄に鎔かされた金屬や、硝子の總ての重量を以てしても一人の人間の靈魂の渴仰(即ち想像力)の翼を壓迫し、其の行手を遮ぎることは出來ない。

若し諸君が靜かに考案をめぐらし、建築上に或る新奇なるものが必要であるといふが如き、空虛な、怠惰な、そうして比類もなき馬鹿〳〵しい話には永久に耳を傾けないならば諸君は間もなく眞の樣式と呼ばれるべきものは、或る時代の間實行せられ、そうして凡ての目的(用途)に應用せられなければならぬといふことに氣が就かれることであらう。そうして、その一つの

様式が實行せられてゐる間は、その様式の範圍に於て、之を完成さすべく各人は其の全想像力を働らかせなければならず、新しい様式の案出に用ふべきではない。若しもこゝに全歐洲が此れを採用せなければならぬといふやうな建築上の或る新奇な様式を案出することに依つて、名聲を得やうといふやうなことを望んでゐる人があつたなれば、余は謹くこの演說を中止せなければならぬ。然し父祖と同じ仕方に從つて、其の中で充分自分の手腕を揮はうといふ心掛けを有つてゐる人々にだけ此の演說を聞いていたゞきたいと思ひます。(註三)サリスブリー寺院の建築者は、ゴシック建築の案出者ではないけれども、彼は英國に於て唯一の此れ程優れたる寺院を建立した。(註四)チ、アンは油繪の案出者ではないが、ヴェニスにあれ程の影響を與へた建築上の一様式の中で自分自身努力しようと心掛けてゐる謙遜にして賢い生徒(建築家)のみに余の演說を聞いて戴くことゝして、吾々の共に研究せなければならないことは、吾々がかゝる條件のもとに於て吾々の想像力を實行するのに如何程の餘地が與へられてゐるかと云ふことである。

そうして先づ第一に建築家が其の創案力を發揮すべき重なる領域は、適當なる "Proportion" に其の "Lines, Mouldings, Masses を配合することにあると思ふ。

實際諸君が若し建築のある様式を採用するとすれば、諸君は其の他の方面に其の案出力を働かすことは出來ないので、即ち其の様式の中で其の案出力を活動させなければならぬのである。

そうして此のことを完全に成し遂げる爲めには特に天賦の才能が必要である。

(註三) 英國に於ける最も注意される寺院にして設計者は僧侶である "Elias de Dereham" といふ人であると謂はれてゐる。

(註四) ヴェニス派の代表者たる伊太利の畫家

如何なる規則によつても、如何なる研究によるも、其の設計を美しい釣合に仕上げる才能といふものは得られないものであつて、何より天賦の才能のある人の直覺に依らなければ他の人では正面の單なる梁でさへも美しく排列することは出來ない。そうであるから(註五)サンミシエリーや(註六)イニゴージョンズや亦(註七)クリストファー・レンなどの作品の一部分の最も單純なる排列に對してでさへ其れらの作者に其の人自身の頭の中から出た設計が對抗し得る様な人があつて、若し其の身に具はつた天分に對して誇つても宜いならば、其の人は大に誇るべき正當な理由があるのだ。

(註五) 伊太利の建築家

(註六) 英國の建築家にして聖パウロ寺院を修築した人

(註七) 英國第一流の建築家

其れ故に、案出力や天賦の才能といふものは此れ等を成就さすには必ず必要であるとしても余は諸君に問ひたい。

諸君達が其の特別なる才能を以て、建築に於ける線の排列を完成したといふ事は畢竟何になるのか。?

先づ第一に諸君は、其の排列によつて得たところの美といふものは人を感動せしめるやうな性質のものであるとは言はないだらうと余は信じてゐる。諸君は音樂に於て大變良く音調の排列せられた數節を聞くならば、或る時には微笑み或る時には涙を流すことだらう。其の音律の按排によつて其の奥深い感情の總てを發表することが出來、兵士達には勇氣を加へしめ、戀する人の情を高め、哀悼者を慰め悦べる人には一層喜びを與へ、信仰者には信心を高めしめるものである。諸君の線の排列といふものは斯様なことをなし得るか。そんな力があるか?諸君達は(註八)『ホワイトホール』の正面の極めて美しいのを知つてゐるが、曾て此れ迄に一度たりと

も、二人の近衛騎兵が其の前に立つて暫くの間眺めてゐて、軍人的熱情を感じたさいふやうなことがあつたか。吾々のロンドンに於ける或る人が其の戀人が冷酷であつたからさいつて、其の心の悲しみを慰める爲めにホワイト・ホールの正面迄曾て歩いて行つたさいふやうな事實があるか。或は義務の判斷にためらひ、或は又自身の信仰の柔弱に苦しんでゐる人が其の良く調和せる額緣の裝飾を見たゞけで、其の決心を固め、信仰心を強くしたり或は又外の主義さか、目的に對して一層の確信を生じたさいふ樣なことがあつたか。そんな事實はないさ諸君は答へるであらう。

（註八）英國古の王宮であつてロンドン、ウエストミンスター街にあり、英國史上に多くの關係を有する建物

それ故に、建築といふものが人を感動せしめたり、人に靈感を與へたり、人を慰めたりする力が無いさするならば、其の建築的の調和によつて人を樂します力を持つてゐるだらうか。

クリスマスは頂度過ぎ去つた。恐らく諸君には此の期間には多くの樂しい會合を持つてゐた事であらう。然し諸君は建築的釣合の美さいふものが其の夜の宴會を一層樂しくしたさいふやうなことを想像し得るか。音樂に於ける音律の調和さいふことは諸君の會合には欠くべからざるものであつたらう。亦髮に花束を差すことや着物に『リボン』を附けることかいふことは亦諸君にさつては屢々嘆美の念を添へることだらう。（諸君の幸福に對しては、たゞへ本質的のものではなくさも）社會の一員たる少年達にさつては『ケーキ』の中に入れる乾ブドウの割合や、糖菓の中に入れる砂糖の割合さいふものが大變面白い且つ重要な問題であつて、其の割合が上手に配分せられた時には料理人や菓子屋さんに對して滿足の念を起さしめるのである。然し老若男女を問はず其の室の『ドアー』の額緣が大變良いさいつて愉快を感ずる人があるだらうか、或は友人を招くことに氣を配る位に、其の室のよく釣合つてゐるか否かさいふことに氣を配る人があらうか？若しも諸君がロンドンの中で最も良く釣合のされた建築に於ける樂しみの凡てを一晩の中に集めることが出來、そうして諸君が此の釣合の愉快さいふものに、對してほんの少しでも代償を支拂ふものとしたならば（註九）ドリューリーの所作劇に對して諸君は如何に多く代償を支拂ふことであらう？

（註九）ロンドンのドリューリー・レーンさ云ふ所にして十八世紀に所作劇の演戲場が出來た。

それ故に諸君がたとへ偉大にして驚嘆すべき天才の所有者であり、そうして諸君の心身を其の藝術即ち建築さいふものに捧げやうさも、尙諸君は、如何なる人を慰めることも、何人にも勇氣を與へることも、何人を改善することも、何人を樂しますことも出來ないものであるさいふ事を記憶せよ！然らば更に尋ねる、諸君の建築は何人かに智識を與へることが出來るか？多くの科學さいふものは人々に高尙なる感動性を與へるやうな性質のものではないし、亦人々に娛樂を與へるさいふやうな事は尙ほ更無いものである。科學者さいふものは此れ等の點に於ては屢々諸君等建築家さは同一立場に置かれてゐるものである。吾々が最近の戰爭の結果によつて判斷をして見るさ科學さいふものはホワイトホールの正面さ同じ樣に、兵隊に何等の勇氣も與へないものである。そうして又クリスマスの會合に於て子供達はエリザベス女王時代に於ける熊やドラゴンの行動に附いて地質學者の語る事を聞かうとはせないだらう。然れ共科學者は諸君達に何事かを教へるものだ、彼等は部隊に於ては愚鈍であり、戰爭に於ていい弱いが、常にそれのみではない、彼等は兎に角、諸君に最も貴い事實の智識を與へ、天地の秘密を打開いてくれるものである。

諸君の建築上の釣合がその様なことを爲し得るか、諸君の天才が認められ、諸君の生命が、それに捧げられてゐるとして、それが吾々に一體全體何を齎へるのだ。其の生命の畢生の努力によつて教へ得るものは、二三二の和は四だとか、一三二の比は三三六の比に等しいといふやうなことだけである。

それ故に諸君が明らかに認めなければならない事は、建築といふものは、何人をも慰めたり何人をも滿足せしめ、樂しますことも亦何人を教へることも出來ないといふことである。然らば最後に尋ねやう。建築は何人かに利益を與へることが出來るか。恐らく諸君は『然り』と答へられるであらう。『確かに吾々建築家は世間に貢献をしてゐる、殊に此の地方の如き、よく雨の降る地方に於ては尚更のことだ』と。確かに諸君は世の爲めになつてゐる。然し失禮ですが、それは單に家を建てる人としてであつて釣合の事は別問題である、即ち釣合の研究家としてゞはないのである。

吾々は今夕唯の雨雪を防ぐ爲めの建築に就いて論じてゐるのではなく、諸君の天才が成し得る特別の事に就いて語つてゐるのであつて、キユピツトの様な丈夫なそうして愉快で住み心地良い家に就いてゞはなく、イニゴージョンズの様に、美しい正面を造ることに就いて言つてゐるのだ。然らば余は再度で尋ねる『諸君は世の人々に利益を與へる事が出來るか？』と。諸君の正面がよく釣合つてゐるといふ事が、人の病氣を癒やしたり、裸の人に着物を着せたりすることが出來る。今假りに諸君が其の一生涯を商人に捧げたと想像したまへ、そうして其の一生が暮れんとする時、諸君が冷靜に過去の事實を反省してみるならば、食料欠乏の爲め弱つてゐる時、諸君は此れを救ける爲めに穀物を買ひ込み、其の欠乏を救助したり、諸惡病の傳染せる時に、其の病を根治する爲めに藥品を輸送して患を除ひたり、亦遠く離れた未開の國土にありて、其の人民の中に吾が國民文化（吾が國民の力）の最初の種子を播き文明といふ聖い最初の光明を導く事が出來た、といふやうな事件が如何に多くある事だらう。

要するに諸君が建築設計家以外の如何なる仕事に從事しようとも、諸君は世の人々に何か貢献することが出來たであらう。貧弱なる貿易商人にならうとも、諸君は世の欠望を救ふ事も出來、荒々しい活動をせる日々の勞働者とならうとも、諸君は世の人々の爲めに食料とか或は衣類を供給することが出來る。然し天才が諸君に具わつてゐて尚其の天才を暴わすには最も都合の好い事業に一生を捧げても、諸君が年老ひてから、靜かに考へて見て、世の爲めになつたといふ様な偉業が果して記憶に殘つてゐるだらうか？如何なる人々の感謝が其の輝しい光を以て諸君を取り圍むだらうか？よし世人が其の事業に對して感謝を與へないにしても、晩年になつて考へて見て、自分自身にさつて實際に滿足が出來るやうな利益や恩惠を世にもたらしたと思ふか？

悲しい事には、諸君の釣合良き線の妖靈は諸君に對して物をも云はず晩年の枕邊に現はれる事だらう。たとへ諸君が自分の天才を思ふ存分に發揮し得やうとも、諸君が過ぎ去つた時代を懷古した時に、渇いた人に一杯の水を與へ、パンの爲めに恐ろしい勢で逃げ行く人を呼び止め得た、ほんの一瞬間に感ずるやうな歡喜を覺へることなく、唯寂しく過去を顧ることだらう。

諸君建築家さん達は建立した家の大きさや數や、亦工人たちに支拂つたところの金錢の多少によつて、世の爲めに貢献した證據であるなぞゝ云つてはならない。そうして又そんな事を考へるだけでも非である。余は勿論、諸君達を建築者として世の爲めになつてゐると信じてゐる。然し余は繰返して言ふ、今晩話してゐるのは諸君の建てた家の事ではなく、諸君の頭腦のこ

こに就いてゞある。諸君の想像力や獨創力こいふものが全世界の人々の利害に如何なる關係があるかこいふ事に就いてゞある。家を建てるこいふ事によつてなされる利益こいふものは諸君の力によつてゞはなく、諸君に依賴した人（施主）の力である——諸君も實は其の恩澤に浴する一人なのだ——こいふ事こ注意せよ！諸君自ら世に與へ得る利益こは諸君のデザインに依つて生ずる利益でなければならぬ。そうして余は此れを音樂家に比較して見よう。

音樂家の世に齎らす利益こは彼等の勝れた作曲によるのであつて、オーケストラを催す爲めに多數の演奏者を雇ひ、其れらの人々に多くの收入を與へてやるのは、音樂家の力ではなく、此れ等をなすのは公衆の方である。

そこで此の區別の問題を明らかにして置いて更によく考へなければならぬ。吾々建築家は天才といふものによつて此に如何なる利益、恩惠を與へ得るか、そうして若し吾々の釣合の方式によつて世に如何なる利益をも齎らさないこしたならば、諸君に最後の質問をしなければならぬ、然らば吾々は吾々自身に如何なる利益を與へ得べきか？

建築以外の他の殆んご總ての自由なる技術や職業に於てはそれが他の者に大變な利益を與へないにしても、各々其の人自身には愉快こいふものを持ち來らすものである。法律家や醫者及牧師さんであるならば、其の專門に應じて學理研究や、歷史的研究の樂しみこいふものを持つてゐる。又科學者であるならば、大自然の法則や、事實に關して、絶へず其の好奇心や研究心を滿足せしめるべく努力するここが出來る。又美術家であるならば、大自然の變化極まりなき形を觀察するここに樂しみを見出す事が出來る或は又日々の勞働者や、つまらない小さい貿易商人であつても、諸者がデザインに於し費すだけの智力こいふものを以て此れ等に當るならば工業上や、又農業上に於て樣々な改良を加へ、亦諸君の貿易上の問題を解決する事に常に愉快を感ずる事が出來る。然し建築上のデザインこいふものは樂しい旅行をするのでもなく、美しいものを見るのでもなく、自然の正しい法則を認識するのでもない、心の中に溫い同情の生ずるのでもなく、崇拜の謙讓さもなく、內外共に何等の進步もない。

斯くして吾々の結論こしては、諸君建築意匠家達は、他の人々を樂しませ、何人をも敎へ、或は其の利益を以て何人をも助ける事も出來ないのみならず、自分自身をも樂しませ、敎へ向上せしむる事さへも出來ないこいふここになるのである。そうして一こ二この比は三こ六この比に等しいこいふやうなことの外は何事も知り得ず、感ずるここなく、何事も見るここもないやうな無自覺な狀態に落ち込んで行くのである斯樣な狀態にある吾々を何と呼ぶべきであらう？。男子こ呼び得やうか？余はそう呼ばない、吾々の正しい公明なる名は、計算をする人かそれとも名を求める人なのだ！何こ卑しい名よ！

然らば建築の精神は線の調和的配合にあるこいふやうな愚說をすて、吾等の想像力を働かすべき、もつこ善良なる事を求めやうか？

先づ第一に吾々は次の大原則を知つて置かねばならぬ。即ち吾々の身體を健全にするには、其の身體全部の鍛練が必要であるこ同じく吾々の精神を健全にするのには全體の修養が必要であるこいふここである。たこへ其の人の腕が如何程丈夫であつても、其の足が中風の人であつたなら吾々は健全な人こいふここは出來ないだらう。如何によく歩く人でも其の手が自由に利かなかつたなれば又健全な人こは呼ばないだらうし、又如何によく物を見ても耳の聞へぬ人であつたならば健全な人こは云へないだらう。

何人こ雖も自ら進んで自分の體を部分的發育の狀態に置かうこはせないだらう。まして其の精神を不健全に發育させるここを望む人もなく

不健全のまゝで耐へて居やうと思ふ人もあり得ない。抜人の心には夫々異つた用事の爲めに異つた多くの才能が賦與せられてゐるものであつて、いはゞ心の手足ともいふものも諸君らが働かせなければ不具者となつてしまふものである。元來吾々には好奇心即ち研究心といふものが賦與せられてゐて、此れは『知る』といふことに愉快を感ずる所の才能といふものである。若し吾々が此れを破壊するならば吾々は冷膽で、そうして遲鈍な人となるのである。其の次に同情心といふものが與へられてゐる。此れは他の生物に對して苦樂を共にすることを願ふ鋭い力である。若し吾々が此れを失つてしまふなれば吾々は頑固で、慘酷な人と化するのである。

又吾々には感嘆の念といふものが與へられてゐる。此れは美しいものや、巧妙なるものに對して愉快を感ずる力である。此れを失ふ時は忽ちにして野鄙で暴慢の人となるであらう。

又吾々には機智といふものがある。此れは眞理のあらゆる方面に於て、其の恍惚たる光の中に突入する力である。此れを失ふなれば、吾々は朦朧となり、他人の役にも立たず返つて不機嫌を與へるのみである。

それ故に諸君が其の目標としてゐるところの或る事業をなすに當つては、出來るだけ其れらの才能を發育せしめねばならない。其の中の一つとか、或は二つとか、ではなく諸君の中に存在してゐるだけの全てを發育せしめなければならない。そうしてこれらを發達せしめる方法といふものは常に此れ等の才能を活動せしめるやうな問題に注意深く、諸君自身たづさわる外はない。同情心を發育させんとするには常に生きた動物の中に生活せなければならぬ、そして尚之に就いて考へねばならぬ、又嘆美の念を養はんとせば常に美しいもの、中に居り彼等を熟視することが必要である。

此れらのことは凡て自ち明らかなことである少くとも余は此れ等を諸君が自明の理として認められる事を望む者である。斯うなれば諸君は之れ等の實行を拒絶することは出來ないだらうそうして建築家として考慮する時は諸君達は生きた動物の中に生活し、美しいものを見る事に附いて沈思しなければならぬ。

多分諸君は昨年頃に發行せられた、アミアン寺院の玄關を撮つた美しい寫眞を知つて居られるでせう。余は今此こに其の一枚を持つて來た（單に是は余が何を語らうとしてゐるかを諸君に知らしめる爲めで、勿論遠方の人々には其の詳細を見ることは出來ないでせうが、其の大略の形だけは見へるでせう）聖オノレの古蹟が刻まれてゐる。此の一つの入口に如何に多くの同情と、悦びとが溢れてゐる事を見よ。（序でながら吾々英國の人々は今屢々聖オノレ街を、あちこちと往來してゐるので、此の聖徒に就いて古の建築が吾々英國人に語らうと思つてゐた事は總てよく知つてゐるのである）

御存じの通り曾て僧正であつたところの高僧の聖徒傳の中で不思議な事は、彼等が僧正になることを欲しなかつたといふことである。こゝに云ふ聖オノレも其の一人で僧正になることを心よしとせず澁面にて隅に座してゐた。彼は兩手で本を抱き締めてゐた。そうして笏杖を取る爲めに立上りもせなかつた。そうして其の周圍に僧正になることを市參事會員達が集つてゐる又反對の一隅には聖オノレの事には何の當惑もなく、オノレは居ても居らなかつてもよい、困らぬと云つたやうな冷然たる樣子をした、一群の僧が居る。それ等の表情の完全に表はれてゐるのを諸君は見得る。遂に聖オノレは僧正になることを承諾した。そうして彼は僧正席に座して膝にあつた本をうや〳〵しく机の上へ移したそうして彼の牧師補達に森の中へ行つて聖、骨を弔ふことを命じた。此こに森があり、牧師補達がゐる。そうして此の森の中に聖ヴイクトリアンや聖ヂエンチアンの骨を葬つた墓がある。

其の次に聖オノレは莊嚴なる尊祭を行ふのであつた。其の時一つの奇蹟が起つた、といふのは空中から其の聖體を祝禱する爲め一の手が現れた。其の後此の奇蹟を記念して寺院の紋章が決定せられたのである。扨て其の後聖オノレが死去した、そして其の上に彼の像の刻まれた墓が、此の場所に建てられてある。そうして再び一の奇蹟が起つた。それは耳の遠い人がよく聞へるやうになり、盲人の人が其の愛犬を連れて其の道を上つて來るんだつた。

こゝに聖オノレの生前の靈寶を記念する爲め壯大なる行列が行はれる、そうして彼の棺の下に於て、蹇者の足は完全に癒やされた。

然して其の棺は、野鄙なものから分離されてゐる十字架よりも高く置かれてゐる、其の故は聖オノレの棺が聖フヰルミン寺院の下をまさに過ぎんとした時、其の寺院の上にある耶蘇磔像が聖オノレを天國に導く承認の證據として其の頭を下げたといふ傳說によるものである。

扨諸君が此の浮彫を見る時、其の中に表明せられた、全人類に對する同情と、觀察の如何に深奥なるかを知るであらう。そこには論爭せる僧や、當惑せる市參事會員、憂鬱なる遁世者や又勝ち誇れる高僧や、打ち痲痺せしめられた貧しい人や、教會に於ける莊嚴や、信仰に於ける奇蹟に對する奥底の計り知り得ない同情の現れてゐる事よ！其れ等の樣々の像を刻み、樣々な衣服を着用せしめたり、豊かなる色彩や、奇妙なる形をせる墓石や、祭壇なぞや、森林に於ける入り亂れたる枝を宛ら實物の如く表明せんとするには、如何に多き智力と、自然に對する深き觀察力の用ひられし事を考へよ！

然れ共諸君は余が斯く言へば、答へるであらう、即ち此れは建築では彫刻であると。では諸君は其の兩者の間に存する、確固たる區別を說明し得るか。吾々は再び又最初から明白に考へて行かなければならない。余は今諸君が純粹の建築として承認するであらうところの見本を示さう。それは恐らく諸君が不純な建築物と呼ぶであらうところのあのノートルダム寺院の奇妙なる"Tympanum"の美しい寫眞がある。此の寫眞の裏に書かれてある此の圖を見よ。愼重なる態度にて熟視せよ、笑つてはいけない、諸君が笑ふのは不眞面目である。此れは古代建築である、余は英國百科全書の中に出されてゐた、建築論文の中から抜き出したものである。

然し恐らく諸君が此れ以上の如何なる意匠をもなし得なかつたとするならば、諸君は自分自身を特に巧なる建築家であると考へないであらう。否諸君が此れを諸君の好みに應じて如何なる宏大な釣合を利用して改良を施しても、又好きな樣に窓を明けても宜敷い。

然し吾々の純粹の建築の見本として必ず主張せなければならぬ事は、其れに如何なる操形や他の裝飾をも施してはならぬといふことである。そして諸君は斯くの如き『純粹の建築』を好まないだらう。吾々諸君の言ふやうに今少しの裝飾を欲するのであらう、そして其の裝飾をなしても吾々は異議を持つ筈はないのだ。扨諸君は其の裝飾を諸君自身で設計するのであるか、それとも頭を働かすことなく模寫するのであるか。

若しも諸君が其の意匠を頭から絞り出だすに模寫することを好むなれば、諸君は其の對稱となるべき典據があればよいのであつて、諸君の想像力は全然靜止して活動せなくなるのである。然し反對に諸君が其の裝飾を自身で設計するとしたならば、如何に意匠すればよいのか？諸君は其の嗜好に基いて其の形を畫き、そして石工に其れを刻むべく命令をする。

扨諸君は斯くの如く紙上に其の意匠を畫き圖を作つてから、これを刻む爲め工人に與へるのと、一つの彫像の衣服の折目を畫いて此を工人に彫刻せしむることの論理的差異を知つてゐるか？後者の方は、前者よりも此れを實行するには困難な事である。然し或る事件の困難の度合

こいふものは、其の事件を專門的に區別をなすことは出來ない換言すれば其の困難の度合によつて其の種類の差異を定め得ない。

然して諸君は、建築と彫刻との差異の定義として『建築といふものは容易な事をなすもので彫刻とは困難なことをなすものである』といふ論說は認めることは出來ないだらう。

又次の事は認め得るであらう。『即ち衣服の曲線は、其の衣服を表現してゐるが、建築に於ける "Moulding" の曲線は何物も表現してゐまい』こいふ事である。然し此れに依つて諸君は建築と彫刻との間の差異を辯明することは出來ないだらうし、又『彫刻とは意味ある美術にして、建築とは意味を持たない美術である』こいふやうな說は尙更成立せない論說である。

然らば其の差異如何、恐らく諸君は答へるであらう。『吾々自身がるがく事が出來、それを命令通りに正確に刻ましめることの出來る凡てのものを建築的のものと吾々は考へ、吾々が其れを工人の隨意に任せたり、或は他の設計家の監督に任せなければならぬ樣なものは單に裝飾的と呼び、若し其れが建物の重要なる部分ではなく、多少外裝的であり附加的のものであれば特に彫刻と呼ぶべきである。』と。

此の定義を承認するとしても、此のことは余が前に述べた『容易なるものを建築と呼び、困難なることと彫刻と呼ぶ』こいふことを唯擴大せるもので、何の違ひもないのである。如何となれば、吾々は彫刻を置くべき場所の排列といふことが彫刻それ自身の如く困難であり、又彫刻それ自身の如くデザインの必要であるものとは思はれないではないか。

例へば諸君はピサの洗禮堂内にあるニコロピサノの說敎壇を知つてゐるだらう。此れは彫刻を施せるパネルを以て圍まれてゐる、貴重なる七つの面から成つてゐて、大理石造りの柱の上に支へられてゐる。諸君はニコロピサノの名聲——少なくとも此の說敎壇に依つて得られた名聲——は彫刻せられたパネルや或は浮彫によるものであると思ふか？彼はパネルの彫刻の樣な小さいことでも此れを工人に委ねることを好まず自分の手でなしたのである。然し諸君は彼が其れを困難であるとか、又は其の仕事に大なる確信を持つてゐたとは考へないだらう。一度びそれが完成せられてしまへば其の周圍の線なぎは、彼にとつてはほんの小兒の戲れの樣なものである。又柱の直徑を決定したり、キヤピタルの高さを定めることなぎは微々たる事柄である彼の最大の仕事こいふものは、キリストの磔刑像を彫刻したり、洗禮の像を刻むことである。

或は、又諸君はフロレンスにある、サンミシエル寺院の（註十）オルガニアが造れる禮拜堂を回想するだらう、これも又豊かなる樣々な薄肉彫や此れを圍んでゐる彫刻せられたパネル及びモザイツクの柱、天蓋を支へてゐる葉形のアーチより成り立つてゐる。オルガニヤとピサノの精神は勿論偉ふであらうが、若し彼等の靈魂が此の一瞬間に吾々の面前に現はれることが出來るならば、彼は彼の名聲が其の葉型裝飾にあるこか、其のパネルに於て滿々たる高慢を感ずるなぎ、物語るであらうか？否そんな事はない。彼等の靈魂は死せる處女メリーの橫はれる寢臺の圍りに立つてゐる。うなだれたる人々の姿の中に打込んであるこ語るであらう。

（註十）彫刻と建築に秀でたる伊太利フロレンスの畫家

又最後にアミアン寺院の門の上にある禮拜行列を意匠せる人を、諸君は劣等なる工人こ考へて下位に置いてよいか？

彼等の上には建築家こいふものがあり、自分の思ふやうに腕を振ふことが出來ず、或る制限内に自分を制御したり、僧正は斯樣な法律を裁き、賢者は斯く〳〵の拐杖を持たねばならぬこ一々建築家の命令を受けたものと考へてよからうか？否々其の彫刻された楯の上こそ初めて神

の御手の宿るところであり、其の所こそは神の御心の中心なのだ。又其の處から其れに從屬して初めて恰も波のうねりの如く莊嚴なるアーチが架け渡され、尖塔が聳へ立つのである。此れらの事が成し得られる人、人類の表狀や活動を石の上に刻むことの出來る人であるならば、其の餘の事（梁であらうが、壁龕であらうが、アカンザスの如き葉飾りであらうが柱にせよ——は、ほんの彼の手を遊戲の如く動かし、彼の意想の從屬的な働きで充分である。そして若しも諸君に此れ等の仕事をなす天賦の才能があり、此の正面の浮彫の如く刻むことが出來るならば余は諸君に次の事を敎へるであらう。

『諸君が其の著想力を充分發揮せしむる限り、此の英國の地上に恰も夏の午後雲の間々より迸り出づる驟雨のごとく、速かに大寺院の尖塔があちこちにも聳へ立つ事であらう』

此れに反對して諸君は再び言ふであらう、『今日の彫刻家は、寺院の設計なんかせないし、又出來ないのだ』と。然うである、彼等には設計するだけの力がないのだ。然しそれは吾々の建築といふものが、美術家達が其の高尙な智識の中へ建築上の貧弱な、そして普通一般的な智識を加へ入れる事を望まぬやうになつたが爲めである今日に於ては建築と彫刻とが分離して返つて兩方共無自覺な狀態に落ち入つてしまつてゐる。吾々建築家の働きといふものが唯單なる機械的の連續せる無味なものになつてしまつたが如く彫刻家も其の技術を永く述續する大事業に打込んで、其の力を伸すことも出來なくなつてしまつた。

吾々建築家と彫刻家とは本質的に一心同體であり、常にそうあらねばならぬ。そして兩者の働きが異ふのは恰も畵家が其の時代〳〵によつて、時には小さいカンバスの上に繪筆を走らし又時には大宮殿の壁の上に繪くが如く、其の働く方面の異るが如きものであると考へねばならぬ。

吾々の到達した以上の結論は何時かは到達しなければならぬ必然的のものであつて、次の事は變ずべからざる事實である『諸君の想像力や又諸君の心の中に存してゐる他の凡ての力を如何なく發露せんと欲するならば右の大建築家の如く、先づ諸君は彫刻家にならなければならぬフヰヂアスやミケランジエロ、オルカニヤにせよ、ピサノ、チオツトなどの一人として彼等の鑿を用ふることが出來なかつた者があるか』

『それは困難な事だ、吾々とは方面違ひの事だそんな事は出來そうもない』といふかもしれない。

余は困難な事はよく知つてゐる。だが然し偉大な事は何でも容易なものではない。諸君が彫刻を學ぶことなく、唯建築のみを學んでゐる間は、どうしても諸君の道には偉大な事はやつて來ないだらう。

余は諸君の進路に此れを置かうとしてゐる、故に諸君は此れに向つて進むべき路を發見しなければならぬ。然し一方に於て誤解して完全なる彫刻の技能が必要であると考へて、建築といふ課業に恐れを抱く樣になつてはならぬ。建築と彫刻とは離すべからざるものではあるが彫刻の種類の中でも建築的なものがある、そして此れを適用する多くの場合にては比較的容易なものである。現今吾々が石を取扱ふ場合に於て（即ち彫刻を施す場合に於て）吾々の働きをしてそれらの石を大變複雜なものにせなければならぬと思ふのは大きい間違ひである。それは頂度吾々の書物の中にある揷畵の總てをラフアエルの繪の如く立派なものにしたいと要求するが如きである。（註十一）ジョン・リーチはレオナルドダウヰンチの樣に上手にスケッチをなすことは出來ない、とは雖も諸君は公衆が彼を輕い輕蔑の目を以て視、最も適する方向に向つて彼の才能を働なせるのを惡い事だなどゝいつてもよいと考へるか？たとへ彼が謙遜して諸君らの忠

告を聞くことしても、諸君は彼に版木をすてゝカンヴアスを取れといつても宜いだらうか？。それは宜くないことだ。又彼がレオナルドの如くよく畫くことが出來ないからといつて彼に人物畫などは少しも畫かずに、たゞ定規を以て直線ばかりを引き、コムパスを使用して圓のみを畫いて居れ、といふのも宜しくないことだ。そんな忠告をするのは諸君の損失になるばかりだ。次週の『パンチ』紙が平行線のみで滿たされ、外に何も掲げなかつたならば、諸君は如何に當惑することだらう。そしてしかも諸君は彫刻上のデザインを全く棄てることは恰もリーチに平行線や圓のみを畫かせるのと同じ事で、それは諸君にはリーチの秀でたる畫才を無にする如く大なる損失である。諸君はフヰヂアスの如く彫む事が出來ない事を感知して、たゞ刳型（ルーリングマシン）(Moulding)のみを畫いてゐるのだ。扨今日の文明の世に於て最も貴く考へられてゐるところの所謂中庸的の作品(即ち勢力といふもの)といふものは——即ち何千人の人々と雖も容易に熟達し得、何十萬人の人々と雖も見て色々と翫賞し得る位な表現を有する通俗的作品といふものは——たゞ紙と、そしてインキに於ては現代文明の最も重要なる原動力であり、最も要求せられ資源物として貴ばれてゐやうとも、一度び石の上に及ぶ時は全く其の跡を見認めないであらう(無價値のものである)

(註十一) パンチ紙の執筆者にして英國の有なる諷刺畫家

扨て、こゝに余が諸君に特に注意していたゞきたい一つの問題がある。即ち一方に於ては純粹な完全なる彫刻とは區別され、他方に於ては單なる幾何學的裝飾とは異つてゐる建築的彫刻に特有の資格とでも言ふところのものが存在せなければならぬといふことである。

先づ第一番に大概の作品が見られる場合に於て其の距離に應じて、諸君の氣儘、即ち詳細部の省略を許されるといふ事に注意せなければならぬ。今吾々が極度の精密さを以て其の眼や、唇を刻んだところの彫像があつたとして、若しも此れが大變高所に置かれてしまへば、忽ち効力もなくなるのである。然し此の場合に於て其の作品が高く取上けられることによつて其の美點を消してしまふと同じく、欠點も亦此れに依つて分らなくなるのである。

距離といふものによつて、自然を生ずるところの不可思議であり、又混亂を來すところの或る力は、屢々最も卓越せる技能でさへも忽ちにして無價値なものとなしたり、又屢々最も大なる欠點をも凡んご分らない樣にしてしまふものである。

否其れ以上に、深い切みや荒々しい角などが屢々距離を置いて見られた場合に返つて驚愕と誠實の表現に想期もしなかつた程の成功を見るものである。斯くの如く單なる距離といふ力によつて、生命のなき仕事に生命を與へ、若し其れが少しでも生命を有するものであるならば、其の施工の欠點を軟化して、其の生命を一層目立たしめ、且つ一層力强くするものである。幸にも諸君達は建築家として、此の奇妙なる利益を有する境遇に置かれてゐるのだから、此の事を充分考へながら、充分其の想像力を働かせ、諸君の欲する表現をなすべく最大の努力をなすべきである。若し此れらの事を諸君が失つてしまふならば誰一人として諸君を注視せないだらう、反對に若し諸君が一心に此れ等に努力を向けるなれば、其の時こそは、自然の賦けが與へられ、陰影の千差萬別や、日光の輝きを以て諸君の想像力をして更に新しき局面に突進せしめることだらう。

然し建築的彫刻の特典は此の不完全といふのみではない、諸君の想像力を働かす事に於ては眞に大なる特典を持つてゐるものである。部屋を飾る爲め、あちらの塲所から、こちらの塲所へと容易に動かし得る家具に彫まれてゐる彫刻

即ち『家具彫刻』――今適當なる名辭が分らないからそう呼んで置く――よりも遙に勝れた所が具はつてゐる。

人が其れらの家具に施かされた彫刻を見る場合などには大抵は平靜な、そして平凡なる心の狀態に置かれてゐる時である。又それらは宏壯なるものよりも、むしろ華美なものに加へられるものである。そうして此れらを見る人の心は何物かを知らうとする好奇心よりも、安樂を願ふといふ境遇に置かれるものである。食卓の廻りに立つてゐる揃の衣服を着けた給仕があちこちとちらつく間々に眼に止まる彫像即ち此れを見た時に感傷的な心に向はせる爲めに置かれた彫刻は、其れ自身に哀感の念を起さしめるやうな強い要素を持つてゐなければならぬ。又客間の談話最中に眼にとまる彫像は、其の物自身に畏敬の念を起さしめる樣な要素がなければ、人をして客室特有の畏敬の念を起さしめる事は出來ない。然るに諸君達が作るところの建築的彫刻を眺める人は既に刺戟され易く、想像に富める氣分になつてゐるものである。彼等は其の寺院の大玄關の彫刻を訪ねる前に既に其の低い道路の上の方にポツト見へてゐる此の寺院の壁を眺めたゞけで最早心の中に何か感じさせられてゐるのだ！そうして圓天井の下に立つて、其の上に浮び上つてゐる彫刻を理解する前に、既に僧庵に入つた時、其の庵の靜寂と日光の陰に包まれてゐるのを發見した時、神秘を求むる心は何物かに打たれてゐるのだ！それ故に人々が諸君達の作品（即ち彫刻）の前に立つて眺め初めた時には、唯中途まで調和させられてゐる彼等の想像力をいやが上にも增し、畏敬の念をより一層強め、其の周圍の光景の神秘にして莊嚴なるによつて既に鼓舞せられてゐるところの不思議なことに對する期待を滿足せしめたり、するのみである。此れ以上の事は要求せないのである。

斯くの如くにして、諸君の彫刻の外形が多少不整頓な事や、諸君の想像の馳せ過ぎたものでも、或は又形狀や陰影の多少突飛なものでも、大部分は返つて觀視者の氣分に一致して分らなくなるものである。それ故に見る人は諸君の欠點を見出さうとして彼の判斷力を働かすよりも其の彫刻の意味を完全にすべく其の爲めに返つて彼等の想像力を働かすことを好むものである。尙ほ其の上に、彼等の想像力や、感情が强き刺戟を受けてゐる時には、刺戟を受けない平靜の時に於ては全く氣が付かなかつたがかやうな歡喜をもつて、ほんの微々たる物をも注意して見るやうなにるものである。諸君は確かに此れ迄に、諸君の感情が何か强き刺戟を受けた時には、眼前の物體の詳細なる部分が自然と不可思議な程の激烈さと、强迫とを持つて、明らかに見へ出すものであるといふことを知つてゐるだらう。そうして、それは諸君が欲しやうが、欲しまいが、避けることの出來ない樣な魅惑の力を以て、諸君達の眼に迫り、心を驅立てることだらう。

扨吾々の想像力が、或る强き刺戟を受けた時も、幾分此れに似た感覺となるものである。刺戟を受けない時には取るにも足らぬことでも、說明することが出來ない樣な威嚴さを生じたり重要な事となる。そうして其の說明しがたい奥深い感じがより一層力を增すものである。激烈なる刺戟物によつて鼓舞せられた、斯くの如き物事に對する注意力は、最も微々たる事や、意思の最も遠い、最も輕微なる面影にまでも、其の働きを及ぼすものである。

それ故に彫刻の細工が平常に於ては多少、野卑的であり、又不屬的なものであつて、倦怠の眼で見たり、批判的な立場から此れを見れば、全く完全な風情を有せない樣な彫刻物でも、其の人の想像力が激動を蒙りたる爲めに、何事をも知りたいといふ樣な、考究的氣分が覺め、物事に對する注意力が盛んになつてゐる時には、却つて愉快な感じを與へたり、崇高なものにさ

へ見へるものである。

此れ即ち諸君が與へられてゐる、大いなる利益である。扨諸君が彫刻をやる初期に於ては未熟の爲め、簡單なる、農夫の姿や、又高尙なる聖餐式の樣子を完全に寫すよりも、特種な衣服や、人物の極く微細なることを寫す方が確かに容易なことであらう。然して諸君が完全に表現し得ない崇高なる品位、單純なる姿は、たゞへ此れを諸君が完全に表現し得たとしても、熱中せる想像に伴つて生ずるところの氣早やな好奇心に對しては、全く空虛なものとなつてしまふであらう。そして科學的な研究に對しては少しも生じないところの同情心といふものは、却つて無邪氣な研究に對して生じるものである。それ故に一般觀察者の心といふものは骨格の學理的に正確か否や、こか又は身振の適當や否やなどには感ぜなくとも、諸君が髮毛の群がりや、衣物の模樣を、立派に彫み出したのを見る時には忽ち溺好と悅びを以て感動することであらう

尙ほ其の外に、次の事を知らなければならぬ即ち其れ等の彫刻が組合はされたる、大建築物の形姿といふものが、其の觀察者の想像力を鼓舞するのに役立つのみならず、更に、其の彫刻が必然的に從はねばならぬ、建築的法則といふもの、爲めに、自ら激烈なる研究心を鼓舞することゝなる。即ち彫刻に用ひられる、唐草模樣や、他の辨飾りなどの總ては、觀察者の想像中に、單に美しいものとして映ずるものではなく不思議なもの、即ち研究すべきものとして映ずるものである。直接にこれを見るところの人は其の中に、此れを刻んだ人が一心に表現しやうと努力した、優美といふものが完全に現はれてゐるか、どうかといふことばかりではなく、合致させやうと一心に努力した必要條件によく一致してゐるか、どうかといふことを、必ず注意して見るものである。そうして斯く〳〵の場所を、有樣的形式の如何なる手段を持つて滿たすべきか、如何なる浮彫や緣飾りを以て、生命ある像とするには如何になすべきかといふ問題は製作者たる諸君のみの問題ではなく、觀察者に對しても興味深き感嘆の情を促す問題である。

若しも醜惡なる一寸法師や、見苦るしい惡鬼などが天使の傍に集つたり、コーベルの上に蹲づいたりしてゐる時には、其の形狀や、身振りや、そして容貌の完全なる表出といふものは省略し得るものである。そうして其他の場合に於ても局部〳〵の完成に必要なる技倆が少なからず欠乏してゐるにしても、若し其の配置が精妙なる場合には、諸君の手の働きの粗暴は機智の銳敏といふものによつて償はれて——即ち技術の粗暴が工夫の巧妙によつて補はれ——大變良く見へるものである。

扨今迄吾々には、建築に於ける想像力の發展に有利なる事柄に關してのみ論じ來たつたのであるが、より一層重要な問題が殘つてゐるのであつて、それは想像力の內容となるものに就いてである。

吾々の想像力といふものは、其の取扱ふ物、換言すれば即ち材料となるべき物、に正比例して強くなるのであり、又吾々が物を見ることの範圍が增せばそれに比例して、吾々の想像し得る物の範圍も增すものであるといふことは明らかな事であつて、此れを證據立てる爲めに貴重な時間を浪費する事は好まないのである。

扨以上の事を承認して、其の次に考へなければならぬ事は、吾々が建築の取るべき題材に於て吾々の想像力を自由に働らかせ得る範圍とは如何なるものであるかといふ事である。

凡んど總ての他の美術といふものは各自其の主題に於て制限がある、例へば風景畫家は美しい人物の容貌からは何等の魅力をも受けないのである。又歷史畫家は、大自然即ち草木鳥獸の樣々な事變からは左程迄の利益をも蒙らないのである。まして純粹の彫刻家は普通なる人生の小さい部分からは如何なる利益をも受けないも

のである。

然し吾々の視界に映ずるもの或は意想の範圍中に現れるもの、一として諸君に役立たぬものがあらうか、或は又諸君の興味をそゝり、建築的彫刻に役立たないものがあらうか。

恍惚たる天使の幻影から、戯れる小兒の重要ならざる身振に至るまで、神々が考へる天界の事も、人間達が見得る下界の事も、一さして無益なものではなく、研究に値するものばかりである。動物の生存せる此の王國の全體を通じて如何に強大なものでも、又ごれ程微弱なるものさ雖も之を研究して配分し、之を實際に應用する價値のないものは一さして存在せないのである。例へば獅子や、鰐魚は此れを應用するなれば、柱體の廻りに横たわらす事が出來、蛾や蟻は諸君の花の上に日なたぼつこをし、兒鹿は諸君の爲めに跳走し、諸君の爲めに蝸牛はのろ〳〵と這ふ。諸君の爲めに鳩は彼女の胸毛を滑らかにし、鷹は其の翼を南風に擴ぐ、亦植物界の凡てのものは諸君の爲めに花を開き、其の莖を屈む、ぶる〳〵震へてゐる木の葉は、諸君が全力を盡して雪の樣な眞白な大理石の上に刻んだ時、初めて靜かに止まるごだらう。荊棘は其の針の爲め邪惡なるものさして地上に築かれたものであるが諸君にさつては忠實なる召使ひである。終末に近づきつゝある、色あせた花瓣や又凋みかゝつた卷鬚なご、そんなつまらぬものでも、諸君にさつては、何か役立つものである。

盛裝して開花を誇る花木でさへ、其の紫色の王位を離れて、諸君の手によつてなされる薄き色なせる不朽の榮譽を望んでゐる、如何に卑しいごでも、如何につまらぬごでも、諸君の手を觸れる事に依つて、眞實にするごが出來ないものであらうか？凡そ生を享けてゐるものにして諸君に教訓を與へ、諸君に何か贈物を與へないものはないのである。

諸君が烏の羽毛の强さに見厭きたさき、木の葉の柔かさに見厭きた時には自由に、河岸に出で、見る事も、或は又人込みの多い市場に行く事もよろしい。其處に落ちてゐる破れた大網の一片ですら、諸君の Moulding の參考さなら ないものはない。河岸に難破せる筵の一片でも打碎かれた籠の切れ片でさへも、諸君にさつては、石疊飾りや、キヤピタルに應用出來ないものは一つもない。若しも諸君が足で踏み躙つた多くの砂を集中し、碎かれた石を研究の眼を以て見る時は、其の凡んご眼には映じないが樣な碎片の中にも、諸君の圓天井の狹間飾りの形に充分應用出來ないものはないのである。そうして諸君は森林もて高山を覆ひ、高塔を以て市街を飾る事が出來るが如く、灰を轉じて美しいものさなし、塵を轉じて價値あるものと化する事が出來るのである。

以上の如く諸君の仕事に於ては如何なるものも良い材料であり、享樂の範圍は非常に廣い。然しそればかりではなく、それ以上に、此れ等のものを解剖して細かに調査したり、分解したりするごこが出來るのみならず、此れ等に對しては同情心さいふものが生ずるが故に、そこに想像力の道德的部分とでも呼ばれるものが發生するのである。扨て若しも吾々が唯々線といふものにのみ熱中して其の配合なごばかり考慮してゐなければならぬのならば、恰も天國の如き大自然の事物に親んでゐる、博物學者に對して嫉妬心を起すごごだらう。然し若しも吾々が、線の配合ばかりに熱中する事なく、彼等が研究中に、大自然の中より受ける感情を、同じく受けるごこが出來るさ考へるならば、少しも羨しい事はないのである。例へば今博物學者がありさして、其の學者が今大理石の細片を色々さ研究する時、其の紫色は鐵分が如何程包含せられてゐるか、又其白色は其のマグネシヤを如何程含んでゐるものであるかさいふ樣な事を一見して直ちに考へるごこであらう。そうして其の學

者は研究すべく其の大理石を細かく碎き、一日の研究が終末を告げる時には、彼の塒坩は細かに碎かれた大理石を以て滿たされるであらう。而して幾らかの研究された論據が其の學說上に加へられるのみである。然し諸君は、其の大理石に無限の同情を捧げて向ひ、その美しさに對して大いなる歡喜を覺へるのである。諸君は其の大理石を、ほんの少しばかり碎くことだらう然しそれはより一層完全なる石理即ち形態を生み出さんが爲めである。太陽が正に其の姿を西山に沒せんとし、諸君の一日の勞働が終りを告げる頃、諸君は其の技倆の完全に對して大いなる喜びと安緒の胸をなで下ろし其の大理石の柱を永遠なる後世に殘す事だらう。されば諸君が石に注目する代りに、動物を注視する場合も之れと同樣である。今若しも彼が最も從順なる博物學者であるとすれば、彼の身邊にゐる生きた動植物を見る時は大いなる喜悅を感ずることであらう。然れども彼の研究せんとする主要部分といふのは、動物の羽を計算したり、其の纖維を分離したり、其の體の構造を解剖したりすることである。然れ共諸君の仕事は、自然の神が造られた活き物其のまゝを對稱物としてゐるのである。諸君がそれから得る所のものは、彼等の生命であり、其のさまよひ廻る生活狀態である。

彼等の骨骼が如何程の細胞より成り立つてゐるものであるか、又其の羽毛が如何程の纖維を有するものであるか等は諸君にとつては少しも問題ではないのであつて、諸君の求めなければならない事は、彼等の生寫的性質であり、彼等の身のふるまひである。即ち若し諸君の想像力が健全に發達を遂げてゐるものであるならば、彼等を眺めた時、何よりも先づ第一に堅かりとそれを捉へる事であらう。そうして諸君が手にせる鑿に大なる力が溢れ、活潑なる力が含まれてゐるならば、他よりも先づ第一にそれを刻み込む事だらう。

諸君は、其の刻み上げる鷹の體中に、眞物の鷹も恥ぢらう標疾の勇を吹き込まねばならぬ、諸君の『ライオン』の中に獸の王なるべく、威風堂々たる氣慨を吹込まねばならない諸君の鷹に對しては、氣遣ひながら小躍する優しさを刻み込まねばならない。それ故に、それらを成就せんと欲するならば。諸君は其の鷹に對して絶へず同情心を持ち、獅々と共に手を携へ、鷹と共に大いに親しまなければならない。然して諸君は其れ等の卑しい動物に親しくなることは取りも直さず自分の人格を卑しくするものであるなぞゝ想像してはならない。

それらのものに親しみを感じない者こそ自分よりも高尙なものに對して親しみを感じ、理解する事は出來ない者なのだ。然り女王でも、王樣でも殉敎者達でも、そして天使達をも了解して、そして親しくならなければならないのだ。大地のあらゆるものに親しくしなければならないのだ。諸君の心さへ兩手を擴げて受け入れる事が出來るのだつたら、宇宙のあらゆるものも力强い印象を與へることだらう、而して街路を行き交ふ人の顏さへも諸君にとつては印象を殘すことだらう。

混沌の中より世界が生れ出でたる時より、今日迄の全歷史は皆諸君の眼前に開放せられてゐる。そうして子孫から子孫へと積み來つた過去の歷史が暗示してゐる、高遠なる思想やそうして美しい理想をも諸君には與へられてゐる。無限の神話や、そして傳說を有せる大地——木々は歌うたひ、靑空は澄み渡る美しい大地——は皆諸君に開かれてゐる。晝尙小暗き森の中に嘗て現出せる森の精靈や、小高き山上に現れし山の精靈をも諸君にとつては、此れらを語り傳へ來たつた過去の人々の性情を判斷するに一とし て役立たないものはないのだ。

天國は開かれたり、天國にて成される天人の事業も開放せられてゐるのだ、天界の事業をそ

のまゝ眞實に、諸君の子孫に傳達するならば、諸君は天子の一人として其の聖業に參加してゐるが如く想像する事が出來るであらう。

そうして諸君の作品が後世の人々にとつて如何に批評せられるか、又如何なる影響を與へるものだらうか、そうして永久に後世迄傳へられる可能性があるか、そんな事を考へ來る時は諸君の仕事の一層重要にして、責任の大なるを感ずるであらう。吾々は屢々賢人達から教へられてゐる、『吾々の口から出す言語に對して責任を負はなければならぬ』と。然し其の言語を聽く人の數はほんとに少なく、そうして直ぐに忘れられてしまふものである。然し諸君の語り出だす言語は、多くの人々が耳を聳だてゝゐる、そうして決して忘れられないであらう。即ち諸君が全力を用ひて建てた建築物はその前を行き交ふ人の心に語り、そうして忘却されることがなく五六百年以上も傳へられるのだよ。

そうして若し諸君の同情心が多少でも欠乏し其の空想が我がまゝであつたり、諸君が面白半分で石を刻んでゐたり、大自然の樣子を忠實に表現してゐないものならば、その影響はたとへ諸君の肉體が墓場に入つてしまつてからも永く〳〵全く數へ切れない程、多數の人心を害する事であらう。著述家は世の審問に對しては辯護したり、又世の中から全く忘れられてしまふ事もあるだらうが、諸君はそんな抗辯も、そんな憂ひも全くないのだ。唯だ充分莊大に建て充分大膽に彫れ、然らば期せずして世人は等しく耳を傾ける事だらう。そうしてごうしても此れに限を向ける事だらう。

斯樣な事を言つて余は諸君達を威嚇する譯ではない。諸君は四方に、多くの目擊者を持つてゐるが故に決して冗談半分でやつてはならぬ、決して華美であつたり、輕々しく仕事をしてはならぬなど、諸君に要求するのではない。此れに反して余は最初から、諸君の仕事、即ち建築といふものは、特に諸君達各人の性質に差違があるものであつて、其れらが相寄り、相救けて仕事を完成するものであると言つてゐるのである。若し其の人が冗談好きの人であつたなら、それは冗談を言つてもよろしい、若しも其の人が數學的才能に富んでゐる人であるならば、其の問題も何の苦もなく彼の才能を働かして解決するも宜敷しい。

就中、諸君は自分の仕事を仕方なしにやるのではなく、自發的に、苦痛とは思ふことなく、反對に樂しく遂行するのでなくてはならぬ。然らづんば其の仕事が出來上つた後に、世人に何の悅びも、利益をも與へないものである。諸君が一度び感激して、其の仕事に向ふ時、其の感激に最も高尙なる刺戟によつて生じ、常に其れが中心になつてゐなければならない。

其の刺戟とは即ち愛の事である。

諸君がなしつゝある技術に對する愛、諸君が生活しつゝある天心萬物に對する愛、諸君が交しつゝある人に對する愛、此の三つの愛の事である、余は再び呼ばう。

一、諸君が前進しつゝある道に對する愛

二、諸君の生活しつゝある世界に對する愛

三、諸君が交りつゝある隣人に對する愛

一、先づ第一に諸君が進みつゝある道に對する愛に就いて言はう。

今若し、諸君の行動を支配する動機といふものが、諸君の美術に對する愛ではなく、其れ以外に何か心中に潛んでゐるものとすれば、最早諸君の仕事は水の泡となつてしまふものである。

私は決して諸君に向つて金を欲してはならぬ各聲を求めてはならぬ、地位を望んではならぬとは要求せないのだ。たゞ左樣に要求したところで、諸君は此れ等の三つを求めないでおられやうか。？否（若しも神々しい愛といふ言語を俗用的意味に使用するものとすれば）諸君は三つとも愛してもよいだらう。それを熱中する位欲してもよいのだ。然し此れ等三つのものを

欲し、愛する事を第一義的に考へてはならない

強烈なる感情家や、想像力の所有者達は一般的に、或る物を求め初めると、偉大なる熱心さを以て、此れ等を求めるものである。然しそんなことはどうでもよい、要するに彼等が、それを第一義的に考へてゐるものであるか、第二義的の欲求であるかといふ問題である。

諸君の美術が諸君を導くのであるか。又は諸君の利得が諸君を導くのであるか？

諸君は金錢を積み上げるのに熱中しても宜敷しい、然し若しも諸君が其の仕事を完全にして五百磅を失ふか、或は五百磅儲けて、其の建物を傷め役立たないものになすかと言ふ一の岐路に立至つた時、利に走り、其の建物を無益に歸するならば最早諸君は終りなのだ。

次に諸君は、恰も蟋蟀が乳脂に對して離れがたき終着を持つてゐるが如く、自分の美名に對して離れがたき終着を持つてゐるとも、其れは宜敷しい。然し若しも群がり集り來る愚民達を悦ばすべきであるか、それとも諸君が此れは成さなければならない正當な事であると信じゐる事を成すべきかを決定せねばならぬ時に際して而して其の兩方を成す事が出來ない時に當り、諸君が美名に迷ひ、前者に隨ひ世の喝采を博せんとするならば、最早諸君は最後である。そうして再び救はれる事はないだらう。そうして出來上つた作品は、其の前を通り過ぎる人の瞥見するだに價値のないものとなつてしまふのである。

斷定は絶對的のものであり、不可避的のものである。諸君にとつては美術が第一義的のものであるか？然りとすれば諸君は美術家である。たとへ諸君が大山の如き金滿家にならうとも、そうして貪慾此の上もない高利貸になつてしまふとも、或は又絶大なる名聲を博し、嫉妬深くなり、そうして高慢になり、劣しい人間にならうとも、諸君が其の聖き仕事に傷をつけまいといふ心を失はない間は、諸君は美術家と云へるのだ

是れに反して、金や、名聲を第一義的のものといふのか？若し然りとすれば其の金錢を以て如何程慈悲深く施さうとも、又如何程莊嚴であらうとも、又諸君が其の名聲を護得する方法に於て、如何に優美であらうとも、自分よりも目下の者には禮儀正しく、目上の人には歡迎せられやうとも、決して諸君は美術家ではない。諸君は機械であり、あくせくと働くのみである。

二、諸君は諸君が活動しつゝある世界を愛しなければならぬ。吾々が一つの作品の性質を正しく且つ其れを奥深く感知するといふことは、全く其の作品の中に作品の深い〳〵感情の溢れてゐるのに動かされたが爲めである。

此の奥深い感情を諸君が作品の中に吹込みたいと欲する時、毎時でも瞬時に其れを得る事が出來るやうな、そんな容易な事ではないのである。それは平時に於て物事を出來るだけ正しく感知するべく努力することの習慣の結果として初めて完成する事が出來るのである。然して此れをなす事には、多くの方法があるが、其の中で余が特に諸君に是非共指命したき方法は、諸君の心の中から瑣々な、そうして卑しい心配事を清らかに除き去つてしまふ事である。

ぐんな事をなすに當つても、決して懸念してぐず〳〵してはならぬ、臆病であつてはならぬ。小さい煩悶や小さい欲望を以て、諸君の頭腦を充滿してゐる樣ではいけない。世の中には偉大なる美術家でありながら、尚且つ目前の利に走り、貪慾となり、或は嫉妬深くなつたり或は其他樣々な、厄介な紛擾に動かされて、其の身を沈めてしまふ人もある。前にも言つた如く諸君はそんな樣々な厄介な擾ぎに一日中清らかな心を使つてゐてはならぬのである。

諸君が金を貯へる事の習慣を持つてゐる事もあるであらうし、又何か大きい災難の時に際して、諸君の競走の相手に對して、誘惑に屈服し

不正なる批評を加へるといふことも有り得る事であらう。――而して斯様な事に於てさへ、諸君の力は縮まり、諸君の視界は朦朧となつて行くのである――然しそんな無意識的の習慣や一時的の過失よりも、もつと〳〵恐ろしい事は常に小さい感情にのみとらへられてゐるといふ事である。何某氏は自分の作品を好むであらうかどうかといふが如き――必ずしも他人に對する不正な感情や懸念ではないにしても、自分の想像力を充分に活動せしめるのに障害となるやうな瑣々な感情や心配が最も恐ろしい事である。

其れ故に、諸君は常に諸君の眼を正しく開いて、心を安靜に、そうして常に平和に保たなければならない。何某氏が諸君の作品をどう考へやうとも、そんな事は問題ではない。そんな事を心配する時間があつたなれば、鳥は如何にして彼女の巢を造り上げるか、又あの街角で遊んでゐる無邪氣な子供達はどうして石投遊戲の支度を整へるかといふ事こそ一層重大な事件である。そうして諸君が自分自身の利益といふ事に迷ふ事なく、小鳥が彼女らの巢を造り、子供達が石投けの遊びをしてゐるのに氣を附けるやうになるには、諸君が半平に於て、其れ等の小鳥や、子供を愛し、且つ親しむやうな習慣を造つて置かなければならない。

此れ等の習慣が完成せられた時初めて、全世界が鏡の如く平靜な時でも、又あらゆる攪亂の眞最中であらうとも、諸君は全く自己の利害などは問題ではなく、全く自己の生活を捧げて一心に、其の事に當ることが出來るであらう。諸君の心は何時でも靜かに澄み渡つてゐるであらう。諸君に對して高尙なる感情を起さしめるやうな力を持つてゐるものであつたら進んで親しくしなくてはならぬ、又其の時其の事の爲め時間を空費するものと考へて惜んでゐてはならない、朝は早く床を離れなければならない。そうして東天高く昇る朝日を拜し、曉の雲の分れ行く樣を眺めるが宜い。滿空の希望に溢れた深紅色の高く昇る樣や、雲の分れる樣子が諸君の心中に勇き起るならば、諸君が彫像の衣服を刻まんとする時、平時よりも、一層優れた趣が湧き出づるであらう。

春は田園に生活すべきものである。若葉の發芽する樣や、日影に靜かに休息する樣や、急雨の一打ちに驚き動く樣子を、充分觀察するにあらざれば、諸君の葉飾りを如何に造るかを知らないだらう。就中諸君は高尙な人の顏かたちを充分に觀察し、且つ愛する習慣をつけなければならない。そうして其れ等の高尙なる容貌や、姿勢といふものは常に、老いたる人、貧しき人病める人の中に發見せらるゝ事を記憶しなければならない。而して諸君は最後に最もよい研究となるべきものは、強者の太き腕でもなく、若い美人の微笑でもない事を發見するであらう。彼等を觀察せんとする時、諸君が尊敬の念もて彼等を見る時、弱さに忍耐強く戰ふ者の方が強きに誇るよりもより高尙であり、美に誇るよりも貧に堪へるものゝ方がより氣高い事を見出す事だらう。そうして華々しく着飾れる人が立派に刻べる教會堂の特別席よりも、粗末を喪衣を着けた寡婦のゐる普通席に於て諸君が、此の會堂ポーチの上なる、天使達の姿の間に刻むべき最も適せる容貌を見出すであらう。

三、最後に且つ最も重大なる事は、諸君が相交りつゝある、凡ての人を愛せなければならないといふ事である。若し諸君にして彼等を愛する事が出來ないならば、諸君の人生の途上に起つて來る、如何なる問題にも、興味を感じないのみならず、何事にも唯表面上の事ばかりを視て少しも其の意味深き、眞精神を感知する事が出來ないだらう。

先づ諸君の心が、親切と、溫厚の情に滿ちてゐなければならぬ、さすれば諸君は落涙を以て曇れる暗い眼の中に、そうして堅實さを、以て青白く引締まれる顏面の中に、今將に、此の世

の逆運が取圍まんとする時、さながら消へ去らんとする燈火が將に東天の白まんとする頃、最後の强光をもつて燃へるが如く、迸り出づる、光輝ある忍耐の力を捉へる事が出來るだらう。然して若しも諸君が眞に偉大にして、且つ又親切なる人となる事が出來るならば、其の利益は唯是れば、かりではないのである。實際それは諸君が仕事をする場合に於て最も重要性を有する問題である。

諸君が莊大なる建物を造り、且つ高尚なる彫刻を以て此れを裝飾せんと欲するならば、先づ第一に諸君の此の事業は、諸君一人ではなく多くの人の組合的勞働に依らなければならぬといふ事を知るであらう　諸君は唯一人で一寺院の全部を彫刻する事は不可能である。諸君がなし得るのは、其のほんの一部分のみであらう。諸君の仕事は若し劣等 Mass なるを使用するなれば直ちに汚されしまふだらう。而して諸君は常に、從へる意匠家等を覺醒せしめ、且つ力の一致といふ事を計らなければならない。

若し諸君に天賦の才能が與へられてゐたとしたならば、諸君は一人で建築物の設計をなし、そうして自ら其の玄關の彫刻を刻み、他の部分も、此れに一致する樣に、其の配置、按排を指導する事であらう。然し其の次の細かい部分の彫刻なごは、諸君が一々完成する事は出來ないのであつて、是非共他人の勞働と、案出力とに信任するより外はないのである。そこで諸君には二つの事が殘されてゐる。即ち一も二もなく唯自分の思ふ通りにばかり動作せしめて、他人を機械の如く考へ、少しも其の人の意見などは考へずに服從せしめるか、それとも自分の力に對抗する樣な想像力のある人を選び出して、其の人の意見を許し且つ、自分の計畫に一致する樣に激勵し、其の人の名譽は、即ち自分の名譽であるごと考へるやうな態度をとるべきかと云ふ二つの問題である。

余はたゞへ、諸君が第一の態度を選ばうとも——諸君が、諸君の下に働く人の才能といふものを全然壓迫して唯機械的に働らかさんと努力しやうとも——諸君はそれで全く終りであるごと決定的に言ふ事は出來ないが、要するに最も重要なる事は、諸君の美術と、其の作品とである

諸君は、先づ自分自身の繁昌を求めなければならない。そうして第一に氣を附けなければならないものは、諸君の手腕である。余は諸君に對して決して嫉妬心を起こしてはならないごと云ふのではない。人間として生れて、來た以上、そんな人は無いといつてもよい位であらう。今こゝに諸君が永らくの經驗を以つても遂に完成し得なかつた仕事があつて、突然の事、經驗も何もない無名の一青年が何の苦もなく、其れを完成したといふ場合に、陰氣な心持で、悲しみに包まれて家路を辿るといふ事も赦さるべき事であらう。然し諸君の嫉妬心といふものが他の重要なるものを征服してはならない。

諸君の建物に對する愛は、此の嫉妬を征服せぬばならない。人に對する親切の心によつて清められなければならない。余は諸君に對して、諸君が不可能な如き、高き、困難な標準を示すのでは決してない、そうして余は諸君に全く自己を離れた寧ろ大な人となるべく要求するのではない。唯建物を愛する心と、親切の情とに依つて、諸君の優越とせるもの、即ち自己本位の心を清められん事を要求するのである。若しも諸君よりも、建築を飾るのに一層良く適せる人を發見したならば、直ちに愧ぢであるなごゝとは考へずに、自分の席を讓り充分其の人の才能を發揮せしめる樣に取計らなければならない。斯くの如き態度に出づる時は諸君は先づ第一に、彼の手に依つて一層美しくされた建物即ち記念物を見て、常に悅びを感ずる事であらう。第二には、自分の取りたる態度の親切の情に溢れ、公明正大なるを以て、大いなる慰藉の念を感ずるであらう。然して若しも諸君にして親切と公

明さを第一とするが如き、道徳的の強い力が倶はつてゐるならば、それは悦ばしい事である。そうして、それを別に親切とも、公正とも思はないで、唯人としてなすべき事であると考へるならば、もう此れ以上に悦ばしい事はない、最上の事である。實際吾々は人として此の世に於て御互に助け合ふといふことは、責務として當然すぎる程、當然なのである。諸君の下に働いてゐる人の優越せる才能のある事を見出し、此れを認めもせず、且つ此れを助成する事もせない人は單に親切の情の欠けてゐる人であるばかりでなく、重大なる罪を犯す人である。

然し、その動機がどうであらうとも、諸君は此れを實行せなければならないのだ。そうして諸君の技術は、他の人よりも、より廣大なる範圍を包括して居り、他の人よりも遙に多くの聽衆に話し掛け、他の人々よりも遙に重大なる役目を有してゐるものであるといふ事を意識して悦ばなければならない。斯くありてこそ、初めて神の子として、他の人々よりも一層蘊奥にして且つより神聖なものとなるのである、美術家といふものは、彼等の弟子達が、充分發育せられて一人前となつた時には、たとへ諸君と反對の立場にあらうとも、彼の特種の技倆を充分發揮するやうに助けてやらなければならない。

科學者達は御互に彼等の發明發見の優先權を奪ひ合つてゐる。そうして常に嫉妬の苦痛にさいなまれながら、孤獨の研究を續けて行くのである。それに反して諸君達は、親切により、必要により、公平により、凡ての人々と恰も兄弟の如く、樂しく働き得べきである。斯くてこそ初めて古の市街の住居の上高く、霧深き中に聳へ立つ寺院の尖塔も、現今の大厦高樓も、吾人が感ずるよりも、より一層深奥く且つ誠實なる意義を持ち來る事であらう。

人々は呼ぶであらう、吾々の高塔は天に向つて高く〳〵聳へてゐると、然らば草木鳥獸は如何であるか。總ての木は、天高く發育し、あらゆる鳥獸の口より出づる囀り聲は皆天へ上つて行くではないか。人々は再び呼ばん。

吾々の廻廊は莊嚴にして崇拜すべきであるとそれが何か、凡ての山の峰や海の畤つ岸は皆莊嚴なものではないか。否々吾人の榮譽とするものは特別になくてはならぬ。聳へ立つ強大なる壁は盡く、御互に弱きを救ひ合ひ、御互に愛し合ひながら、樂しく協力して當るところの人の手によつて築き上げられたものである。それらの組合はされた、圓天井の石は盡く人類の親和力といふ強大なる『アーチ』の上に基礎を置いたものである。或は高く、或は低く、市街に立てる尖塔の美徳は人類の精神的調和よりして、其の整齊統一の原理を教へるものである。

余が言ふ事ふべからざる榮譽とは即ち此れである。（終り）

昭、二、六、四



本誌定價表

本紙	冊數	定價	郵稅
	一冊	七拾五錢	貳錢
	十二冊	九圓	貳拾四錢

（毎月壹回一日發行）

昭和三年八月廿九日印刷
昭和三年九月一日發行

發行兼編輯人 兵庫縣武庫郡本山村字北畑 薦田夏次郎

兼印刷人 大阪市東區內淡路町一丁目七番地

印刷所 大阪活版所

發行所 大阪市西區土佐堀通一ノ一大同ビルヂング 社團法人 日本建協會

電話土四二六五番
振替口座大阪三九九七五

特約販賣店 大阪市西區京町堀羽手板橋北 柳々堂書店

電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ振替又は爲替にて前金御拂込被下度候



會員瀨戸文吾氏昭和三年五月二十七日病を以て逝く寔に哀悼に禁へず茲に照肖と略歷を揭げ謹で弔意を表す

氏は慶應三年十一月九日宮城縣加美郡廣原村城生裏四番地に生る

明治二十六年私立工手學校土木、建築の兩科を卒業せられ爾來工學博士横川民輔氏經營の諸事業に關係し就中横川橋梁製作所に創始擔任し專務取締役として今日に至る

猶ほ大阪鐵工業同業組合創立當初より委員、幹事理事、副組長等に擧られ斯界に多大なる盡力をなし、更に我日本建築協會創立以來會員となり常に協會の發展に大に努力せられ理事に當選すること二回或は委員會の幹事、委員となり、我建築界の爲盡力せられしこと鮮からず、昭和二年四月頃より病に罹り東京に於て靜養せられしも五月二十七日遂に逝去せらる壽享年六十二歲

社團法人日本建築協會會報

委員會

定款改正調査委員會經過報告

○第一回委員會

昭和三年二月十七日自後五時至同七時半

出席者

德政　金吾　橫濱　勉　浦　英之助
野呂長四郎　前島　浩一

記事

一、本夕は初回の委員會に付橫濱氏假座長となり本委員會設置の理由等常務會の經過に付說明し先づ委員長及幹事の互選を行ひ左の通決定せり

委員長　池田　實氏
幹事　德政金吾氏

一、次で調査方針及方法等に付協議し先づ一般會員より改正意見を徵し之を資料として調査研究に取りかゝることに意見一致せり

是に於て一般會員より意見を求むる方法に付協議したる結果別書案の通にて片端書を使用し隨意意見の送付を願ふことに決定但し本月末日迄に右意見書を取纏めること

一、懇談に入り橫濱氏の私見として協會の組織變更に付て在來の縱斷的、階級的組織を橫斷的になすこと等の意見、其他各委員の協會の將來に付意見の交換をなし散會せり

一、會員へ意見照會の案文左の通決定

拜啓愈々御淸祥慶賀の至りに存じます扨て當協會に於て今回本員會を設け定款改正に關する調査研究を致すことになりましたに就ては本件に付會員各位より弘く御高見を拜承致し其材料に資したいのでありますから本月末日迄に御意見腹藏なく當委員會宛舊つて御申越を願度右御依賴申上ます

昭和三年二月二十一日

社團法人日本建築協會
定款改正調査委員會
委員長　池田　實

追て本協會定款は會員名簿卷頭に揭載致してありますから爲念申添へます

○第二回委員會

昭和三年三月十四日自後五時至同七時半

出席者

德政　金吾　橫濱　勉　前島　浩一

記事

一、會員より提出の意見書に付調査し意見の交換をなし左の通決定

會員提出の意見を定款條項別に分類して表を作製し次回委員會に於て逐次研究すること

一、次回委員會は來月より德政幹事に於て決定すること

○第三回委員會

第三回委員會昭和三年五月一日自後五時半至同七時

出席者

德政　金吾　野呂長四郎　前島　浩一

記事

一、會員の定款改正意見に付逐條審議を進め大體左の通に決定を見たが尙次回再審議のこと

第三條　本會は事務所を大阪市西區土佐堀通一丁目一番地に置く

高木眞太郎氏改正意見

『本會は事務所た大阪市に置く』と改むること

法文に依る屆出の必要上所在を明記するを要するに付高木案不贊成

現行通決定

第六條　本會は學識、經驗ある建築家を以て會員とす

橫濱勉氏同上

『本會は左の各號の一に該當するものを會員とす』

一、建築に關する專門家
二、建築に關係ある業務又は職務に從事する者
三、建築に關係ある業務に從事する法人
四、建築に關し特に趣味を有する者』

と改むること

本條改正は尙攻究の餘地あり次回まで保留のこと

第七條　本會は其の事業を援助する者を贊助員とす

贊助員を分ちて左の四種とす

一、名譽贊助員　地位又は學識ある名望家

二、終身贊助員　建築に關係ある事業家にして第十二條所定の金員を本會に寄附せるもの

三、特別贊助員　建築に關係ある特種の技術家又は事業家

四、普通贊助員　建築に關係又は趣味を有するもの

橫濱勉氏同上

『本會は其の事業を贊助する地位又は學識ある名望家を名譽會員となすことを得』と改むること

德政委員同上

現在の終贊及特贊を會員とすること

橫濱案保留のこと

德政案贊成

第九條　名譽贊助員は評議員會の決議に依り會長之を推薦す終身贊助員又は特別贊助員たらむとする者は會員二名以上の紹介を以て申込書を本會に提出すべし其の諾否は常務會の決議を以て之を定む

普通贊助員たらむとする者は會員一名以上の紹介を以て申込書を本會に提出し常務會の承認を受くべし

橫濱勉氏同上

『名譽會員は評議員會の決議に依り會長之を推薦す』と改むること

橫濱案保留のこと

第十一條　會員たるの承認を得たる者は入會金五圓也を本會に納め會費年額金十八圓也を本會に納むべし

但し地方に居住する會員の會費は半額とす

横濱勉氏同上

『會員たるの承諾を得たる者は入會金五圓也を本會に納め會費年額金十八圓也又は一時金三百圓也を納むべし

但し地方に居住する會員の會費は半額とす』と改む事

坪井誠一氏同上

『第十一條中に左の一項を加ふること

會員洋行又は入營したる場合は其の期間中の會費は免除することを得』

横濱案保留のこと

坪井案贊成

第十二條　終身贊助員は金三百圓以上を本會に寄附したるものとす

特別贊助員は特別贊助費年額金十二圓也を普通贊助費年額金九圓也を本會に納むべし

横濱勉氏同上

第十二條削除　以下追次一條づゝを繰上ぐ

横濱案保留のこと

第十三條　會員又は贊助員にして退會せしむる者は其の旨を本會に申込むべし

横濱勉氏同上

「會員又は贊助員」を「會員又は名譽會員」に改むること

横濱案保留のこと

第十四條第十五條第十六條中

横濱勉氏同上

「會員又は贊助員」を「會員」に改むること

横濱案保留のこと

第十七條　本會に理事三名以上監事二名以上常務十名以上及評議員三十名以上を置く

評議員は總會に於て理事及監事は評議員會に於て會員中より連記無記名投票を以て之を選擧し常務は評議員會に於て互選す

評議員外より選はれたる理事及監事も亦評議員とす評議員選擧の投票の連記は十名とし其の投票用紙は本會より配布せるものに限る

役員の選擧に於て同數の投票を得たるもの二名以上あるときは年長者を以て上位者とす

横濱勉氏同上

『連記無記名投票を以て』の字句を削除

『評議員の選擧は單記無記名投票とし其の投票用紙は本會より配布せるものに限る』と改むること

木村寛一氏同上

評議員選擧投票の連記十名は三名乃至五名と改むること

坪井誠一氏同上

評議員選擧投票「連記」は「單記」に改むること

舟橋俊一氏同上

「會員中より連記無記名投票」を「會員中より單記無記名投票」と改むること

「評議員選擧投票の連記は十名とし其の」の十七字削除

松室重光氏同上

選擧の制を單記無記名に改むること

德政委員同上

監事は總會に於て選擧すること從て第十七條第二項を左の通り改む

「監事及評議員は總會に於て理事は評議員會に於て會員中より單記無記名投票を以て之を選擧し常務は評議員會に於て互選す」

横濱案保留のこと

木村案不贊成

坪井、舟橋、松室、德政の諸案贊成

第十八條　理事監事及常務の任期は一ケ年とす

松室重光氏同上

「一ケ年」とあるを「二ケ年」に改むること

松室案不贊成

第二十條　理事中より會長一名、副會長二名を評議員會に於て之を選擧す

會長は會務を總理し本會を代表す

副會長は會長を補佐し會長事故あるときは其の職務を代理す

理事は一般の會務を掌理し本會の事業を執行す

常務は會務に從事す

横濱勉氏同上

『理事中より會長一名を評議會に於て之を選擧す

（第二項其儘）

會長事故あるときは他の理事其の職務を代理す』

松室重光氏同上

「副會長二名」とあるを「副會長一名と」改むること從て第十七條を改正すること

會長、副會長の選擧方法を明確に規定すること

德政委員同上

理事を五名に增すこと從て第二十條を左の通改む

第二十條第一項中に「連記無記名投票を以て」の字句を加へ同條第四項中に「但し會長及副會長事故あるときは其の職務を代理す」の但書を加ふ

横濱、松室兩案不贊成

德政案贊成

第二十四條　總會員數の三分の一以上評議員會は評議員數の常務會は常務數の二分の一以上出席するに非されは成立せず但し招集再度に及ふときは定數に依らざることを得

通常總會に於ては會員は自ら會場に出席するに非されは會議に與り又は表決を爲すことを得す但し評議員の選擧投票は之を送付することを得

臨時總會の議事は會員を招集せすして書面を以て之が表決をすることを得

横濱勉氏同上

（第二項）『通常總會に於ては會員は選擧を除く外其の權限を他の會員に委任することを得但し選擧投票は之を送付することを得』と改むること

坪井誠一氏同上

「通常總會に出席し能ざる者は委任狀に

より代理者を定め表決出來得る樣改むること」

高木眞太郎氏同上

「總會に於ては會員は會場に出席し不能の場合は委任狀を以て出席會員をして代理表決を爲さしむることを得但し評議員の選擧投票は之を送付することを得」と改むること（第二項）

松室重光氏同上

第一項中「會員數の三分ノ一」とあるを「六分ノ一」に改むること

高木案の內「總會に」を「通常總會」と改めて同案賛成

橫濱、坪井、松室諸案不賛成

第二十六條　本會の資產は會費、賛助費寄附金其の他收入より成るものとす

橫濱勉氏同上

「賛助費」を削除

橫濱案保留のこと

第二十八條　本會の豫算は通常總會に之を附議し決算は次年度の通常總會に之を報告し其の承認を經るものとす

坪井誠一氏同上

但書を追加のこと

「總會に於て承認を得たる豫算內に於ける項目變更流用は評議員會の決議に依りなすことを得」

坪井案の「評議員會」を「常務會」に改めて同案賛成

第三十條　本會創立の際に於ける元日本建築協會會員及賛助員は本會の會員及賛助員とす

橫濱勉氏同上

「本定款改正執行に際し本會の會員又は終身賛助員たりし者は會員に名譽賛助員たりし者は名譽會員とす」

（本項を第三十一條とすること）

第三十條として左の項を設くること

第三十條　本定款の改正は昭和三年十二月開かるべき通常總會より之を適用す

現在の第三十一條、第三十二條は削除

橫濱案保留のこと

松室重光氏一般的改正及希望

役員選擧に關する細則を設くること（投票用紙は地方會員に限り郵送し、其他は會場に於て交付すること用紙の紙質、大さ、形狀、記載の方法、投票箱監理其他の方法等詳細に規定すること）

希望として改正意見は之を纏めて會誌に報告し更に會員の充分なる研究の餘地を與ふること

松室氏希望第二項會誌發表のこと賛成

二、委員辭退申出の件

委員波江悌夫氏より四月七日口頭を以て公務多忙且病氣の故を以て委員辭退申出ありたるに付協議の結果承認のことに決定

○第四回委員會

昭和三年六月十三日自後五時半至同十時

出席者

池田　實　德政　金吾　橫濱　勉

浦　英之助　前島　浩一

記事

一、前回に引續き逐條審議に入り左案を得

社團法人日本建築協會定款改正案

第一章　總則

第一條　現行通

第二條　同上

第三條　同上

第四條　同上

第五條　同上

第二章　會員

第六條　本會は左の各號の一に該當する者を會員とす

一、建築に關する專門家

二、建築に關係ある業務を營む者

三、建築に關係ある業務を營む法人

四、建築に關係ある特殊技術の專門家

五、建築に關し特に趣味を有する者

第七條　本會は地位又は學識ある名望家にして本會の事業を賛助する者を名譽會員とす

第八條中「申込む」を「申出つ」に改む

第九條　名譽會員は評議員會の決議に依り會長之を推薦す

第十條　現行通

第十一條　會員たるの承認を得たる者は入會金五圓也を本會に納め會費年額拾八圓也又は一時金參百圓也を本會に納むべし

第十二條　會員にして地方に居住する者の會費年額は前條規定の半額とす

會員にして洋行又は入營したる者の會費は其の期間中之を免除することを得

第十三條　會員にして退會せむとする者は其の旨を本會に申出づべし

第十四條　現行通

第十五條中「退會」の次に「し」を加ふ

第十六條　現行通

第十七條第二項中「評議員」の上に「監事及」を加へ「及監事」を削り「連記」は「單記」に改む

同條　第三項中「及監事も亦」は「は」に改む

同條　第四項中「評議員」の次に「の」を加へ「の連記八十名として其の投票」を削る

第十八條中第二項中但書を削る

第十九條　現行通

第二十條第一項中　「評議員會に於て之を選擧」を「互選」に改む

同條　第三項の次に左の一項を加ふ

一會長、副會長共に事故あるときは他の理事其の職務を代理す」

同條　第五項中「に從事す」を「を分掌す」に改む

同條　第六項は第二十二條に加ふること

第二十一條　現行通

第二十二條　第四項中「會長之を招集す」を「之を開く」に改む

同條　第四項の次に左の一項を加ふ

評議員は他の條項に定むるものの外左の事項を審議す

一、豫算及決算

二、支部の豫算及決算

三、財產の處分

四、其の他會長に於て重要と認め附議したる事項

第二十三條　現行通

第二十四條　は次回の委員會にて尚研究して各腹案を持寄りのこと

第二十五條中「財産」を「資産」に改む

第二十六條　第一項中「賛助費」を削る

第二十七條　現行通

第二十八條　現行通

附　則

第二十九條　現行通

第三十條　現行通

第三十一條　削除

第三十二條　削除

○第五回委員會

昭和三年七月二十八日自後五時半至同九時

出席者

池田　實　德政　金吾　橫濱　勉

前島　浩一

記　事

一、前回の本委員會に於て大略審議したるも尚、更らに逐條審議に入り左の成案を得

社團法人日本建築協會定款改正案

第一章　總　則

第一條　現行通

第二條　現行通

第三條　現行通

第四條　現行通

第五條　現行通

第二章　會　員

第六條を左の通修正

本會は左の各號の一に該當する者を會員とす

一、建築家

二、建築に關係ある業務を營む者

三、建築に關係ある業務を營む法人

四、建築に關係ある特殊技術家

五、本會の目的に共鳴する者

第七條　原案通

第八條　原案通

第九條　原案通

第十條　現行通

第十一條　原案通

第十二條　左の通修正

會員にして地方に居住する者の會費は年額金九圓とす

會員にして洋行又は入營したる者の會費は其の期間中之を免除することを得

第十三條　原案通

第十四條　現行通

第十五條　原案通

第十六條　現行通

第十七條第一項中「理事三名」を「理事五名」に改め「常務十名以上」を削る

第三章　役　員

同條第二項中　左の三案を得次回更に決定のことに決す

第一案（德政氏案）

監事及評議員は總會に於て、理事は評議員會に於て、會員中より單記無記名投票を以て之を選擧す

第二案（橫濱氏案）

理事・監事及評議員は總會に於て會員中より單記無記名投票を以て之を選擧す

第三案（池田氏案）

評議員は總會に於て、理事及監事は評議員會に於て、會員中より單記無記名投票を以て之を選擧す

第十八條　原案通

第十九條　現行通

第二十條　に付ては左記項目を加除して德政幹事之が條文作成を一任さる

一、常任幹事理事を設け其任期は三ケ年位とし有給となすこと

一、常務を削除

一、委員制を設け現在の編輯常務に代りて編輯事務に當ること

第四章　會　議

第二十一條　現行通

第二十二條　大體原案通とし通常總會の十二月は尚研究すること

第二十三條　現行通

第二十四條　總會は會員數の三分の一以上出席するに非れば成立せず但し招集再度に及ふときは定數に依らざることを得

評議員會又は理事會に出席することを得ざる評議員又は理事は他の評議員又は理事に委任して表決の數に加はることを得此の場合に於ては之を出席者と見做す

第二十五條中「總會及役員會」を「會議」と改め「財産」を「資産」と改む

第五章　資産及會計

第二十六條　現行通

第二十七條　會計年度に付ては其決定を次回まで保留のこと

第二十八條　現行通

附　則

第二十九條　現行通

第三十條　本定款改正の際に於ける名譽賛助員は名譽會員に會員、終身賛助員特別賛助員及普通賛助員は本會員に轉格するものとす

○第六回委員會

昭和三年八月二日自後五時半至同八時

出席者

池田　實　德政　金吾　橫濱　勉

記　事

一、前同に引續き繰返し逐條審議に入り愈々最後の案として左記の通成文す

二、引續き細則の審議に移り定款改正の樣式に則り順次改正して左記成案を得

三、常務會報告の件

改正案は報告書を作りて會長宛直ちに報告すること報告書案左の通

定款改正調査委員會報告書

本定款改正調査委員會は本年二月十七日より八月二日に至る間六回に亘り別紙添付議事錄の通慎重審議調査を遂げ左の通改正案を議了し候條此段及報告候也

昭和三年八月三日

定款改正調査委員會

委員長　池田　實

日本建築協會

會長　片岡　安殿

社團法人日本建築協會定款改正案

第二章　會員及賛助員中「賛助員」を削る

第六條　本會は左の各號の一に該當する者を會員とす

一、建築家

二、建築に關係ある業務を營む者

三、建築に關係ある業務を營む法人

四、建築に關係ある特殊技術家

五、本會の目的に共鳴する者

第七條　本會は地位又は學識ある名望家にして本會の事業を援助する者を名譽會員とす

第八條中「常務會」を「理事會」に改む

第九條中「賛助員」を「會員」に改む

第十一條中「金拾八圓也」を「金拾貳圓也又は一時金參百圓也」に改め但書を削る

第十二條　會員にして地方に居住する者の會費は年額金九圓也とす

會員にして洋行又は入營したる者の會費は其の期間中之を免除することを得

第十三條中「又は賛助員」を削り「申込む」を「申出づ」に改む

第十四條中「又は賛助員」を削る

第十五條中「又は賛助員」を削り「退會」の次に「し」を加ふ

第十六條中「又は賛助員」を削る

第三章　役員

第十七條第一項中「三名」を「五名」に改め「常務十名以上」を削る

同條第二項中「評議員」の上に「監事及」を加へ「及監事」を削り「連記」を「單記」に改め「し常務は評議員會に於て互選」を削る

同條第三項中「及監事も亦」を「は」に改む

同條第四項中「評議員」の上に「監事及」を加へ「評議員」の次に「の」を加へ「投票の連記は十名とし其の」を削る

第十八條中　第一項を左の通改め同條第二項中但書を削る

理事及監事の任期は一ヶ年とし常務理事は四ヶ年とす

第十九條第二項に左の但書を加ふ

但し常務理事に付ては此の限に在らず

第二十條第一項中「を評議員會に於て之を選擧す」を「及常務理事一名を互選す」に改む

同條第三項の次に左の二項を加へ第四項第五項及第六項を削る

會長、副會長共に事故あるときは他の理事其の職務を代理す

常務理事は一般の會務を掌理し本會の事業を執行す

第四章　會議

第二十一條第一項中「常務會」を「理事會」に改む

第二十二條第四項中「常務會」を「理事會」に改め「會長之を招集し」を「之を開く」に改む

同條第五項を左の通改め第五項の次に左の一項を加ふ

評議員會は他の條項に定むるものの外左の事項を審議す

一、豫算及決算

二、支部の豫算及決算

三、資產の處分

四、其の他會長に於て重要と認め附議したる事項

理事會は理事を以て組織し會長に於て必要と認めるとき之を開く

第二十四條第一項中「評議員會は評議員數の、常務會は常務數の二分の一以上」を削る

同條第二項を左の通改む

總會に出席することを得さる會員は他の會員に委任して表決の數に加はることを得、此の場合に於ては之を出席員と看做す

同條第三項の次に左の二項を加ふ

評議員數の理事會は理事數の二分の一以上の出席するに非れば成立せず但し招集再度に及ふときは定數に依さることを得

評議員會又は理事會に出席することを得さる評議員又は理事は他の評議員又は理事に委任して表決の數に加はることを得此の場合に於ては之を出席員と看做す

第二十五條中「總會及役員會」を「會議」に改め「財」を「資」に改む

第五章　資產及會計

第二十六條第一項中「賛助費」を削る

附則

第三十條　本定款改正の際に於ける名譽賛助員は名譽會員とし終身賛助員、特別賛助員又普通賛助員は會員とす

第三十一條　削除

第三十二條　削除

社團法人日本建築協會細則改正案

第二條中「申出す」を「申出つ」に改む

第三條中「補助」の次に「金」を加ふ

第四條第二項中「常務會」を「理事會」に改む

第五條第一項中「賛助員」を「名譽會員」に改む

第六條第一項中「賛助員」を「名譽會員」に改む

同條第二項中「常務會」を「理事會」に改む

同條第三項中「常務會」を「理事會」に改む

第七條中「及賛助費」を削る

第八條　役員の定數は當分左の通とす

理事　七名

監事　二名

評議員　五十名
定款第十七條第三項の評議員は前記定員外とす
第九條　役員は名譽職とす但し常務理事は之を有給となすことを得
第十條中「常務會」を「理事會」に改む
第十一條中「常務會」を「理事會」に改め「き評議員會は必要に應じ隨時之を開」を削る
社團法人日本建築協會定款（參考の爲改正後のもの）
第一章　總　則
第一條　本會は建築の進歩發展を圖るを以て目的とす（現行通）
第二條　本會は社團法人にして日本建築協會と稱す（現行通）
第三條　本會は事務所を大阪市西區土佐堀通一丁目一番地に置く（現行通）
第四條　本會は總會の決議に依り必要の地に支部を置くことを得
支部に關する規程は細則を以て之を定む（現行通）
第五條　本會は左の事業を行ふ
一、建築に關する諸般事項の調査研究
二、會報、雜誌及圖書の刊行及發賣
三、建築に關する智識の普及
四、住宅改善に關する調査研究
五、其の他建築に關する有益なる事業（現行通）
第二章　會　員
第六條　本會は左の各號の一に該當する者を會員とす
一、建築家
二、建築に關係ある事務を營む者
三、建築に關係ある業務を營む法人
四、建築に關係ある特殊技術家
五、本會の目的に共鳴する者（全條改正）
第七條　本會は地位又は學識ある名望家にして本會の事業を援助する者を名譽會員とす（全條改正）
第八條　會員たらむとする者は會員三名以上の紹介を以て入會希望書及履歴書を本會に提出すべし其諾否は理事會の決議を以て之を定む（一部改正）
第九條　名譽會員は評議員會の決議に依り會長之を推薦す（全條改正）
第十條　會員たる資格は第十一條所定の入會金を納め會員名簿に登錄せられたる時より生ず（現行通）
第十一條　會員たるの承認を得たる者は入會金金五圓也を本會に納め會費年額金拾貳圓也又は一時金參百圓也を本會に納むべし（一部改正）
第十二條　會員にして地方に居住する者の會費は年額金九圓也とす
會員にして洋行又は入營したる者の會費は其の期間中之を免除することを得（全條改正）
第十三條　會員にして退會せむとする者は其の旨を本會に申出つへし（一部改正）
第十四條　會員にして本會に對する義務を怠り又は本會の體面を汚すと認むへき行爲ありたる者は評議員會の決議に依り之を除名することあるへし（一部改正）
第十五條　會員にして退會し又は除名せられたる者は本會の資産に對し何等の請求をなすことを得ず（一部改正）
第十六條　退會其の他の事由に依り會員たるの資格を失ひたる者は既納の金員又は物件の返還を求め若は其の債務を免るることを得ず（一部改正）
第三章　役　員
第十七條　本會に理事五名以上監事二名以上及評議員三十名以上を置く
監事及評議員は總會に於て、理事は評議員會に於て、會員中より單記無記名投票を以て之を選擧す
評議員外より選ばれたる理事は評議員とす
監事及評議員の選擧投票用紙は本會より配布せるものに限る
役員の選擧に於て同數の投票を得たる者二名以上あるときは年長者を以て上位者とす（一部改正）
第十八條　理事及監事の任期は一ケ年とし、常務理事は四ケ年とす
評議員の任期は二ケ年とし毎年其の半數を改選す
役員は任期滿了するも後任者の選任に至る迄其の職に在るものとす（一部改正）
第十九條　役員に缺員を生じたるときは之を補選す但し評議員會に於て其の必要なしと認めたる場合は此の限に在らす
補選せられたる役員の任期は前任者の殘期間とす但し常務理事に付ては此の限に在らす（一部改正）
第二十條　理事中より會長一名、副會長二名及常務理事一名を互選す
會長は會務を總理し本會を代表す
副會長は會長を補佐し會長事故あるときは其の職務を代理す
會長、副會長共に事故あるときは他の理事其の職務を代理す
常務理事は一般の會務を掌理し本會の事業を執行す（一部改正）
第四章　會　議
第二十一條　會議は總會、評議員會及理事會の三種とし更に總會を通常及臨時の二種に分つ
會議は會長之を招集し其の議長となる（一部改正）
第二十二條　總會は會員を以て構成す
通常總會は毎年十二月之を開く
臨時總會は評議員會の決議に依り必要と認めたるとき若は會員五十名以上の請求ありたるとき之を開く
評議員會は理事會の決議に依り必要と認めたるとき若は評議員十名以上の請求ありたるとき之を開く
評議員會は他の條項に定むるものの外左の事項を審議す
一、豫算及決算
二、支部の豫算及決算

三、資産の處分
四、其の他會長に於て重要と認め附議したる事項

理事會は理事を以て組織し會長に於て必要と認めたるとき之を開く（一部改正）

第二十三條　通常總會の招集は書面を以て七日間以前に其の會議の目的たる事項を示し會員に通知すべし但し再度招集の場合は此の限に在らず（現行通）

第二十四條　總會は會員數の三分の一以上出席するに非ざれば成立せず但し招集再度に及ぶときは定數に依らざることを得

總會に出席することを得ざる會員は他の會員に委任して表決の數に加はることを得、此の場合に於ては之を出席員と見做す

臨時總會の議事は會員を招集せずして書面を以て之が表決をなすことを得

評議員會は評議員數の、理事會は理事數の二分の一以上出席するに非されば成立せず但し招集再度に及ぶときは定數に依らざることを得

評議員會又は理事會に出席することを得ざる評議員又は理事は他の評議員又は理事に委任して表決の數に加はることを得、此の場合に於ては之を出席員と看做す（一部改正）

第二十五條　會議の議決は出席員數の過半數を以てす可否同數なるときは議長之を決す但し定款の變更又は資産の處分に關する議決は出席員數の三分の二以上の同意あることを要す（一部改正）

第五章　資産及會計

第二十六條　本會の資産は會費、寄附金其他の收入より成るものとす

資産管理の方法は評議員會の決議を以て之を定む（一部改正）

第二十七條　會計年度は毎年一月一日に始り十二月三十一日に終る（現行通）

第二十八條　本會の豫算は通常總會に於て之を附議し決算は次年度の通常總會に之を報告し其の承認を經るものとす（現行通）

附　則

第二十九條　本定款執行に關する細則は總會の議決を經て別に之を定む（現行通）

第三十條　本定款改正の際に於ける名譽賛助員は名譽會員とし、終身賛助員、特別賛助員及普通賛助員は會員とす（全條改正）

參考　社團法人日本建築協會細則（改正後のもの）

第一條　會員五十名以上居住する地方に於ては支部を設置することを得（現行通）

第二條　支部の設置せむとするときは發起人を定め其の地方居住會員過半數の賛成を得區域を指定し其の規約草案竝會員名簿を添付し本會に申出つへし（一部改正）

第三條　支部には其の經費として其の支部所屬會員の納付する會費の三分の一以内の補助金を交付す（一部改正）

第四條　本會は必要なる事項を調査研究する爲委員會を設置することを得

委員は理事會の詮衡を經て會長之を指名し委員長及幹事は委員中より之を互選す

委員長は委員會を整理し幹事は庶務を掌る（一部改正）

第五條　本會は會報及雜誌「建築と社會」を毎月一回一日に刊行し之を會員及名譽會員に配布す

本會の發行する雜誌及圖書は廣く之を發賣することあるへし（一部改正）

第六條　本會は建築に關する智識の普及會員及名譽會員相互の親睦を計る爲毎月一回例會を開く

毎年四月及十月の例會は之を大會とす但し理事會の決議に依り之を變更することを得

理事會に於て必要と認めたるときは臨時に例會を開催し又は中止することを得（一部改正）

第七條　會費は之を六期以内に分納することを得（一部改正

第八條　役員の定數は當分左の通とす

理事　七名
監事　二名
評議員　五十名

定款第十七條第三項の評議員は前記定員外とす（一部改正）

第九條　役員は名譽職とす但し常務理事は之を有給となすことを得（全條改正）

第十條　會長は會務を補助せしむる爲理事會の決議を經て有給書記及傭員若干名を置くことを得（一部改正）

第十一條　理事會は毎月一回以上之を開く（一部改正）

第十二條　本則は總會の決議に依り之を變更することを得（現行通）

轉勤轉居

會員

濱田　理一君　港區八幡屋町一ノ一
朝香　茂君　横濱市中區本町一神奈川縣廳建築場大林組出張所
野中　實君　熊本市大江町九品寺二四四
置塘　章君　神戸市榮町二丁目山口ビル四ノ六
橋詰　直明君　住吉區阿倍野町一〇六
渡邊　義三君　尼崎市別所村地田六二
高橋　種夫君　西淀川區大仁本町二ノ六一
佐藤止次郎君　西淀川區大仁本町一ノ二〇
永野　房吉君　東京府荏原郡馬込村平張一〇九六
田邊　平學君　兵庫縣武庫郡住吉村大藏一四一六
岩淵　文治君　名古屋市中區横三ツ藏町一ノ四
中村源太郎君　兵庫縣武庫郡今津町今津

西中畑八二八

岩崎甚太郎君　名古屋市中區南長島町一ノ四三菱銀行名古屋支店

建築場大林組廣小路出張所

普請

伴仲　信次君　東京市麻布區廣尾町一八

近藤家別邸建築場

鹽谷　兵吾君　東京府下大森山王道免一八七〇常藤方

田中新之助君　京都市上京區車屋町丸太町下ル

森本　胖藏君　天王寺區勝山通一ノ一八

野口　修二君　港區市岡町市場通一ノ七

清水方

阪本　佳明君　東成區森小路今市町九六九

寄贈雜誌

電氣評論　每號　其　社

都人　每號　其　社

學士會月報　每號　學士會

建築世界　每號　其　社

朝鮮と建築　每號　朝鮮建築會

セメント界彙報　每號　日本ポートランドセメント同業會

住宅　每號　住宅改良會

建築雜誌　每號　建築學會

工政　每號　其　會

經濟資料　每號　東亞經濟調查局

土木建築　每號　其　社

建築新潮　每號　洪洋社

大阪工業倶樂部　每號　其　部

通俗衛生　每號　大阪府衛生會

帝國鐵道協會報　每號　其　會

工業評論　每號　其　社

電氣學會雜誌　每號　其　會

鐵道軌道經營資料　每號　鐵道同志會

趣味ノ園藝　每號　關西園藝會

土木建築之日本　每號　其　社

工業ト社會　每號　東京工業會

工業　每號　大阪工業會

滿州建築協會雜誌　每號　其　協會

庭園と風景　每號　日本庭園協會

圖書室月報　每號　東京市政調査會

大阪工業倶樂部　每號　其　部

エンヂニヤリング　每號　其　社

工業要錄　每號　其　發行所

名古屋工業會々報　每號　其　會

大阪　每號　大阪都市協會

都市問題　每號　東京市政調査會

新建築　每號　其　社

京都の實業　每號　京都商工會議所

都市創作　每號　其　會

木材彙報　每號　大阪木材協會

建築學研究　每號　其　會

大阪土木建築業組合報　每號　其　組合

木材新聞　每號　關西木材商報社

工業新聞　每號　其　社

日本建材新聞　每號　其　社

日本建築士　每號　其　會

東洋建材時報　每號　其　社

朝鮮鐵道協會會誌　每號　其　協會

住宅　每號　其　研究社

超科學　每號　大阪綢島工業會

建築業協會々報　每號　其　協會

建築畫報　每號　其　社

土木建築工事畫報　每號　其　社

工業之大日本　每號　其　工場能率動力之節約　每號　增進研究會

役員

會長　理事　片岡安

副會長　理事　宗兵藏

副會長　理事　野村一郎

監事　池田實

監事　松本禹象

常務　主記　橫濱勉

常務　同　坪井誠一

常務　同　和田貞治郎

常務　主計　浦英之助

常務　同　吉井長七

常務　同　岡部顯則

常務　同編輯　本間乙彥

常務　波江悌夫

常務　八木幸次郎

常務　同　木村寬一

建築事務所案内

（次第不同）

池田建築事務所

所長

建築學士 建工學士 池田實

所＝大阪市西區西道頓堀住友ビル
電話櫻川1144・3724
宅＝大阪市住吉區上住吉町174

建築設計竝監督

大阪建築所

大阪市北區中之島七丁目十七番地
河野ビルデング
電話土佐堀（特長二二八〇番）六一〇三番

パナエロアー・オブ・サイエンス
カリホルニヤ州公認建築士
建築士 伊藤文四郎
建築士 熊澤榮太郎

大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルディング第八階

橋本建築事務所

建築士 工學士 橋本勉

電話土佐堀九三八番

大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルディング第四十一號

建築設計監督 小笠原建築事務所

電話北二一五五、二一五六番

建築士 小笠原鉚（マスイ）

住所 大阪市此花區西島町北濱住宅二一〇號
電話土佐堀三二〇四番

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビルデイング三階K室

岡部建築事務所

建築士 岡部顯則（アキノリ）

電話土佐堀五三二三番

大阪市北區中之島宗是町一〇
中之島ビルデイング

和田建築事務所

建築士 和田貞治郎

電話土佐堀七三二三番

東京市丸ノ内郵船ビルヂング六階
電話丸ノ内23二九八一番
大阪市北區堂島大毎ビルヂング五階
電話北四〇六四番

片岡石本建築事務所

工學博士 片岡安
工學士 石本喜久治

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險建物三階
電話本局二九六四番

横河工務所

工學博士 横河民輔
工學士 松井貴太郎
田中綱

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

宗建築事務所

建築士 工學士 宗 兵藏
建築士 須川廉太郎
工學士 大倉三郎

大阪市西區本田町通リ一丁目四九ノ七
住友銀行川口ビルヂング四階十六號室
電話長西三四三三番

國枝工務所

工學士 國枝博

大阪市東區高麗橋筋二丁目
高麗橋野村ビルヂング六階

安井建築事務所

電話本局二〇七二番

建築士 工學士 安井武雄

建築事務所案内

（次第不同）

鐵筋コンクリート建築

設計監督計算

大阪市東區瓦町山口ビルヂング

増田建築事務所

工學士 増田清

電話本局 {2673 / 3176}

東京市本郷區本郷三丁目八番地

建築土木設計監督

眞水工務所

電話小石川三九六三番

建築士工學士 眞水英夫

工學士 野田六次

大阪市北區眞砂町四十一番地

眞水三橋建築事務所

電話北二〇四一番

早大工學士 松下由藏

太田正之

神戸市下山手通六丁目七六

電話元町二六七一番

設樂建築事務所

建築士 設樂貞雄

工學士 設樂貞三

支配人 木村梅次郎

西原式 汚水淨化裝置

專賣特許 第四二五九二號 新案特許 第四三三二一號 第六一三五四號 第六二三〇二號

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する尠なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

國産優良品

パイロット衛生器具



C W 50 — A

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、

（御申越次第カタログ進呈）

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆様に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

大阪市北區中之島五丁目三十番地

西原衛生工業所大阪支店

電話土佐堀 三七一八番 七八一五番

京都市下京區萬壽寺通不明門東入

京都出張店

電話下一三四五番

營業所 名古屋

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地
三丁目拾三番
電話局北一一五七番

大阪市東區農人橋二丁目十二番地
合名會社 大阪橋本組
代表者 橋本政吉
電話 東一五八〇番 長東一五八一番 東一七五三番

龍岡縣小倉市大阪町十丁目百廿二番地
九州支店
電話長四三〇番

東京市日本橋區本石町四丁目一番地
大阪橋本組東京支店
電話日本橋(24)三四六〇番 三四六一番

大阪市東區北濱一丁目野村ビル六階
大倉土木株式會社
大阪出張所
電話 自本二七一〇番 至本二七一三番

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

足代（假設）
材料損料
鳶方（手傳）
工事負請業

中新

中川辰藏

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北區一五三番
東京市神田區猿樂町
東京出張所　貳丁目壹番地
電話神田（25）三〇五番

合名會社

竹中工務店

本店　大阪區堂島、堂ビル　北長八一〇
支店　東京市丸ノ内郵船ビル　丸ノ内（23）一二五〇
　　神戸市熊内町六丁目　賣合　長
　　名古屋市西區菁原町二丁目　八〇六
　　京都市坊城通三條下ル　長一八四二
　　橫濱市花咲町十一丁目　中　二三八六
　　長野町關番（三）　一八八九
製作所　大阪市港區南境川町　西長　八〇四
　　東京市深川區西平井町　大手二〇四六

上西組

上西磯之丞

大阪市東區內本町一丁目一八
電話長東一八八番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社
佐伯組

本店　大阪市港區市岡町夕風橋畔
電話特長西一〇九〇番

出張所
福岡市外馬出上町　電話長二二四二番
大分市南新地　電話長三七〇番
熊本市相撲町　電話長三九四番
小倉市中島町　電話長六一〇番
宮崎市宮田町　電話長四〇六番
東京市京橋區本挽町九丁目三地

諸石材販賣彫刻請負業
幷ニ
一手販賣（黃龍石（人造石用）石粉各種
　　高島產鋪色（人造石用）石粉各種
　　黃龍石材各種

通名石佐事
熊取谷熊次郎

本店　大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番
出張所　東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

白陽工務店

藤田辰三

大阪市北區曾根崎上三丁目三〇番地
電話北一五六二
一五六三

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **松村組**

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東（長）三三一一七七二一番
三三一七三三番
三五三三番

東京本社
東京市丸ノ内仲十四號館十二號
電話丸の内（代表）二五五一番
二五五二番
二五五三番
二五五四番

藤木工務店

藤木正一

大阪市西區小林町七十五番地
電話局櫻川一五五八番

合資會社 **清水組大阪支店**

大阪市西區土佐堀通二丁目二番地
電話局土佐堀（六六六番
六六七番

（本店）東京
（支店）横濱、名古屋、京都
博多、京城、大連

特許ＯＲＣ式
鐵筋混凝土煙突水槽工事設計施工

合名會社 **大阪鐵筋混凝土工務所**

大阪市港區小林町一六三
電話櫻川局一〇八六・二六二二
神戸出張所　電兵庫一四六九
名古屋出張所　電南局一五九八

建築請負業者案内

（次第不同）

鑿井工事請負業

日本鑿泉合資會社

大阪出張所　大阪市北區曾根崎町太平ビルヂング
電話北三七七八番

本社　東京市丸ノ内中通三號
電話丸ノ内（二三）長一八六三番

名古屋代理店　名古屋市東區東新町萬歳生命ビルヂング四三號
電話東一四七一番

大阪市西區土佐堀通三丁目二四

合資會社 錢高組

電話土佐堀（長三四一一七）（三四一一八）

東京市京橋區木挽町四丁目四

東京支店
電話銀座（長四二九二番）（長四二九三番）（長二三四七番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九

名古屋出張所
電話東三五一八番

横濱市高島町六丁目一二

横濱出張所
電話本局三〇七六番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地

株式會社 大林組

支店　東京、横濱、名古屋、小倉
營業所　京都、神戸、
工作所　大阪、東京、

大阪市東區横堀四丁目四十三番地
電話本町八三四（本店）
櫻川一六七（工場）

石川屋 岡本工務店

岡本武藏
岡本新次郎
山中茂一

建築請負業者案内

有山組

大阪府東淀川區十三東之町

電話 自宅用 北二〇五〇
事務所用 三〇五一

大理石
鐵平石
萬成磨

工事及設計請負

大阪市此花區吉野町二丁目一六

合資會社 **山田大理石製作所**

電話土佐堀四三四二番

長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電話ニテ御一報次第御伺仕可候

淺沼組

本店 奈良縣郡山町字今井 電郡山二五番

工作所 奈良縣郡山町字高田 電郡山二四一番

大阪支店 大阪市東成區東小橋町六六ノ一四 電南二七九〇番

大阪出張所 大阪市港區鶴町四丁目一八二 電櫻川二九〇七番

製材部 大阪市港區小林町一九五番地 電櫻川二四五六番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目五一
電話土佐堀長（二二六二番
（二二六三番

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（一九九〇番
（長一九九一番

製材所 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西長一五二三番

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話櫻川（六五八番
（二八八六番

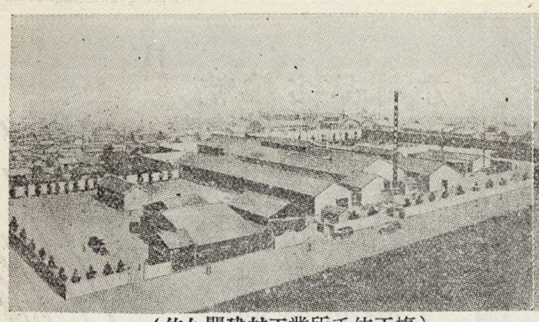
安藤組大阪出張所

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

森本建築社

東京支店
東京市芝區白金三光町二五番地
電話高輪八一六七番

大阪市南區高津三番丁二番地
電話㊢戎二八一〇番



（佐久間建材工業所千住工場）



（佐久間建材工業所高田工場）

佐久間式マルエス印便利瓦

製造法式　特許第七四四七七號
製造法式　特許第七五六二七號

陸屋根地下室防水材料

佐久間式マルエス印

- コンパウンド
- パーマネントルーフイング
- 疊下用紙
- 建築用紙
- フエルト
- C印フエルト
- ルーフイング



國産として優秀なる

御用命

三菱地所部殿
東京府庁殿
大蔵省殿
文部省殿
鉄道省殿
陸軍省殿
警視廳殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
安藤組殿
高松組殿

橋本組殿
戸田組殿
竹中工務所殿
藤本組殿

（其他土木建築界各方面）

佐久間建材工業所

所主　佐久間榮吉

東京府千住町三ノ三七〇番地
營業所　電淺草五〇〇六番
千住工場　電千住四〇二番
東京府高田町八〇四番地
高田工場　電淺草二五六番

東京工業試験所報告

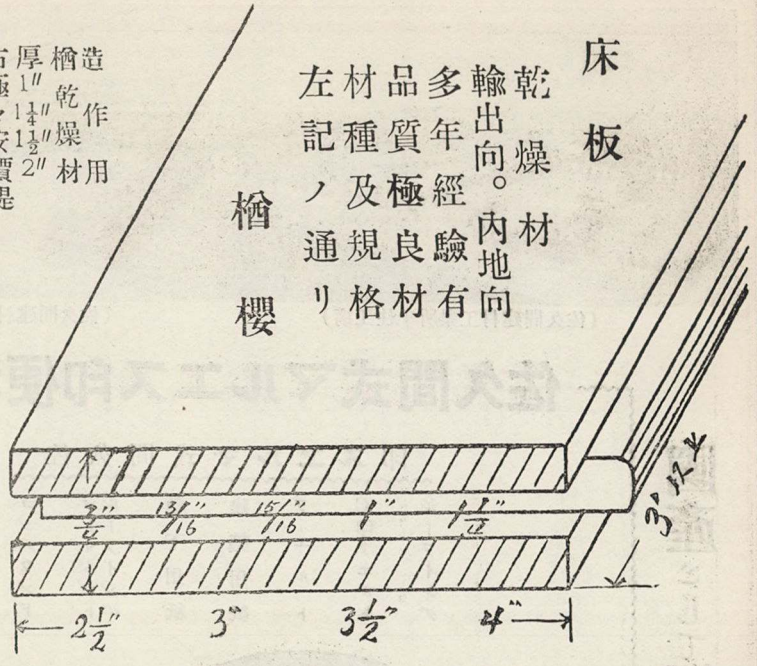
（見本カタローグは御申込み次第贈呈）

品名	抗張力 縦	抗張力 横	水壓力 氣壓	屈曲試驗 丸棒直徑	屈曲試驗 廻轉度	屈曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印中號ルーフイング	瓩 70·5	瓩 42.9	1.4	糎 0·5	180°	生ゼス	大正十四年甲二月二十六日
菜舶來一流(1)プライルーフイング	瓲 53.7	瓲 21.8	1.2	糎 1.3	180°	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印中號ルーフイング	瓲 74.4	瓲 55.9	1.7	糎 0.5	180°	生ゼス	大正十五年二月十日
菜舶來一流(1)プライルーフイング	瓲 80.3	瓲 39.3	1.2	糎 1.0	180°	生ゼリ	同上

床板

乾燥材輸出向。内地向多年經驗有品質極良材材種及規格左記ノ通リ

楢　櫻



造作用
楢乾燥材
厚1″ 1¼″ 1½″ 2″
右極々安價提供是非當店へ御引合願上候

福原工場大阪販賣店
港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

小樽市入舟町二丁目三十四番地
福原床板製造工場
電話二七三、一二三
振口小樽二五六七

大理石工事請負

合資會社 矢橋大理石商店

本店　岐阜縣不破郡赤阪町　電話五

出張所
東京市麹町區八重洲町二丁目九ノ内十號館五號　電話丸ノ内四六三九番
大阪市東區北濱四丁目二十二番地　電話本局㊁五三一九
京城府光化門通一九〇

榮進社ノ

スチールサッシュ　捲上防火戸

各種鐵戸類　昇降機手動



營業所　東京市京橋區南紺屋町十二番地
實業ビルデング三階
電話京橋(56)一、〇六三番
二、二二九番

出張所　横濱市山下町一八四　岩井ビル
電話本局(2)二、七一四番
神戸市平野下祇園町二三一番地
電話元町　二、七〇九番

合資會社

榮進社

第一工場　東京府日暮里町日暮里三八番地
電話下谷(83)長一、〇二七番

第二工場　東京府日暮里町大字谷中本二五六番地

製品販賣　工事請負

東洋コンクリート合資會社

安價　鐵筋コンクリート土管
　　ブロック
　　電纜埋設用トラフ
　　其他各種製品應御注文

迅速　鐵筋コンクリート煙突
　　一般土木建築工事
　　特殊ブロック建築
　　ブロック塀

カタログ進呈

大阪市西淀川區海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話土佐堀二八三四番

建築衛生設備設計施工

營業種目

▼水道▲ 公私水道 **ポンプ**、屋外給水裝置。
▼防火▲ 防火栓裝置 **スプリンクラーシステム**、消防用器具 **サイヤーミンスコンネクシヨン**、**ミニマツクス**消火器。
▼衛生▲ 洋和風浴室、洗面場、塵所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼暖房▲ 蒸汽暖房裝置、溫水暖房裝置、熱氣暖房裝置。
▼換氣▲ 自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲ **リフリゼレーター**。
▼眞空式掃除裝置▲ **セントラル、バキユーム、クリーニングシステム**。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國**スタンダード**衛生器具製造會社
米國**スローンバルブ**製造會社 日本總代理店
米國**シカゴポンプ**製造會社

米國**スペンサークリーナー**會社
米國**ベージボイラー**製造會社 日本總代理店
獨國**ミニマツクス**消火器會社

〔創業明治三十四年〕

宮内省御用達

株式會社

須賀商會

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局（一一八九三番／一一八九四五番）

支店
東京
名古屋
京都

支店
住吉
神戸
博多

改良 特許 便所



大阪市東區高麗橋五丁目
株式會社 須賀商會内

OS商會

電話本局 三四五番 九九九 八八八 一一

◀工施ニ並賣販▶

耐火リノリウム
セメントプロツク
ドロマイト
㊥プラスター

特許ストンプロツク
特許ポーラスライト
マグネシヤセメント

葛生石灰株式會社發賣
㊥プラスター關西一手販賣元
大阪耐火リノリウム工業合資會社
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番

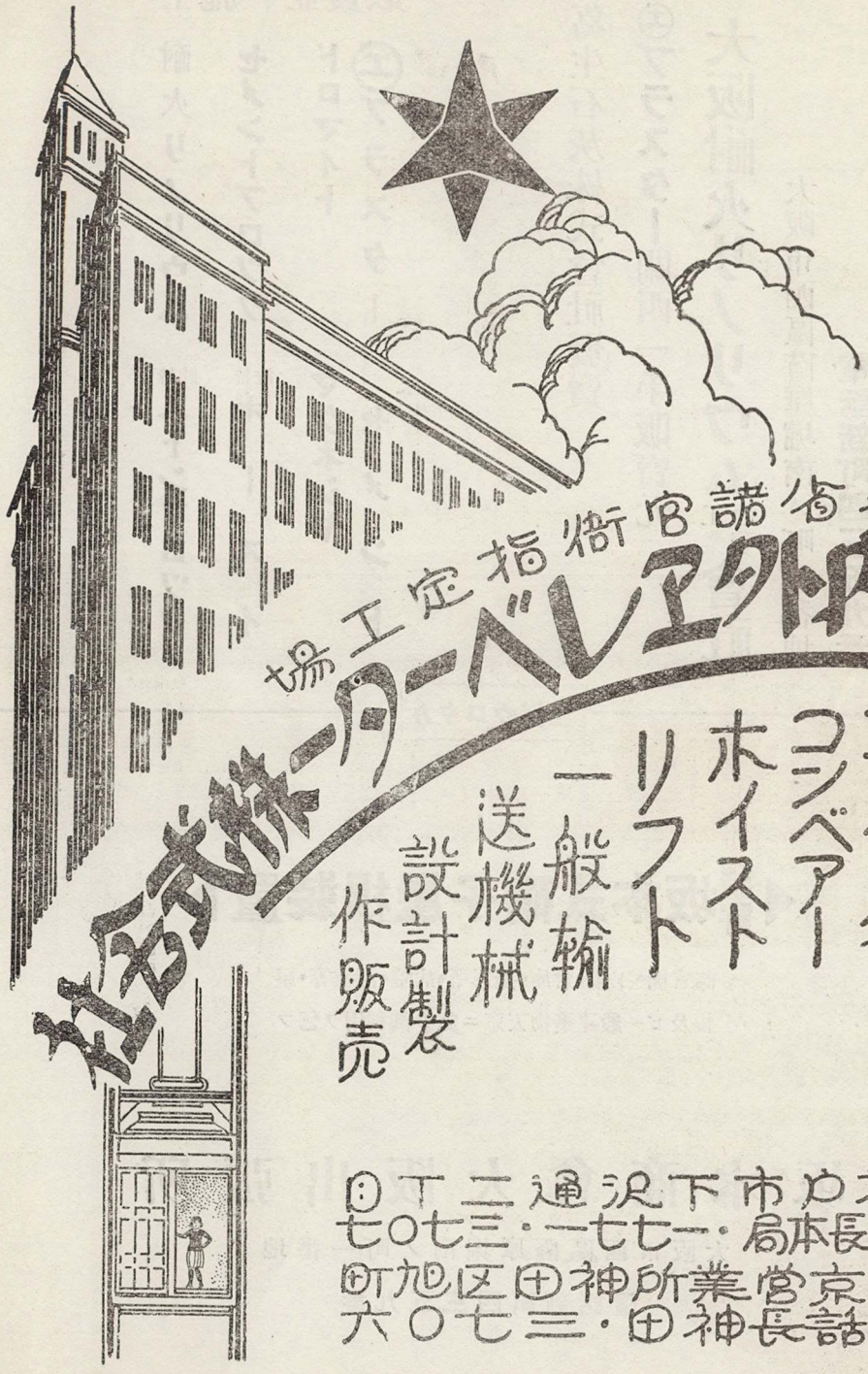
カタログ進呈

◀特許坂本式硝子屋根裝置▶

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等ニ廣ク御利用ヲ乞フ
屋根及ビ一般建築物天窓ニモ最適

坂本商會大阪出張所

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番



各省諸官衙指定工場

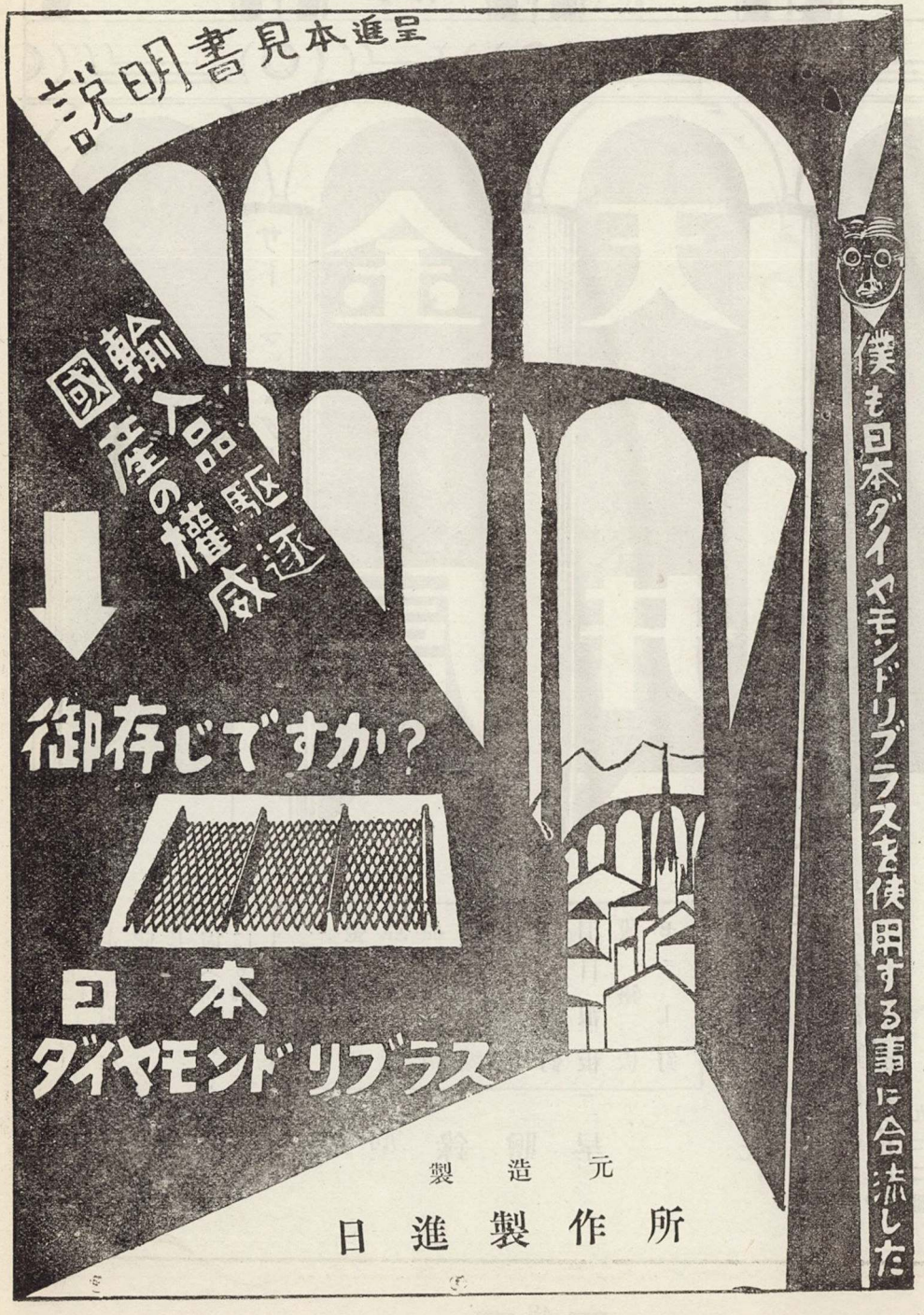
内外エレベーター株式会社

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

神田区神下町一丁目二番地
電話本局・一七七一・三七〇七
東京営業所神田区旭町
電話神田・三七〇六

Nippon

DIAMOND RIB LATH.



全國一手販賣店

東京市日本橋區元四日市町二
三共貿易株式會社
電話日本橋二四八六・二四八七
三九九一番

大阪市北區中之島六丁目
關西代理店 奥村重兵衛商店
電話土佐堀四六一番

耐震耐火

金属天井

サドシマ メタルシーリング

御希望に
より亞鉛引平板。銅板。
亞鉛板にても御用命に應
じます。
尚又特殊御希望模様製作
にも御相談に預ります。

營業品目

金屬天井板
亞鉛引平板
亞鉛引浪板
亞鉛引鐵線
鋲　力　板
洋　釘
泪目浪板
薄　鐵　板
セラー釘

型錄贈呈

金屬天井板）
羽目浪板）製造發賣元

大阪市南區安堂寺橋通り三丁目

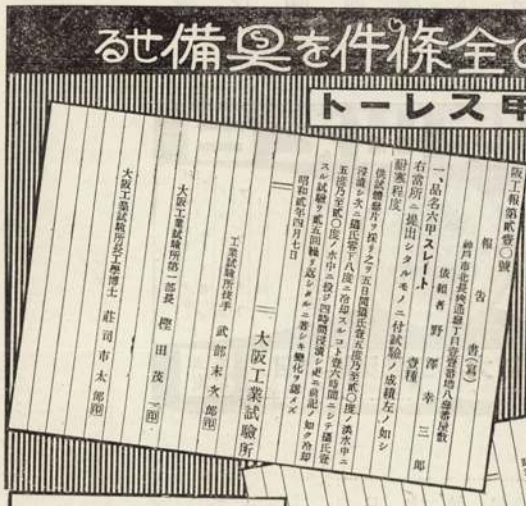
佐渡島西店
金屬天井部

電話船場 九二二番 九三二番 九三三番

薩摩堀倉庫用新町九五七番
振替口座大阪三二七三八番

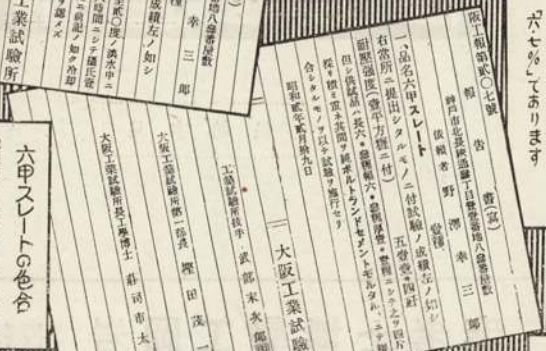
屋根材としての全條件を具備せる

六甲スレート



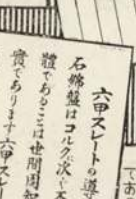
六甲スレートの浸透程度
大正十五年八月七日鐵道省
研究所に於て試料面上水柱
三十cmの壓力を加ふる事
三時間にして其水壓により
水分が浸透するや否やを
檢せられたる結果は
「異狀ナシ」であります

六甲スレートの吸水率
大正十五年八月七日鐵道省の
試驗成績報告書によれば
「六・七%」であります



維持費不要
耐壓力の強大と凍氣試驗をパスせる
六甲スレートは自然維持費を要せ
ず永久の効用益勝少でありませぬ。

六甲スレート
其上の体裁は
美麗荘重の四字であります
又雨ゆりを防ぎし氷掛りを避がうしなう
る点及び外觀の外に對して二つの特許を
有へ居ります



六甲スレートの色合
現在灰白・薫暗重・赤黒及綠
の六種でありまして何れの部屋
でも変を使用致して居ります
元来六甲スレートは風雨に強く分子
組織も緻密でありますから製造後染附
又は煮沸も何等の変化も来さず浸透し
むる事不可能でありまして表面のみの
染色は褪色や剥落の憂があります

六甲スレートの道具
軒先ケラバ用各種附は勿論煙突斗様
鬼板・巴・繰り等各種取揃居り名
「其甲」とも製作致して居ります。

六甲スレートの伸縮
膨張係数は0.0001三四分
一萬分の三強の伸縮あるのみ
であります

六甲スレートの遮熱
石綿盤はコルクに次ぐ不良導
體であることは世間周知の事
實でありまして六甲スレートは
石綿盤と同質であつて厚さ約
三倍でありますから「層造熱の効
ある事申迄もないと存じます
英國アスプロセメンテンゲートの
発表する處に依りますと左通りであ
ります

	Iron 100
Roofing Tile	55.2
Natural Slate	46.4
Fibre Cement	13.9
Cork	3



當社の特許權

発明特許	No. 29305	大正五年	四月一日
〃	No. 30344	〃	十二月六日
〃	No. 67558	大正十五年	八月十日
〃	No. 68522	〃	〃
〃	No. 68644	〃	〃
実用新案	No. 99921	〃	〃
〃	No. 101526	〃	〃

製造 日本石綿盤製造株式會社
発売 野澤幸三郎商店

神戸 北長狭三丁目 電6 2830 2831
東京 丸ノ内 昭和ビル内 丸内3670
大阪 綿業會所 大江ビル内 北5994
福岡 紺屋町三六 1945
根津 大阪市北区 413 413

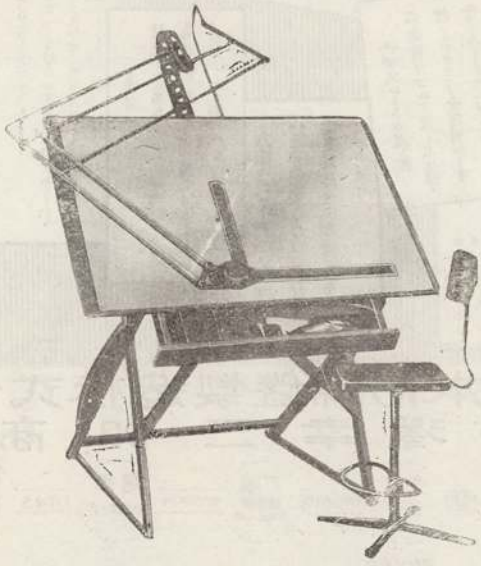
優良國產屋根材の權威



見本進呈

岩岡工學博士考案

九州帝國大學教授



【型錄送呈】

實用新案 **岩岡式自在製圖机** 高低傾斜調整自在

特許既願 **岩岡式萬能製圖機** 用法擴大

特許既願 **岩岡式簡易腰掛** 高低自在

保健第一 能率增進

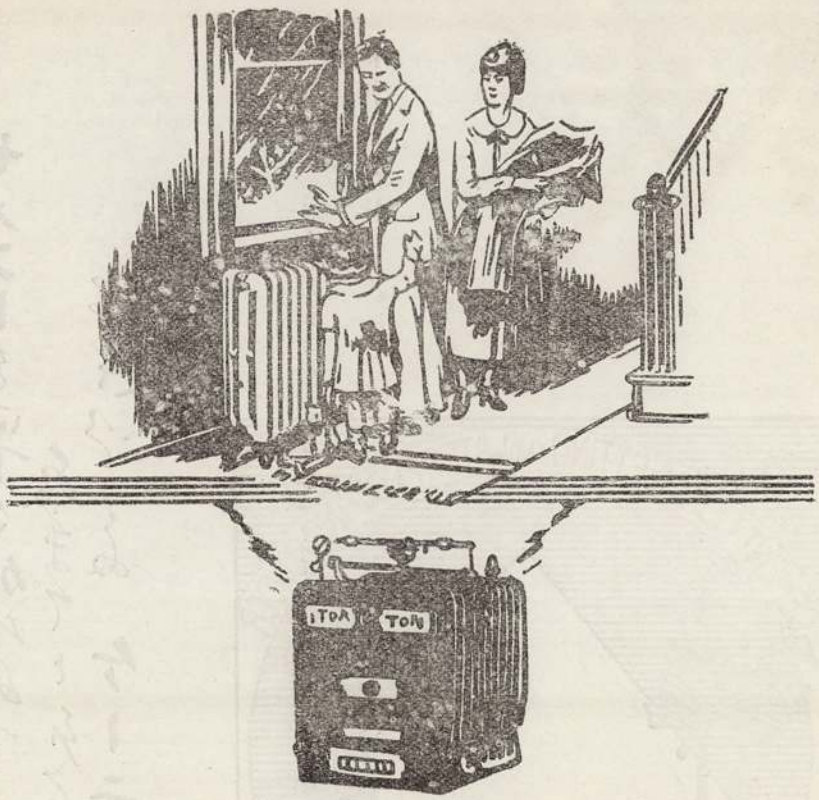
發賣元 **株式會社 谷商店**

福岡市下店屋町一五

（電話一九〇六特長一四四四番）

セメントを早くかたまらせる
ケーテーオー





營業案內

煖房部
煖房、換氣
溫濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

製作部
各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベーヤー、リフト、ケーブルカー

合資會社
東亞鐵工所
大阪市此花區西九條濱通一〇
電話土佐堀(一一三七番
(三九六七番

合資會社
東亞鐵工所東京出張所
東京市麹町區丸ノ内ビル八七五
電話丸ノ内(23)一七九六番

玲光社

ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

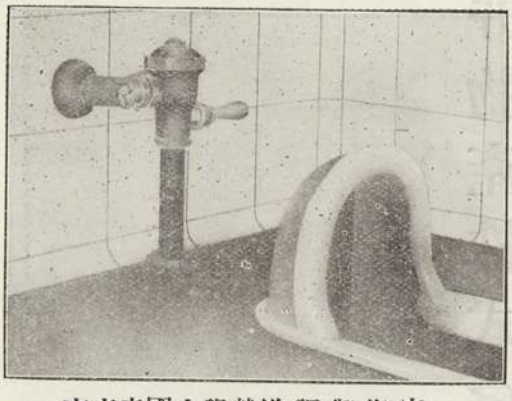
大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四

東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

木三廣　内崎瀧邦　眞彌太　耶耶耶太

辨滌洗所便洗水

ヨネ.フラッシユ.バルブ



東京帝國大學營繕課御指定
東京・大阪・京都市役所御認可

製造發賣元　米本商店

大阪市西區幸町三丁目二番地
電話 櫻川三八八〇番

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンチュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顔料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコツタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音内壁エラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元 三井物産株式會社

製造元 南滿鑛業株式會社

大阪市港區北境川町二丁目三十五番地

大阪出張所

電話長西三四八九番



淺野理化學工業所製

アサノソリヂットタイル
アサノソリヂット安全壁
アサノソリヂットスタイル
アサノリノリユーム鋪床料

ユニオンアスファルト
小倉アスファルト
内外各種ルーフ井ングス
大連ドロマイト
大明式スカイライト
米國ミシシッピ會社製ガラス一切
網入波形グラス
米國GF會社各種ラス
セロテックス
内外各種ペンキ
其他橋梁材料並ニ請負
（型錄進呈）

一手販賣元

淺野物産株式會社大阪支店

建築材料部

◉防火宣傳◉

阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シャッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉、鐵柵類一式

A 合資會社

阿部鐵工所

大阪市西淀川區浦江町三五四ノ一
電話土佐堀（長一八一四番 三一一一番 八〇〇八四番）
振替口座大阪四八〇〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

飛行機印



アスファルトフエルト
便利瓦
アスファルト各種
電氣絶縁材料

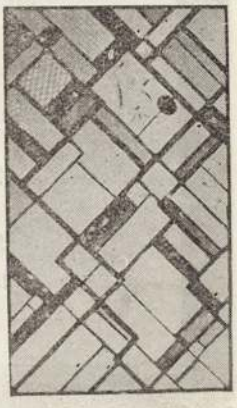
大阪市此花區大開町三丁目九番地

梶田豊治

電話長土佐堀五六〇一番

ステインドグラス
グラスモザイク

VENUS STUDIO



大阪市東區谷町二丁目五　電東四二二〇

出張所　東京　　代理店　京城

ベニス工房

理想的屋根ルーフの代表的製品



浅野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊀3468番・3469番
本社 東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊀684・841(專用) 1860・1861・1862番(接續)
支店 横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
門司市東本町四丁目 電話㊀548番
出張所 名古屋・仙臺・京城

地下根屋陸

室用防水布



本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し强度伸度滲透壓に於て同種品中最高の記錄を有する合理的にして最も進歩せる

専賣許特 **富士印 クロースルーフ井ング**

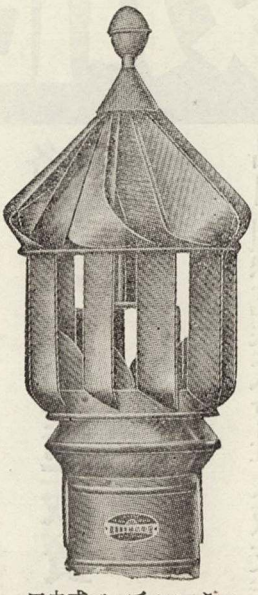
製造所 クロースルーフ井ング

工場 吉住阪大

大阪市東區平野町四丁目五八 電話本局五四〇七番

!! 除風器界の權威 !!

！學理と實際に基き製作したる最新式除風吸揚器！



田中式ベンチレーター

保健！衛生！ 田中式除風吸揚器
（新案特許第一一四四八六號）
實用新案 （第一一四四八六號）

営業科目

- ◉和洋式建築金物
- ◉ブロンズ眞鍮製建具裝飾金具
- ◉窓金手摺鐵柵鐵扉類
- ◉釘針金平浪板諸材料
- ◉鋼鐵自働防火シャッター

＝製作＝＝負請＝＝直輸入＝

ユニオン印 建築金物 **製作發賣元**

合名會社 **西孫商店 建築金物部**

直輸出入部

大阪市南區順慶町二丁目一九六・一九七番

大阪市北區南森町五四番地
南森町交叉點二筋南ノ辻西入天神小橋筋

電話船一三〇二九番

家具と室内装飾

笹岡家具装飾店

弊店は
眞面目がモットー
皆様方の使用人

營業所
工場　大阪市西淀川區海老町一四八五番地

電話土佐堀二九六九番
フクロク福祿

振替口座大阪七九七三三番

S.S ルイタル品

品質優良
技術精巧

各種タイル製造販賣

品川白煉瓦株式會社大阪支店

タイル販賣所

大阪市西區靱北通一丁目二六
電話土佐堀七一一番

便所之改善

專賣特許第三二七九八號

大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生
跳返、盜難の憂　絕對皆無
現在汲取式の理想的便所

專賣特許第三六七一五號

株式會社 城口研究所大阪支店

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二三一九一五 八六番

本店　東京市神田區千代田町十八番地　特長二五二三番 二二五二番 神田電話

出張所　名古屋市西區本町三丁目五番地　東二三七〇番 話電

同　京都市大和大路前佛下町四七二四番 話電

同　神戸市三宮町一丁目百十七番地　一六八九八番 三宮話電

同　横濱市常盤町五丁目十八番地一

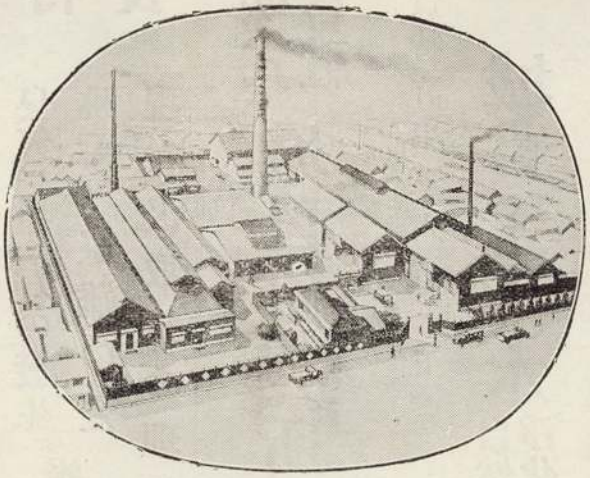
同　廣島市竹屋町百三十五番地　二八〇八番 話電

辨柄

登録商標

誇るべき弊社製品の特長

成分含有量の的確　分子微細にして一定不變
色澤鮮麗にして純新　大量製産にして安價提供



用途

塗料用　製紙用
ペイント用　リノリューム用
染色用　燐寸用
陶磁器用　ゴム製造配合用
漆器用　電線被覆用
建築用　印刷インキ用
皮革用　印刷製版用
防水布用　スレート用

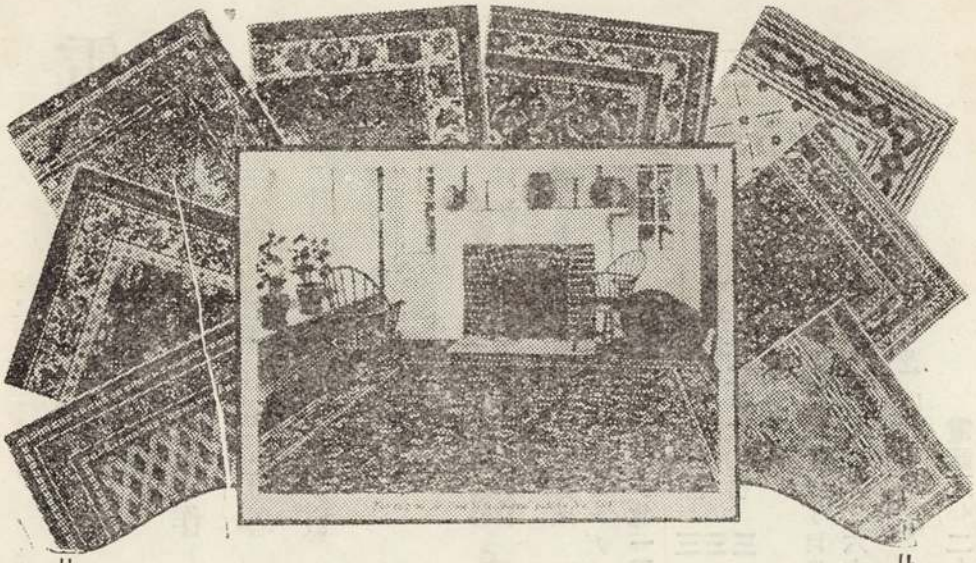
製品種目

富士印	金鳳印	白鳳印	朱雀印	金鶏印
丹頂印	四十鳥印	隼印	鴎印	椋鳥印
鵙印				

（見本進呈）

大阪市西成區長橋通四丁目
發賣元　合資會社　大平工業所
電話櫻川二六三八番
振替大阪六三九二五番
發信略號（オヒラ）又ハ（オ）

大阪市東區道修町二丁目
代理店　藤澤友吉商店
支店　東京市日本橋區本町
支店　京城府西小門町四二



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱避雷針電話工事
設計監督工事請負

淺海商店

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
　　大江ビルヂング三階
電話直通　北一五七六番
交換北一二一五番　三一九六番
　　二六二〇番　三一九五番
　　三一九七番

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目卅六番地
　　北六六四二番
東京支店　東京市芝區田村町七番地
　　電話芝(43)二九七〇番

タイルとテラコッター



大阪市北区芝田町　山本窯業商店　電話園北二八六番

タイルの山本窯業

三熊疊製所

創業明治四十四年　神戸市東尻池町五丁目　電話兵庫一四六九番

▲當所の疊製品は現に我國屈指の建築技師及技術家を始め別莊住宅各官廳及重要會社の設計指定疊として多大の御用命を蒙りつゝあり

特長
製品優秀　技術超絶
納期正確　在庫豊富
價格至廉　確實叮嚀
疊内部防水防塵衛生裝置

新疊
院寺學等堂殿社席莊會茶別宅省館官洋住

負請事工般一疊
屋賣問直
地布緣及表疊
全國

販路—關西關東ヲ始メ全國各地一圓現場納入

▼御設計又は御見積の上に於て疊一切の事に付御不審の點は御相談下され候はば委細御説明申上候

價格表御一報次第送呈仕候

出張所々在地　大阪　京都

檜實剝繼手付
櫻床板
同上羽目板
同上本寄木

特許第六六〇八九號
伊丹式パークットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）
三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產欅材根太土臺其他

大阪　伊丹商店

大阪市西區靭中通一丁目二〇番地（市電信濃橋停留場北へ一丁東側）
大阪營業所

電話長土佐堀二四一七番
名古屋市西區南外堀町四丁目一番地
名古屋營業所

電話長本局四五九六番



淺野波形板

母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材



淺野壁板

強靱の石綿セメント製ゆ
ゐ下見・内壁・天井・間仕
切壁等に用ひて
比類なき最適品



淺野煙突

焼けない・錆びない・
腐らない・火の用心
に
淺野煙突

社會式株淺野スレート

市京東	市阪大	市司門	市屋古名	市幌札
京橋區三十間堀三	北區北濱地三	門司市白水鮫	中區南鍛冶町三	北一條東四ノ一
電話 1860 1861	電話北濱 5081	電話 1228	電話中 1097	電話長 598
銀座 1862	福島新綿埼 5082	1931		

建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフェルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

見本型錄呈上

本店 大阪市西區江戸堀南通五丁目
電話土佐堀 二一六六番
～(最) 七一五四番

木下謹三商店

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花 二二五二番

石綿スレート（石綿盤）
天然スレート（石盤葺）
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負



佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦

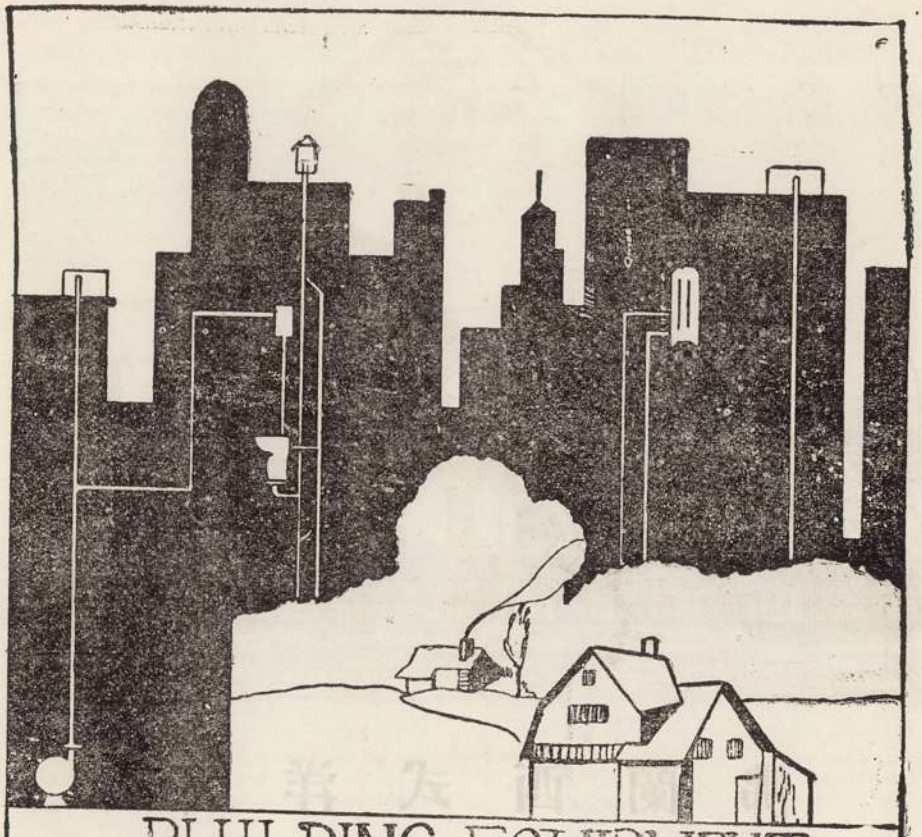
各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絶無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要

セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

日本洋瓦株式會社 大阪出張所
大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルヂング内
電話北(二一五五)六番



BUILDING EQUIPMENT.

都市水道
衞生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

桐田商會

大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

TRADE  MARK

高級藥掛タイル
専門工場

名古屋市東區中市場町三丁目

㊫ 佐治タイル合資會社

電話長 東 二三四〇番

工場電話 東 三四一二二番



塗裝工事請負
計設ニ並
賣販料材

松本商店

主店 松本壽美

大阪市北區宗是町十番地中島ビルヂング内
電話土佐堀二三一九・二一二五・三五〇九番

Certain-teed

サーテンティード



優等アスファルト防水材料

ルーフィングの主なる御使用先

丸之内ビーヂング	上野松坂屋本館
日本郵船ビルヂング	アメリカンスクール
有樂館	東京女子大學
東京帝國大學	三菱地所部
東北帝國大學	三菱鑛業會社
早稻田大學講座	久原鑛業會社
三越吳服店	横濱ユーナイテッドクラブ
横濱スタンダード會社	
横濱ライジングサン會社	
清水組	
大林組	
竹中工務店	
安藤組	
大倉土木會社	

サーテンティード物産會社は米國に於けるルーフィング及リノリユームの最大製造會社にして國內十七個所に工場を有し其製品は各都市代表的建築物の指定材料として需要の日に熾なる本社の右に出るものなし蓋し其製品の實質サーテン（確實）ディード（保證）の會名に反かざる所以なりと知らる。



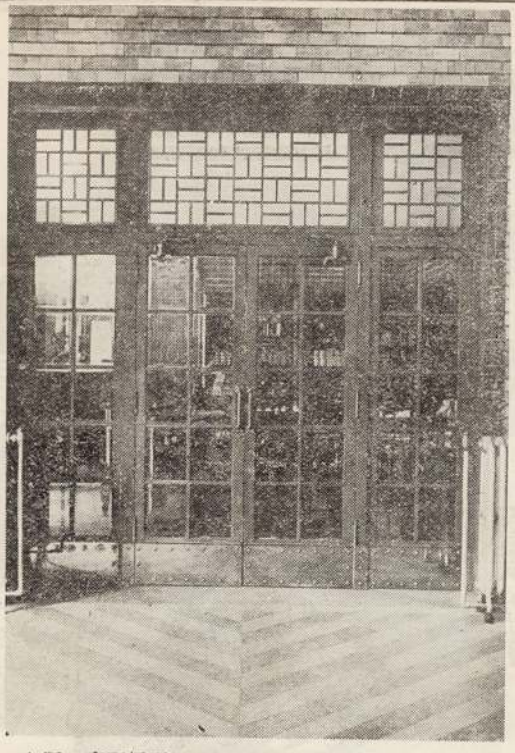
日本總代理店

合資會社 **デウエット商會**

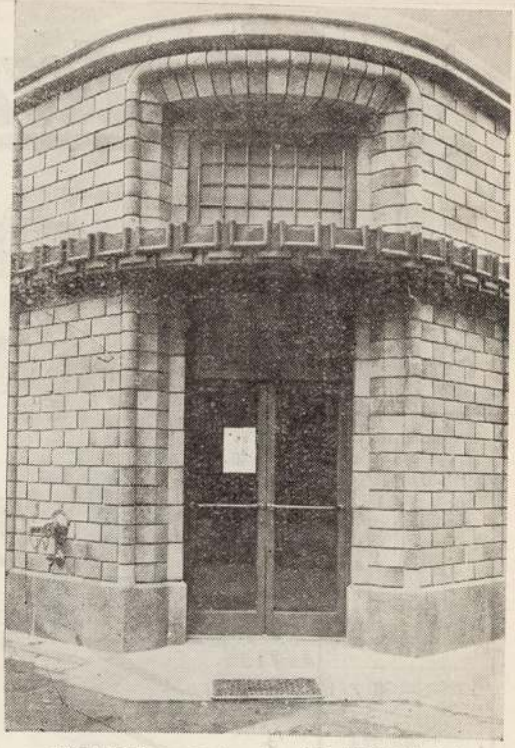
東京麹町區內幸町一丁目大阪ビル
電話銀座一〇八一番

横濱市中區山手町百十二番A
電話本局七四四番

大阪市東區今橋一丁目帝國ビル
電話本局三七四四番



大阪　高麗橋野村ビルデインヂ　玄關内スクリーン
弊製作所施工　資生堂森永ショーウインド造作工事



大阪高麗橋ビルデインヂ　南丸隅資生堂出入口
弊製作所施工

安井建築事務所御設計
株式會社大林組本店請負

◉建築ノ進歩ト防火ノ設備◉

請負

特許壽崎式スチール、シヤツター
特許壽崎式スチールドウワー
特許壽崎式上ケ下ケスチールサツシユ
鋼鐵製書架類
鋼鐵製シヨーウインドー
鋼鐵製スクリーン並ニ造作
鋼鐵製コンクリートドウワー作
一般建築製飾金物製作

設計

東京鋼鐵扉製作所

本社　東京府下南千住町南千住433. 434番地

全關西營業所

大阪市東區上本町一丁目六番地
電話局東 1309. 1310番

營業代表者　米山淺治
工場代表者　壽崎源太郎

◉東京横濱大阪ヲ主トシテ全國都市百卅數個所ニ御使用先ヲ有ス◉

製産高東洋一

優秀タイル窯元

DK

淡陶株式會社

本　社　兵庫縣三原郡北阿萬村　電話本社一〇

福良工場　同縣三原郡福良町　電話福良一九

大阪支店　大阪市西區阿波座中通一丁目　電話〔新町局四五二〕〔新町二四八三〕

東京支店　東京市日本橋區濱町二丁目　電話長浪花六三〇五

大和サッシュ株式會社

営業科目

鋼鐵製家具類
フヨルディングゲート
スカイライトバア
鋼鐵製防火扉
スチールシヤッター
スチールドアー
スチールサッシユ

本社　東京市外品川袖ケ崎四九三番地
電話荏原高輪 二一〇八番

大阪出張所　大阪市東成區東小橋町十四番地
電話南二三三一番

水道衛生工事
設計請負並ニ
材料器具販賣
特許 M・S ルーフドレン
特許 M・S フロアドレン
特許サワ式フラッシユバルブ
製作販賣

齋藤久孝事務所

東京市麹町區永樂町二丁目七番地
日本興業銀行七階七二〇―七二四
電話丸ノ内(二八七一
一〇九六)

大阪市東區德井町一丁目八番地
電話東 一、二五二

建築鋼鐵物 加工材料一般

鋼鐵製建具各種
鋼鐵製捲揚鐵扉
金庫及書庫鐵扉
製作仕上鐵物各種
青銅製裝飾金物各種
建具用金物各種
設計、施工、請負

柴田建鐵工材所

營業所　東京市日本橋區北島町一丁目一番地
電話茅場町(66)一〇八八番

工場　東京市外寺島一九九七番地
一九九八番地
曳船驛前

御挨拶

弊所は元ソリデチット工業所として製品は日本化學産業會社より三井物産會社に一手販賣を托し居候處今回都合により前社と解約し淺野物産株式會社に直接一手販賣を托し同時に製品の改善を期し價格を低廉に一般御需用家の御滿足を得申度舊に倍し御引立御愛用之程希上候　敬白

尚所名を淺野化學工業所と改稱仕候

國產ソリデチット應用 建築材料の出現

「型錄進呈」

アサノソリデチットタイル（一名アサノ、タイル）
陶器ノ追從シ得ザル色彩ト雅味ヲ有シ頗ル堅牢ニシテ而モ價格低廉ナリ
用途、室內及外裝用

アサノソリデチット安全壁（一名アサノ、安全壁）
日本壁及西洋壁ノ上塗料トシテ吸水尠ク頗ル強靱、色彩自由ナリ
用途、外裝及室內水場用

アサノソリデチットスタイン（一名アサノ、スタイン）
外裝用トシテ獨逸「リシン」ニ比シ吸水絕無體裁佳良、價格亦極メテ低廉ナリ

アサノリユーム（舊名ヒノデリユーム）
鋪床料
床張用トシテ「リノリユーム」ニ比シ低廉、品質在來品ト異ナリ絕體ニ龜裂無ク且ツ濕分ヲ生ゼズ
用途應接室廊下及一般床敷用

「特約販賣店募集」

內外一手販賣元

淺野物產株式會社

製造元

淺野理化學工業所

大阪市港區三先町四丁目五〇番
電話西長四〇六一番

新案

平安瓦發賣元

瓦

吉勝木材店

大阪市東區木材町一五番地
（北詰東橋寺寶久へ入）
電話東三六一〇番

品目

各國屋根瓦
各種色瓦
北國瓦
日本洋瓦

營業

土管各種
壺、便器類
葺上及販賣
淺野煙突

鋼製建具

シヤッター

サッシュ

ドアー

元大阪鐵扉製作所

日本鋼製建具株式會社

大阪支店

大阪市西淀川區傳法町南二丁目

電話土佐堀五九二〇番

本　社　東京市丸ノ内丸ノ内ビルヂング八階　電話丸ノ内3627

東京工場　川崎市大師河原　電話川崎973

大阪工場　大阪市西淀川區傳法町南二丁目　電話土5920

電熱 電燈 配線工事
器具製作請負
大阪市北區相生町一〇一番地
波根田電氣商會
電話東一六九五番
（設計見積ノ御用命ハ當店ヘ）



塗膜硬度を増す　　施工極めて簡單

龜裂褪色の憂なし　　價額亦頗る低廉

感じよき色と肌

合資　建材社　會社

本　社　東京市日本橋区捨物男十弐　電話日本橋(24) 3501-3502-3503

出張所　大阪市西区江戸堀上通壱の卄五(江戸堀ビル内)　電話 土佐堀 2786

建築用鐵材

丸鐵、鐵板
角鐵、アングル鋼
平鐵、ジョイスト鋼
チヤンネル鋼

鐵筋用丸鐵

在庫豊富見積書御一報次第提出可仕候

大阪市西區立賣堀北通二丁目

山本東作商店

電話 新町七四番 同七五番 同七六番

受電略號オザカ、ナニワヅ

HEATING. VENTILATION AND PLUMBING.

大和工業株式會社

營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
給水給湯裝置　衛生工事
汚水淨化裝置　蒸氣諸裝置
宮崎式ペーチカ

溫濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
空氣輸送裝置　眞空掃除裝置
以上の設計、監督、工事請負竝ニ材料販賣

本社　大阪北區曾根崎上四丁目三三　電話㒵北一〇七八・六二九一番　略語受電（ワイダカサオ）
支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五（第一相互館二〇八）　電話㒵京橋三二三七番　略語受電（ワイダイケウト）

電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐

設計製作
据付諸工事

特約 インターナショナル石油發動機
おのくち式A1型渦巻ポンプ

深井戸用各種ポンプ・ベリル
グライングヴィ・マグネット・ナイール

..TRADE MARK..

合資會社

大阪東区玉造貳丁目一三地

大キナ商店

代表社員 小川繁太郎

電話本局 一三八九 五九三一番
振替大阪 二〇六一一番

汎建製シヤッターの特長

一、幅に應じた山の高さ。 窓入口の内法幅其他の狀況に從ひ、羽板の山の高さ一糎、一・五糎、二糎及三糎の各種の内適當なる物を使ひます。

註。幅に相應した高さの山の羽板は大なる風壓に抵抗するにも必要でありますが、又防火に際しては扉が反り返つて**溝金から外れない第一要件**を充す爲め最も肝要であります。平常の開閉具合からすれば、山の低い程捲き嵩が小さくて濟み調子よく行きますが、**一度火に遭ふた場合**を考へること、どうしても幅に相當する山の高さが必要であります。四五尺の幅の品を實驗爐で精密に試驗して合格したからさて、同じ斷面の羽板で十尺前後の幅の扉を造つて安心してゐるのは間抜けて居りますまいか。先年神戸三ノ宮郵便局の火災のとき某一流製造家のシヤッターで大震災後の改良型の羽板の物が幅五尺迄の窓、入口の分は辛じて溝金から外れずに濟み、同一斷面の羽板で幅十數尺の出入口の分は悉く上端を除き一尺以上も彎曲して溝金から外れて防火の効を奏しなかつた如き雄辯に前記の必要を語るものであります。其後京都高島屋呉服店の火災の節同じ位の幅の廣い間仕切にあつた他の製造家のシヤッターは山の高さ相當にあり完全に隣室への延燒を防いだなど更に是れを裏書する事を考へます

大阪市此花區恩貴島北之町十一番地（電話土佐堀四〇二〇番）

合名會社 **汎建製作所**

代理店 三井物産株式會社

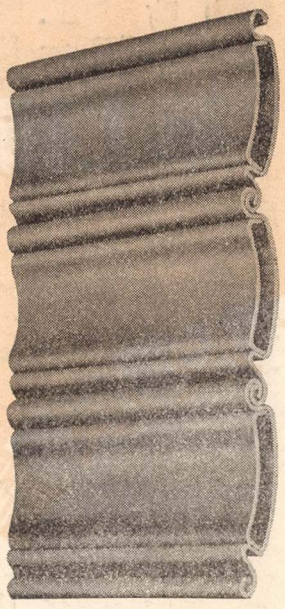
SUDZKI'S PAT. **HOLLOW SHUTTER** PAT. AP'L'D TO THE U.S.A.

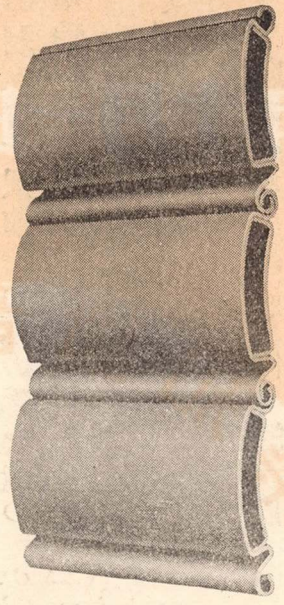
米國特許出願

日特
英許

鈴木式ホロー・シヤター

（最新式シヤッター）





大正十五年英國政府へ特許出願中の處昭和二年二月十七日第二六五八七三號を以て特許々可せらる

ホロー式の特徴

1 ホロー式は權威ある火熱注水試驗の結果熟の傳導の遲いのか著しい特徴であつた。

2 ホロー式は高尚優美、堅牢無比、强盜、暴漢をして意氣銷沈せしむ。

3 ホロー式をDREADNOUGHT SHUTTERと英國人は評した。

4 ホロー式は卷徑が少さく素直に繰れて下る。

5 講鐵は特許鈴木式二重底レールを附屬せしむ。

6 錆止ペンキは浸漬式を用ゆ。

7 機械は精巧、蓋は、美麗周圍と調和す。

ホロー式取付實例

◉取付場所及時日

◉名古屋市御器所町
南消防署

◉昭和貳年參月廿日

1 ホローシヤター三號型鎖引

2 巾 二十二尺 高 十二尺出來上り寸法

3 シヤター重量二百貫、シヤフト壹百貫 合計三百貫

4 錆止ペンキ浸漬式を用ゆ

5 上下時間 輕く手繰て廿秒

◉取付けの結果◉

丈夫で、輕くて、工合のよいので皆な驚歎つてゐる

東京 巢鴨町宮下一五四五—一五五五

建築金物商會

支店 京都市東山通月見町二